



神奈川県
スポーツセンター

KANAGAWA

令和4年度
県民の体力・スポーツに関する調査
結果報告書【時系列比較】

令和5(2023)年1月

神奈川県立スポーツセンター

令和4年度
県民の体力・スポーツに関する調査
結果報告書【時系列比較】

令和5(2023)年1月

神奈川県立スポーツセンター

目 次

I 調査の概要	1
1 調査目的	3
2 調査実施概要	3
(1) 調査地域	3
(2) 調査対象	3
(3) 調査方法	3
(4) 標本数	3
(5) 調査期間	4
(6) 調査委託機関	4
3 回答者の属性	5
(1) 居住地区別	5
(2) 性別	5
(3) 年代別	6
II 調査結果の詳細	7
1 健康・体力観	8
(1) 自身の健康観	8
(2) 自身の体力観	8
(3) 肉体的な疲労	9
(4) 精神的な疲労・ストレス	9
(5) 体力の衰え	10
(6) 運動不足	10
(7) 自身の肥満度	11
(8) 健康や体力の維持増進への注意	11
(9) 健康・体力維持への留意点	12
2 運動・スポーツの実施状況及び今後の意向	13
(1) 1年間に行った運動・スポーツ種目	13
ア 気軽に楽しんでいるスポーツや比較的軽い運動として行っているスポーツ	13
イ 野外活動として行っているスポーツ	16
ウ 競技として行っているスポーツ	19
(2) 1年間に行った運動・スポーツの日数	22
(3) 運動・スポーツを行った理由	23
(4) 運動・スポーツを行った効果	24
(5) 運動・スポーツを行わなかった理由	25
(6) 運動・スポーツ活動の満足度	26
(7) 今後（も）行いたい（行ってみたい）運動・スポーツ	27
ア 気軽に行きたいスポーツや比較的軽い運動として行いたいスポーツ	27
イ 野外活動として行いたいスポーツ	30
ウ 競技として行いたいスポーツ	32
3 スポーツ施設	34
(1) 公立スポーツ施設設置状況	34
(2) 公立スポーツ施設への要望	35
(3) 学校の体育施設利用状況	36

(4)	学校の体育施設を利用しなかった理由	37
(5)	今後設置を希望するスポーツ施設	38
4	県・市町村のスポーツ施策	39
(1)	「総合型地域スポーツクラブ」の認知	39
(2)	「総合型地域スポーツクラブ」の参加状況	40
(3)	「3033（サンマルサンサン）運動」の認知	41
(4)	「3033（サンマルサンサン）運動」の実践	41
(5)	「県民スポーツ月間」の認知	42
(6)	運動・スポーツ行事・教室について	43
ア	県・市町村主催のスポーツ行事参加状況	43
イ	県・市町村主催のスポーツ教室参加状況	44
ウ	県・市町村主催のスポーツ行事・教室参加意向	45
(7)	神奈川県スポーツ推進にかかる取組みについて	46
ア	「神奈川県スポーツ推進条例」の認知	46
イ	「神奈川県スポーツ推進計画」の認知	46
ウ	「かながわパラスポーツ推進宣言」の認知	47
5	スポーツ全般についての意見	48
(1)	運動・スポーツ関連情報ニーズ	48
(2)	運動やスポーツのクラブ・同好会・サークルなどについて	49
ア	クラブなどへの加入状況	49
イ	加入しているクラブなどの種類	50
ウ	クラブなどが行っているスポーツ（種目）	51
エ	クラブなどへの加入動機及び目的	52
オ	現非加入者の今後の加入意向	53
カ	加入したいクラブなど	54
(3)	スポーツ観戦について	55
ア	スポーツ観戦への関心	55
イ	スポーツ観戦経験	56
ウ	会場で直接観戦をしたいスポーツの規模	57
エ	会場で直接観戦をしたいスポーツの競技	58
オ	テレビやインターネットなどでのスポーツ観戦経験	59
カ	テレビやインターネットなどで観戦をしたいスポーツの規模	59
キ	テレビやインターネットなどで観戦をしたいスポーツの競技	60
(4)	スポーツに関するボランティア活動について	61
ア	スポーツに関するボランティア活動への関心	61
イ	スポーツに関するボランティア活動経験	61
ウ	スポーツに関するボランティア活動の内容	62
エ	スポーツに関するボランティア活動への今後の参加意向	63
(5)	地域のスポーツ振興について	64
ア	地域のスポーツ振興に期待する効果	64
イ	県の取組みへの要望	65
6	大規模スポーツイベント開催による変化	67
(1)	大規模スポーツイベント開催前後の変化	67

7	新型コロナウイルス感染症まん延による変化	68
(1)	新型コロナウイルス感染症まん延による、それ以前と比べた健康や体力の維持増進についての意識の変化	68
(2)	新型コロナウイルス感染症まん延による、それ以前と比べた運動・スポーツの実施頻度の変化	69
(3)	新型コロナウイルス感染症まん延による、それ以前と比べたスポーツを実施する環境の変化	70

I 調査の概要

1 調査目的

県民の体力・スポーツの意識や実態の推移及び、スポーツに対する県民の意識等を把握するとともに、県のスポーツ推進計画の改定の参考資料及び今後の県のスポーツ施策の基礎資料とする。

2 調査実施概要

(1) 調査地域

神奈川県全域

(2) 調査対象

令和4年度調査：令和4年6月3日現在で満20歳以上の男女個人

平成27年度調査：平成27年4月1日現在で満20歳以上の男女個人

平成22年度調査：平成22年4月1日現在で満20歳以上の男女個人

平成18年度調査：平成18年4月1日現在で満20歳以上の男女個人

平成13年度調査：平成13年4月1日現在で満20歳以上の男女個人

(3) 調査方法

「楽天インサイト」パネル登録モニター（約220万人）を対象としたWEBアンケート調査

※ 平成27年度までは、アンケート調査票を用いた往復郵送調査法

(4) 標本数

回収標本数3,000サンプル（人口構成比に応じて、各市町村の男女及び年齢毎にサンプル数を設定）

調査年度	設定標本数	有効回収 標本数	有効回収率
令和4(2022)年度調査	3,000	3,000	100.0 %
平成27(2015)年度調査	3,000	1,268	42.3 %
平成22(2010)年度調査	3,000	1,359	45.3 %
平成18(2006)年度調査	3,000	1,185	39.5 %
平成13(2001)年度調査	3,000	1,209	40.3 %

(5) 調査期間

調査年度	調査期間
令和4(2022)年度調査	令和4年6月3日 (金) ~ 6月17日 (金)
平成27(2015)年度調査	平成27年8月14日 (金) ~ 9月14日 (月)
平成22(2010)年度調査	平成22年7月16日 (金) ~ 8月10日 (火)
平成18(2006)年度調査	平成18年7月6日 (木) ~ 8月1日 (火)
平成13(2001)年度調査	平成13年8月27日 (月) ~ 9月28日 (金)

(6) 調査委託機関

令和4年度調査：株式会社サーベイリサーチセンター

平成27年度調査：株式会社日本能率協会総合研究所

平成22年度調査：株式会社R J Cリサーチ

平成18年度調査：株式会社R J Cリサーチ

平成13年度調査：株式会社流通情報センター

本報告書は、アンケート調査票のうち、「問2(1)」から「問20」についての結果を過去の調査結果とともに図表化のうえ、特徴点を記述したものである。

1 これまでの調査年度

- (1) 令和4(2022)年度
- (2) 平成27(2015)年度
- (3) 平成22(2010)年度
- (4) 平成18(2006)年度
- (5) 平成13(2001)年度

2 集計(図表の数値)は、小数点第2位を四捨五入しており、単一回答結果の、数値の合計が100.0%にならない場合がある。

3 図表の「全体(3,000)」などは、該当する回答者数を表す。同様に小数点付き数値は該当選択肢への回答率を表す。

※ 選択肢の増減などの修正により、過去の結果と単純に比較できない質問項目もある。

※ これまでの調査結果との比較(単年度間の比較)において±3ポイント以内の場合は、“同様”または“大きな差はない”と記述した。

3 回答者の属性

数値の単位：実数＝回答人数、％＝項目ごとの比率

(1) 居住地区別

令和4年度調査	横浜地区	川崎地区	※相模原地区	横須賀・三浦地区	湘南地区	西湘地区	県央地区	足柄上地区	
実数	3,000	1,099	442	210	224	400	184	272	169
％	100.0	36.6	14.7	7.0	7.5	13.3	6.1	9.1	5.6

平成27年度調査	横浜地区	川崎地区	※相模原地区	横須賀・三浦地区	湘南地区	西湘地区	県央地区	足柄上地区	無回答	
実数	1,268	471	153	82	121	157	87	113	84	0
％	100.0	37.1	12.1	6.5	9.5	12.4	6.9	8.9	6.6	0.0

平成22年度調査	横浜地区	川崎地区	※相模原地区	横須賀・三浦地区	湘南地区	西湘地区	県央地区	足柄上地区	無回答	
実数	1,359	490	149	108	109	193	86	115	103	6
％	100.0	36.1	11.0	7.9	8.0	14.2	6.3	8.5	7.6	0.4

平成18年度調査	横浜地区	川崎地区	横須賀・三浦地区	湘南地区	西湘地区	県央地区	足柄上地区	※県北地区	その他	無回答	
実数	1,185	425	141	79	141	83	109	85	110	1	11
％	100.0	35.9	11.9	6.7	11.9	7.0	9.2	7.2	9.3	0.1	0.9

平成13年度調査	横浜地区	川崎地区	横須賀・三浦地区	湘南地区	西湘地区	県央地区	足柄上地区	津久井地区	無回答	
実数	1,209	412	127	96	136	82	159	98	83	16
％	100.0	34.1	10.5	7.9	11.2	6.8	13.2	8.1	6.9	1.3

※ 平成22年度の相模原地区：相模原市（平成18年度は県北地区）

※ 平成18年度の県北地区：相模原市（平成13年度は県央地区）城山町、津久井町、相模湖町、藤野町（平成13年度は津久井地区）

(2) 性別

令和4年度調査	男性	女性	
実数	3,000	1,500	1,500
％	100.0	50.0	50.0

平成27年度調査	男性	女性	無回答	
実数	1,268	611	657	0
％	100.0	48.2	51.8	0.0

平成22年度調査	男性	女性	無回答	
実数	1,359	594	762	3
％	100.0	43.7	56.1	0.2

平成18年度調査	男性	女性	無回答	
実数	1,185	518	663	4
％	100.0	43.7	55.9	0.3

平成13年度調査	男性	女性	無回答	
実数	1,209	552	648	9
％	100.0	45.7	53.6	0.7

(3) 年代別

令和4年度調査	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
実数	3,000	387	422	564	534	692
%	100.0	12.9	14.1	18.8	17.8	23.1

平成27年度調査	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
実数	1,268	73	157	236	237	294	271
%	100.0	5.8	12.4	18.6	18.7	23.2	21.4

平成22年度調査	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
実数	1,359	151	257	290	280	341	35
%	100.0	11.1	18.9	21.3	20.6	25.1	2.6

平成18年度調査	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
実数	1,185	89	176	228	283	269	133
%	100.0	7.5	14.9	19.2	23.9	22.7	11.2

平成13年度調査	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
実数	1,209	119	200	250	280	229	122
%	100.0	9.8	16.5	20.7	23.2	18.9	10.1

Ⅱ 調査結果の詳細

1 健康・体力観

(1) 自身の健康観

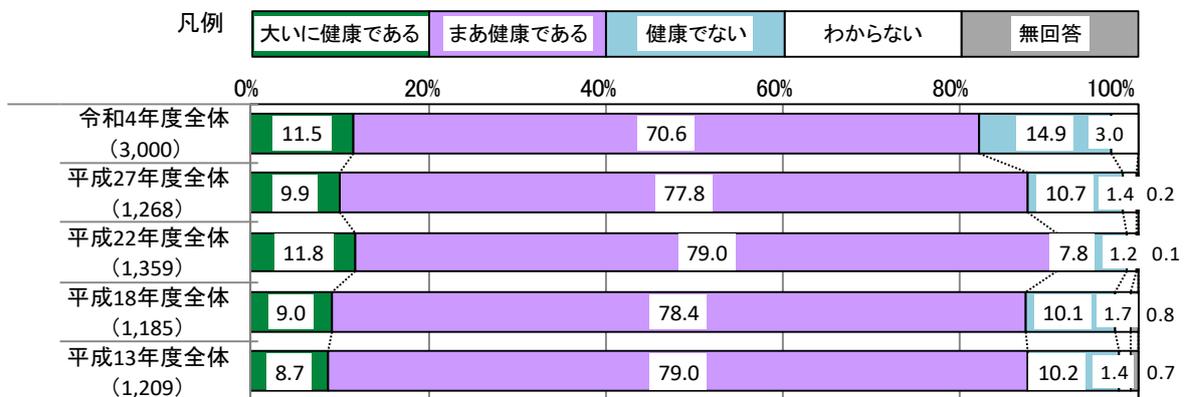
問2 (1) ご自身の健康についてどう思いますか。 1つだけ選んでください。

ア 大いに健康である イ まあ健康である ウ 健康でない エ わからない

全員に、自身の健康についてたずねたところ、「まあ健康である」が70.6%、「大いに健康である」が11.5%であった。

《健康である群（「大いに健康である」＋「まあ健康である」）》は82.1%で、平成27年度（87.7%）から低下（5.6ポイント）し、平成22年度以降低下が続いている。

【図表1-1：自身の健康観（全体比較）／単一回答】



(2) 自身の体力観

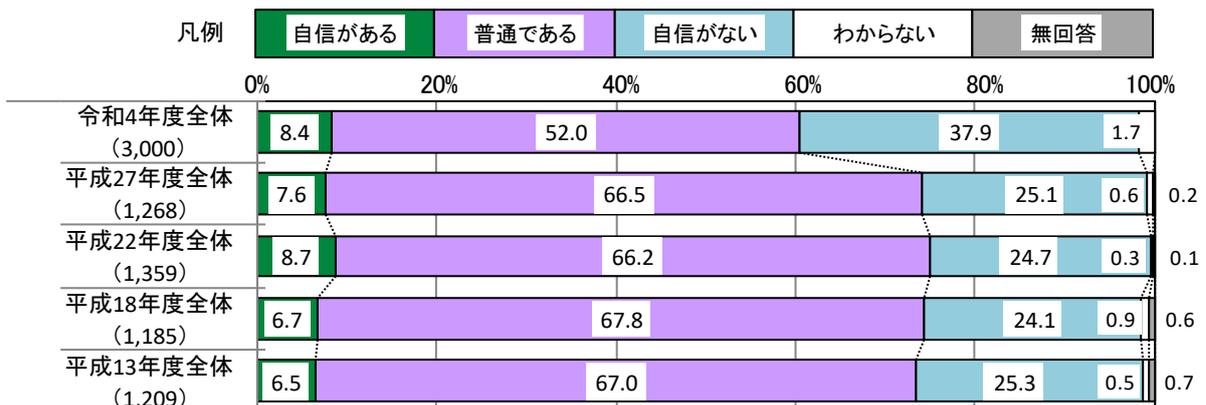
問2 (2) ご自身の体力についてどう思いますか。 1つだけ選んでください。

ア 自信がある イ 普通である ウ 自信がない エ わからない

全員に、自身の体力についてたずねたところ、52.0%が「普通である」と回答した。また「自信がある」の8.4%に対し、「自信がない」は37.9%であった。

また「自信がない」は、平成27年度（25.1%）から上昇（12.8ポイント）した。

【図表1-2：自身の体力観（全体比較／単一回答）】



(3) 肉体的な疲労

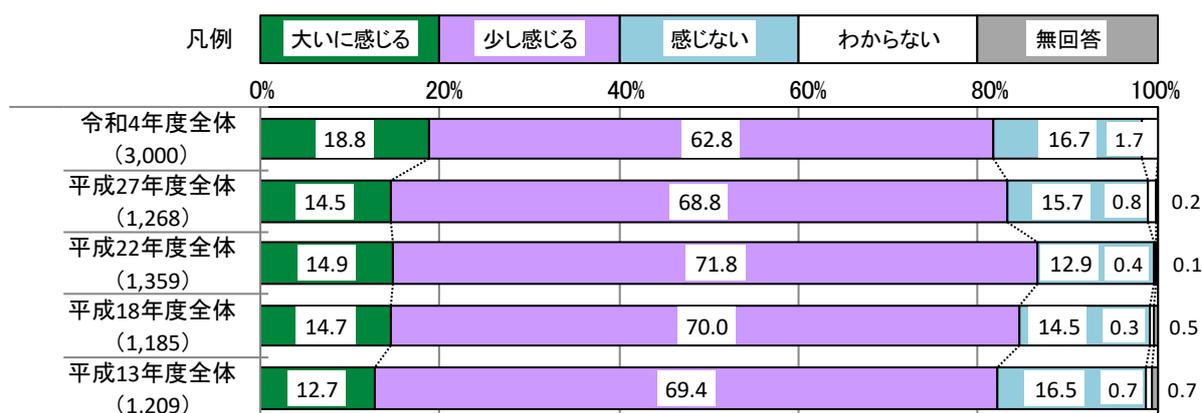
問2 (3) 日頃、肉体的な疲労を感じますか。1つだけ選んでください。

ア 大いに感じる イ 少し感じる ウ 感じない エ わからない

全員に、日頃の肉体的な疲労についてたずねたところ、「少し感じる」が62.8%、「大いに感じる」が18.8%であった。

「少し感じる」は、平成27年度（68.8%）から低下（6.0ポイント）したが、「大いに感じる」は、平成27年度（14.5%）から上昇（4.3ポイント）した。

【図表1-3：肉体的な疲労（全体比較）／単一回答】



(4) 精神的な疲労・ストレス

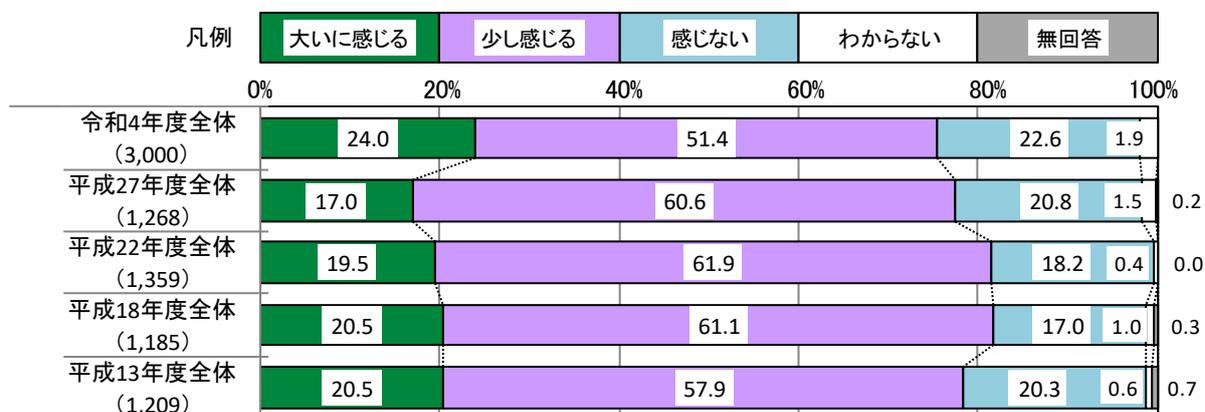
問2 (4) 日頃、精神的な疲労、ストレスを感じますか。1つだけ選んでください。

ア 大いに感じる イ 少し感じる ウ 感じない エ わからない

全員に、日頃の精神的な疲労・ストレスについてたずねたところ、「少し感じる」が51.4%、「大いに感じる」が24.0%であった。

「少し感じる」は、平成27年度（60.6%）から低下（9.2ポイント）したが、「大いに感じる」は、平成27年度（17.0%）から上昇（7.0ポイント）した。

【図表1-4：精神的な疲労・ストレス（全体比較）／単一回答】



(5) 体力の衰え

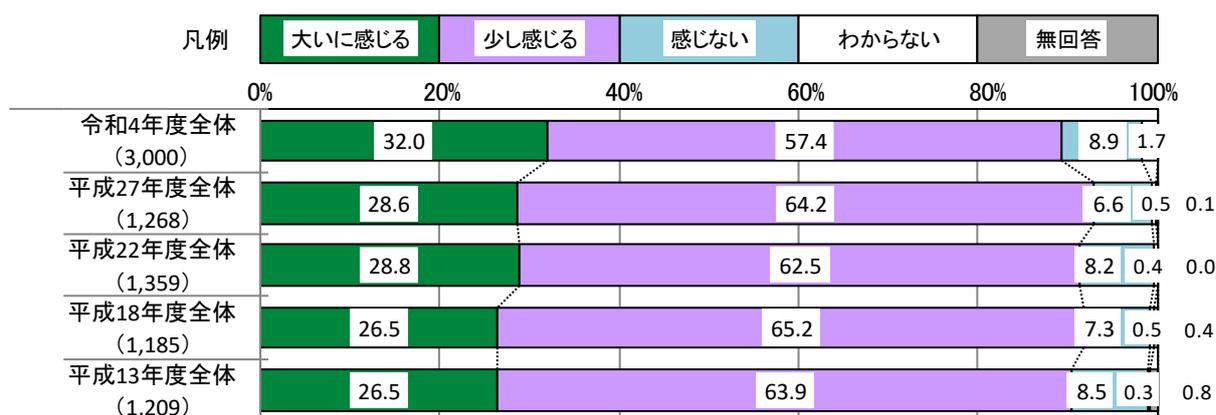
問2 (5) 日頃、体力の衰えを感じますか。1つだけ選んでください。

ア 大いに感じる イ 少し感じる ウ 感じない エ わからない

全員に、日頃の体力の衰えについてたずねたところ、「少し感じる」が57.4%、「大いに感じる」が32.0%であった。

「少し感じる」は、平成27年度（64.2%）から低下（6.8ポイント）したが、「大いに感じる」は、平成27年度（28.6%）から上昇（3.4ポイント）した。

【図表1-5：体力の衰え（全体比較）／単一回答】



(6) 運動不足

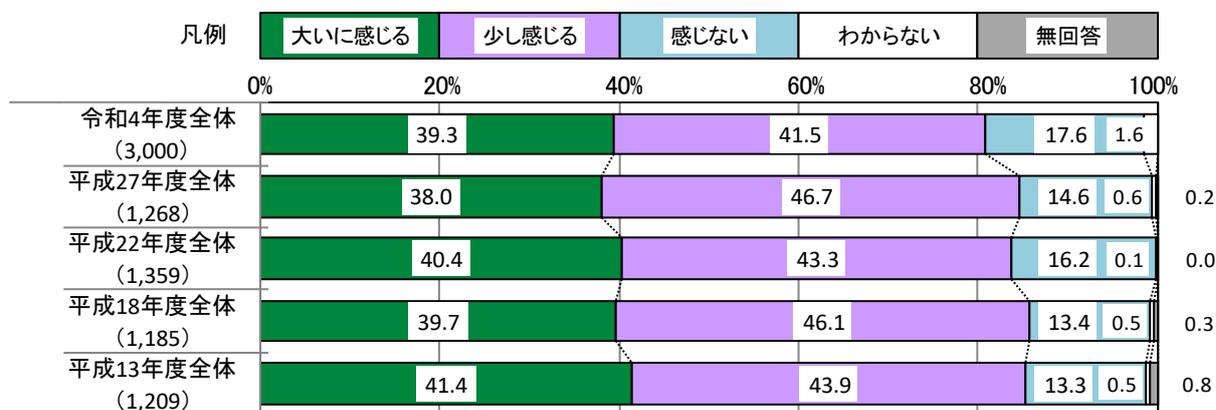
問2 (6) 日頃、運動不足を感じますか。1つだけ選んでください。

ア 大いに感じる イ 少し感じる ウ 感じない エ わからない

全員に、日頃、運動不足を感じるかについてたずねたところ、「少し感じる」が41.5%、「大いに感じる」が39.3%であった。

「少し感じる」は、平成27年度（46.7%）から低下（5.2ポイント）したが、「大いに感じる」は、平成27年度（38.0%）と大きな差はなかった。

【図表1-6：運動不足（全体比較）／単一回答】



(7) 自身の肥満度

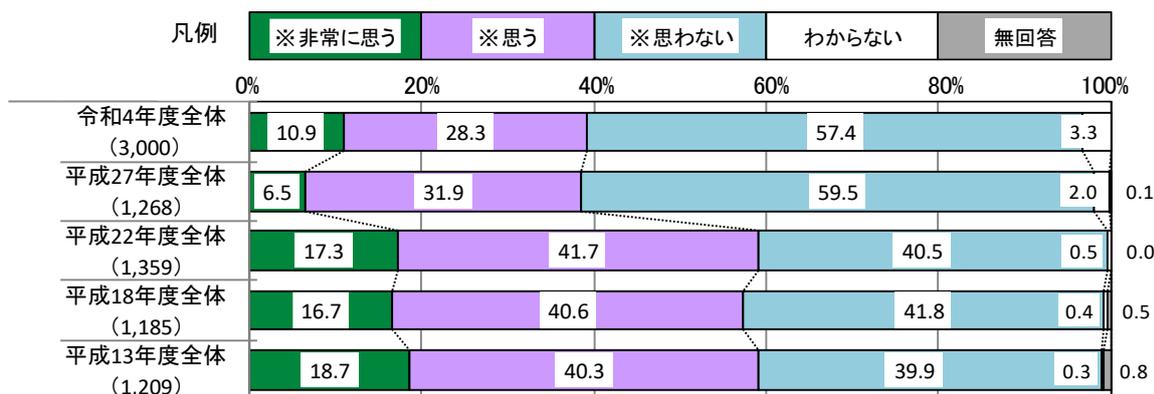
問2 (7) ご自身は肥満であると思いますか。1つだけ選んでください。

ア 非常に思う イ 思う ウ 思わない エ わからない

全員に、自身が肥満であると思うかたずねたところ、「思う」が28.3%、「非常に思う」が10.9%であった。

《思う群（「非常に思う」＋「思う」）》は、39.2%で、平成27年度（38.4%）と大きな差はなかった。

【図表1-7：自身の肥満度（全体比較）／単一回答】



※ 平成22年度調査までは「大いに感じる」「感じる」「感じない」

(8) 健康や体力の維持増進への注意

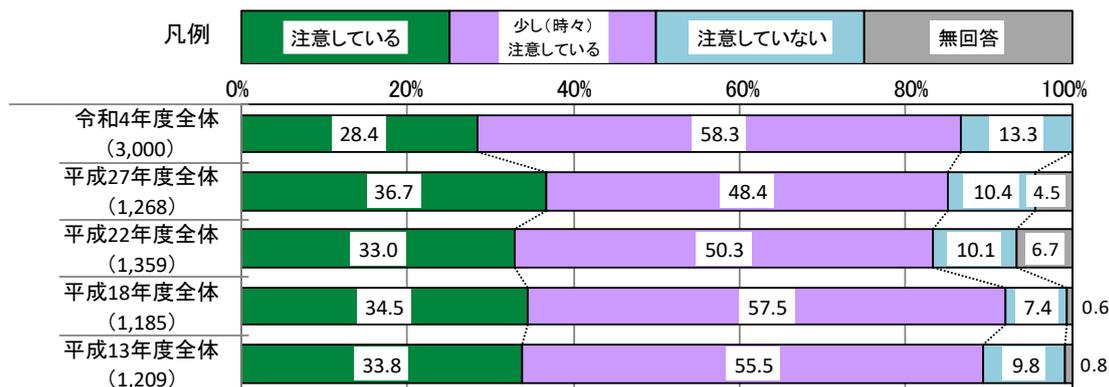
問2 (8) 日頃、健康や体力の維持増進に注意していますか。1つだけ選んでください。

ア 注意している
 イ 少し（時々）注意している
 ウ 注意していない → 問3 (1) へ進む

全員に、日頃の健康や体力の維持増進への注意の意識をたずねたところ、「少し（時々）注意している」が58.3%で、「注意している」(28.4%)であった。また、「注意している」は、これまでの調査の中で最も低かった。

《注意している群（「注意している」＋「少し（時々）注意している」）》は86.7%で、平成27年度（85.1%）と大きな差はないが、平成22年度（83.3%）以降上昇が続いている。

【図表1-8：健康や体力の維持増進への注意（全体比較）／単一回答】



(9) 健康・体力維持への留意点

問2 (9) 日頃、健康や体力の維持増進のために心掛けていることはありますか。3つまで選んでください。

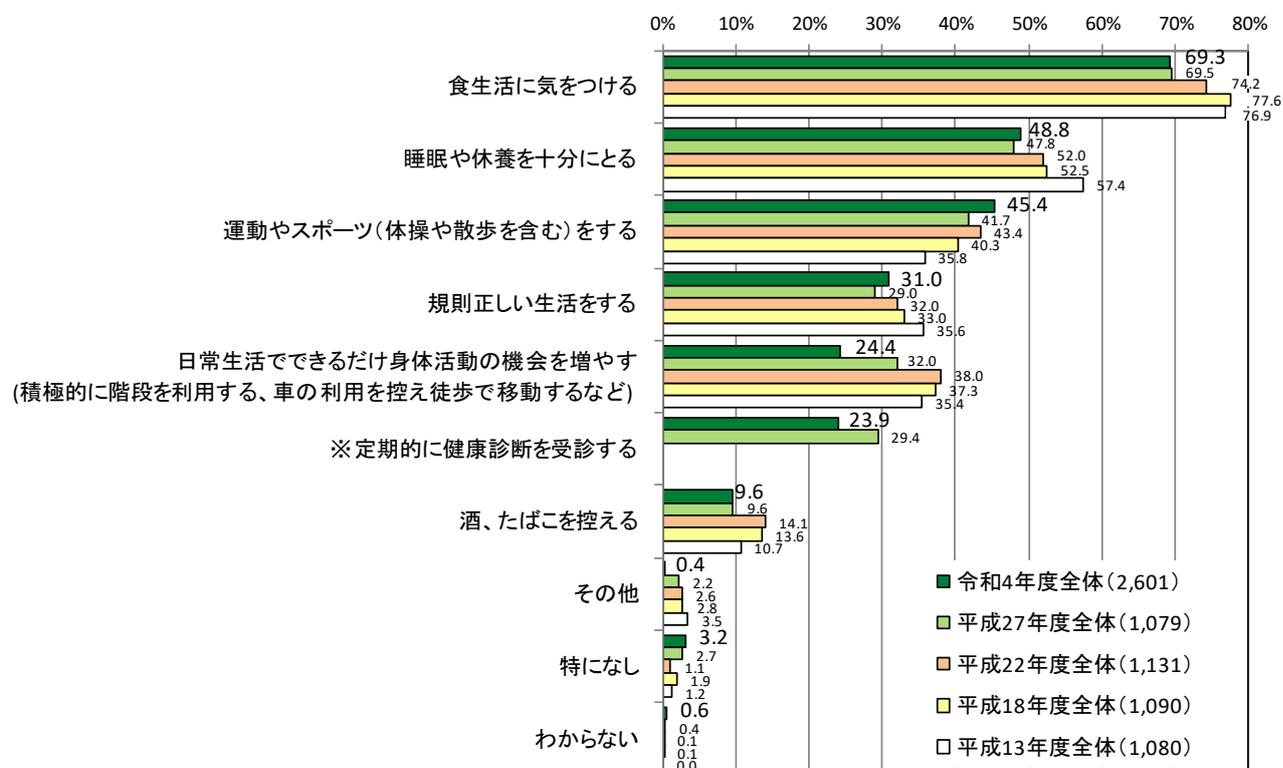
- ア 食生活に気をつける
- イ 睡眠や休養を十分にとる
- ウ 運動やスポーツ（体操や散歩を含む）をする
- エ 日常生活でできるだけ身体活動の機会を増やす
(積極的に階段を利用する、車の利用を控え徒歩で移動するなど)
- オ 規則正しい生活をする
- カ 酒、たばこを控える
- キ 定期的に健康診断を受診する
- ク その他 ()
- ケ 特になし
- コ わからない

注) 「キ 定期的に健康診断を受診する」は平成27年度調査から追加

日頃、健康や体力の維持増進に「注意している」または「少し(時々)注意している」と答えた人(2,601人)に、日頃の健康や体力の維持増進のために心掛けていることについてたずねた(3つまで回答可)ところ、「食生活に気をつける」が69.3%で最も高かった。

また、「運動やスポーツ(体操や散歩を含む)をする」は45.4%で、平成27年度(41.7%)に比べ上昇(3.7ポイント)し、「日常生活でできるだけ身体活動の機会を増やす」は24.4%で、平成27年度(32.0%)に比べて低下(7.6ポイント)、「定期的に健康診断を受診する」は23.9%で、平成27年度(29.4%)に比べて低下(5.5ポイント)した。

【図表1-9：健康・体力維持への留意点(全体比較)／複数回答(3つまで)】



※ 平成27年度調査から追加

2 運動・スポーツの実施状況及び今後の意向

(1) 1年間に行った運動・スポーツ種目

ア 気軽に楽しんでいるスポーツや比較的軽い運動として行っているスポーツ

この1年間で1日あたり30分※以上行った運動・スポーツについて、次の質問にお答えください。

※ 1回あたり30分とは、1回10分程度の運動を合計して30分でも構いません。

問3 (1) 気軽に楽しんでいるスポーツや比較的軽い運動として行っているスポーツはありますか。3つまで選んでください。(ア～コの選択数とサ、シの種目名の合計が3つまでになるようにしてください。)

- ア 軽い球技 (キャッチボールなど)
- イ 体操 (縄跳びを含む)
- ウ 軽いエアロビックダンス、ヨガ
- エ ウォーキング (散歩などを含む)
- オ フォークダンス (社交ダンス、民踊、車いすダンスなどを含む)
- カ ボウリング
- キ ゲートボール、グラウンド・ゴルフ
- ク ジョギング
- ケ 軽い水泳 (水中ウォーキングなどを含む)
- コ 室内運動器具 (ダンベル、チューブなど) を使って行う軽い運動
- サ 障がい者スポーツ (パラスポーツ)
(種目名)
- シ その他の軽い運動やスポーツ
(種目名)
- ス 特になし

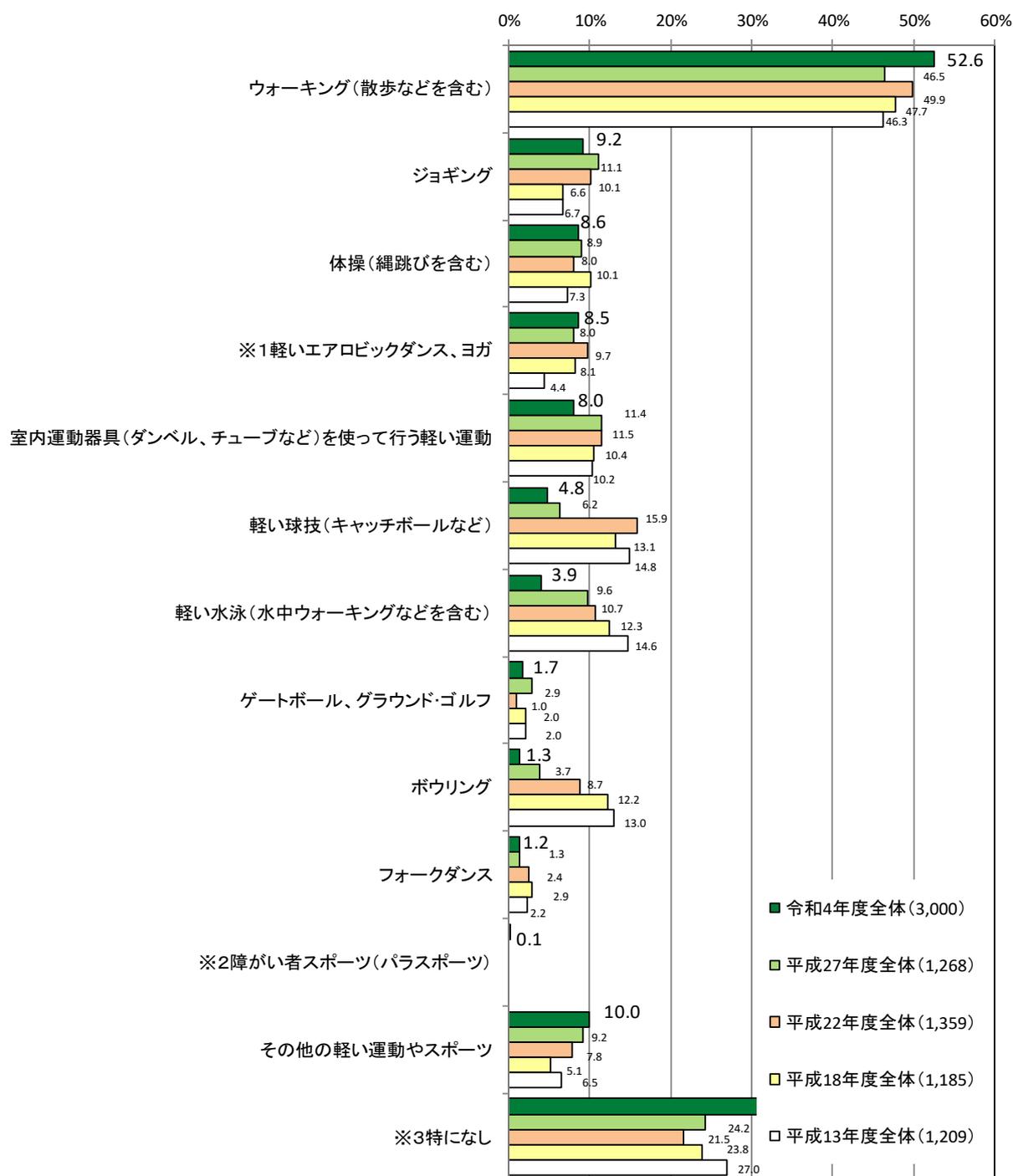
全員に、この1年間で1日あたり30分以上行った運動・スポーツのうち【気軽に楽しんでいるスポーツや比較的軽い運動として行っているスポーツ】の実施状況についてたずねた(3つまで回答可)ところ、「ウォーキング(散歩などを含む)」(52.6%)が最も高く、平成27年度(46.5%)と比較すると上昇(6.1ポイント)した。また、「軽い水泳(水中ウォーキングなどを含む)」(3.9%)は平成27年度(9.6%)と比較すると低下(5.7ポイント)した。その他、「室内運動器具(ダンベル、チューブなど)を使って行う軽い運動」(8.0%)は、平成27年度(11.4%)と比較すると低下(3.4ポイント)した。

また、性別で見ると、「ウォーキング(散歩などを含む)」の男性(55.3%)は、平成27年度(48.0%)と比較すると上昇(7.3ポイント)した。

年代別で見ると、「軽い水泳(水中ウォーキングなどを含む)」の30代(2.8%)、40代(3.9%)は、平成27年度(30代17.8%、40代11.4%)と比較すると低下(30代15.0ポイント、40代7.5ポイント)した。

図表、14, 15ページ参照

【図表2-1①：《気軽に楽しんでいるスポーツや比較的軽い運動として行っているスポーツ》の実施（全体比較）／複数回答（3つまで）】

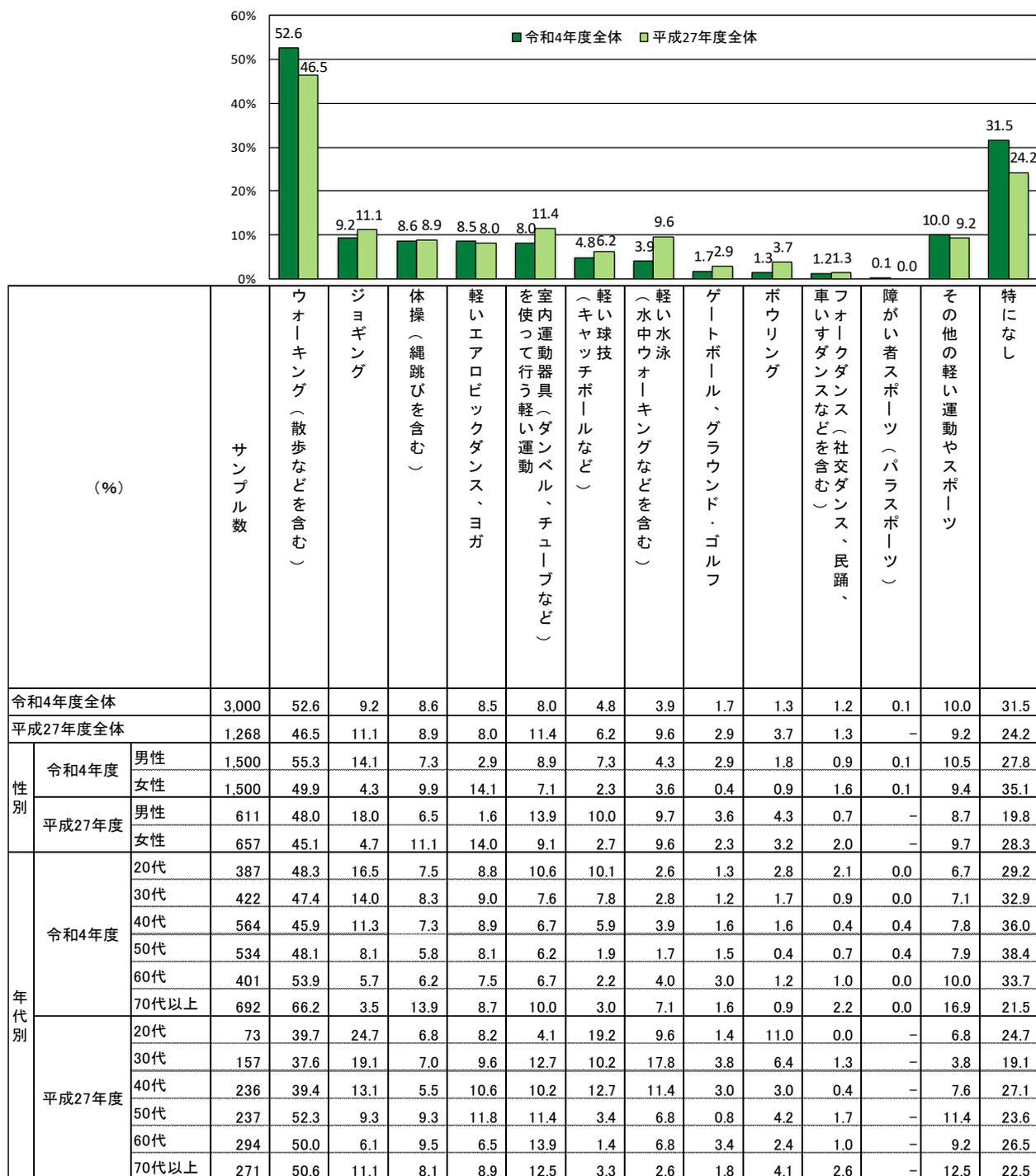


※1 平成13年度調査では「エアロビックダンス(エアロビクス体操)」
平成18～27年度調査では「エアロビッダンス、ヨガ」

※2 令和4年度調査から追加

※3 平成27年度調査までは「していない」と表記

【図表2-1②：《気軽に楽しんでいるスポーツや比較的軽い運動として行っているスポーツ》の実施（令和4年度・平成27年度性別比較）／複数回答（3つまで）】



イ 野外活動として行っているスポーツ

この1年間で1日あたり30分※以上行った運動・スポーツについて、次の質問にお答えください。

※ 1回あたり30分とは、1回10分程度の運動を合計して30分でも構いません。

問3 (2) 野外活動として行っているスポーツはありますか。3つまで選んでください。(ア～コの選択数とサ、シの種目名の合計が3つまでになるようにしてください。)

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| ア スキー、スノーボード | ク ハングライダーなどのスカイスポーツ |
| イ 海水浴(遊泳) | ケ サイクリング |
| ウ スケート | コ 釣り |
| エ 登山、ハイキング | サ 障がい者スポーツ(パラスポーツ) |
| オ キャンプ | (種目名) |
| カ ヨット、サーフィンなどの
マリンスポーツ | シ その他の野外活動 |
| キ ゴルフ | (種目名) |
| | ス 特になし |

注) 「エ 登山、ハイキング」は平成22年度調査までは別の選択肢、「オリエンテーリング」は平成27年度調査から削除、
「サ 障がい者スポーツ」は令和4年度調査から追加、「ス 特になし」は平成27年度調査まで「していない」

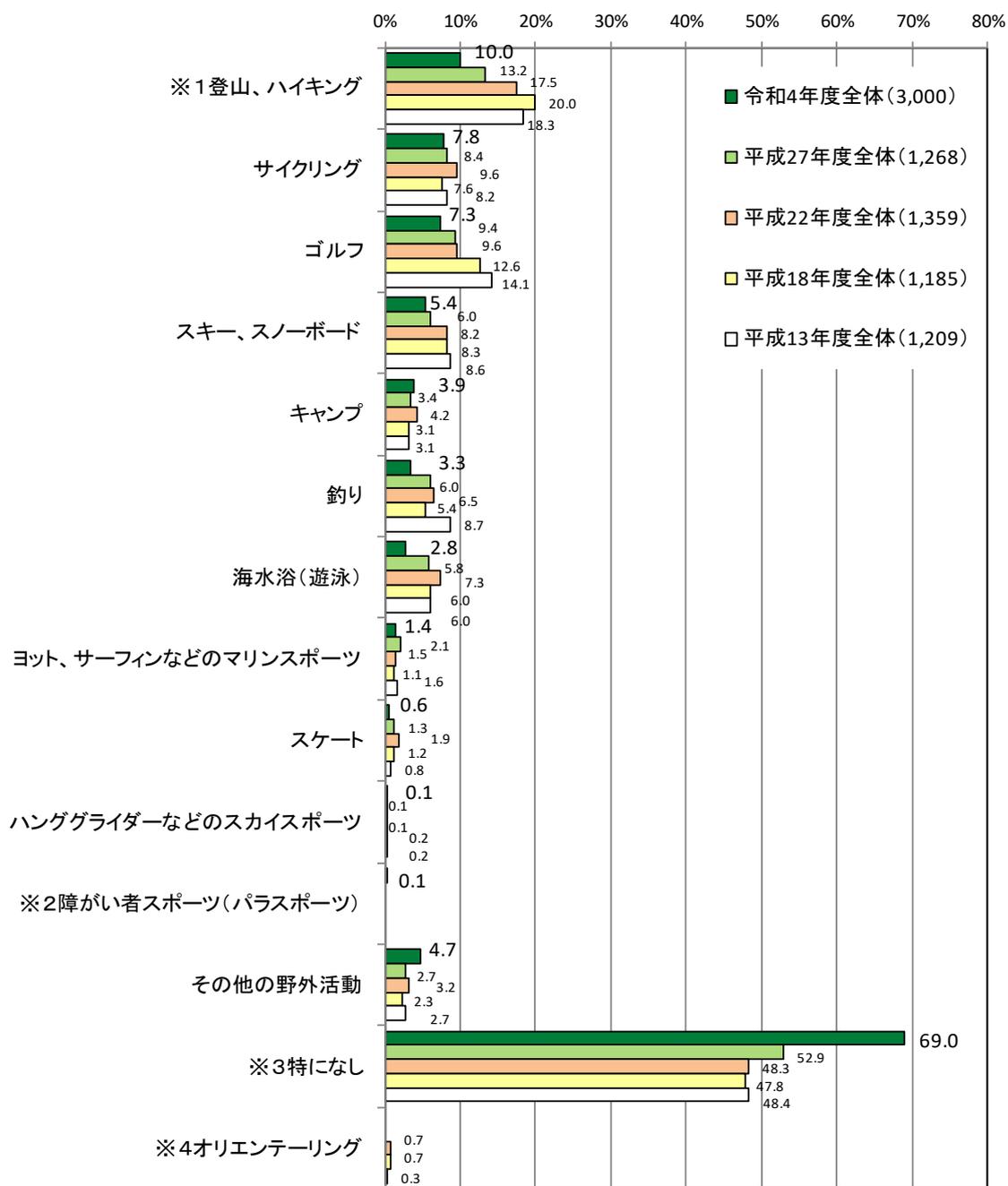
全員に、この1年間で1日あたり30分以上行った運動・スポーツのうち【野外活動として行っているスポーツ】の実施状況についてたずねた(3つまで回答可)ところ、「特になし」(69.0%)が最も高く、平成27年度(52.9%)から大幅に上昇(16.1ポイント)した。また、他の種目の実施状況は全て10.0%以下であった。

また、性別でみると「釣り」の男性(5.8%)は、平成27年度(11.3%)と比較すると低下(5.5ポイント)した。

年代別でみると、「海水浴(遊泳)」の20代と30代(ともに3.6%)は、平成27年度(20代13.7%、30代17.8%)と比較すると低下(20代10.1ポイント、30代14.2ポイント)した。「スキー・スノーボード」の20代(13.4%)と30代(5.7%)は、平成27年度(20代21.9%、30代10.8%)と比較すると低下(20代8.5ポイント、30代5.1ポイント)した。

図表、17,18ページ参照

【図表 2-2①：「野外活動として行っているスポーツ」の実施（全体比較）／複数回答（3つまで）】



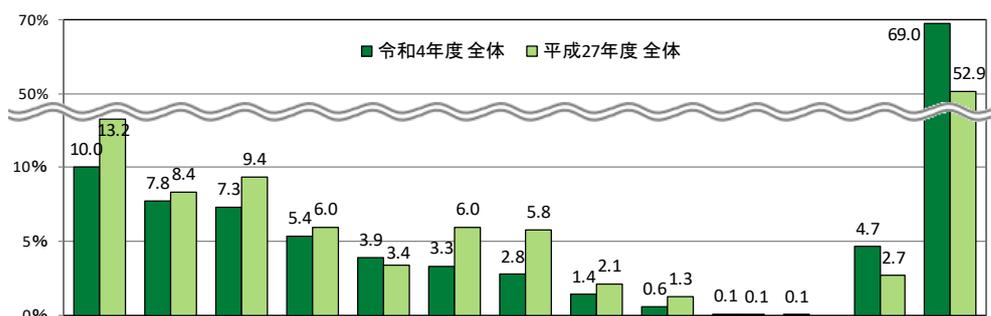
※1 平成 22 年度調査までのデータは「登山」と「ハイキング」を合算

※2 令和 4 年度調査から追加

※3 平成 27 年度調査までは「していない」と表記

※4 平成 27 年度調査から削除

【図表2-2②：「野外活動として行っているスポーツ」の実施（令和4年度・平成27年度属性別比較）／複数回答（3つまで）】



		(%)	サンプル数	登山・ハイキング	サイクリング	ゴルフ	スキー・スノーボード	キャンプ	釣り	海水浴(遊泳)	のマリンスポーツ	スケート	ハンググライダーなどの	(障がい者スポーツ)	その他の野外活動	特になし
令和4年度 全体			3,000	10.0	7.8	7.3	5.4	3.9	3.3	2.8	1.4	0.6	0.1	0.1	4.7	69.0
平成27年度 全体			1,268	13.2	8.4	9.4	6.0	3.4	6.0	5.8	2.1	1.3	0.1	-	2.7	52.9
性別	令和4年度	男性	1,500	12.1	10.0	11.9	7.4	4.9	5.8	3.9	1.8	0.7	0.1	0.1	7.1	58.4
		女性	1,500	8.0	5.5	2.7	3.3	2.9	0.9	1.7	1.0	0.4	0.1	0.1	2.3	79.6
	平成27年度	男性	611	13.9	11.0	16.7	8.8	4.3	11.3	7.4	3.6	1.8	0.0	-	4.4	40.4
		女性	657	12.6	5.9	2.6	3.3	2.6	1.1	4.3	0.8	0.8	0.2	-	1.1	64.5
年代別	令和4年度	20代	387	7.0	9.6	5.4	13.4	8.0	3.4	3.6	1.8	2.3	0.3	0.3	2.6	64.9
		30代	422	10.4	9.5	6.9	5.7	7.6	3.8	3.6	2.6	0.9	0.2	0.0	3.3	64.2
		40代	564	10.3	8.2	4.8	5.1	5.5	3.4	4.3	2.0	0.4	0.0	0.0	3.9	69.0
		50代	534	8.6	8.1	7.9	4.1	1.5	4.3	2.4	0.7	0.2	0.0	0.0	5.1	71.0
		60代	401	9.5	5.0	9.2	3.2	1.7	2.5	1.5	1.7	0.0	0.2	0.0	5.0	71.8
		70代以上	692	12.7	6.8	9.1	3.0	1.2	2.7	1.6	0.3	0.1	0.0	0.1	6.8	71.1
	平成27年度	20代	73	13.7	9.6	9.6	21.9	2.7	8.2	13.7	5.5	2.7	0.0	-	2.7	43.8
		30代	157	12.1	9.6	8.9	10.8	8.9	5.7	17.8	5.1	3.8	0.0	-	3.8	43.3
		40代	236	15.3	9.7	7.2	8.1	3.8	6.8	7.6	3.4	1.3	0.0	-	2.1	48.3
		50代	237	14.3	9.3	10.1	4.2	4.6	8.0	4.2	0.8	2.1	0.0	-	1.7	52.7
		60代	294	14.3	7.5	13.3	2.7	1.0	5.1	1.4	1.4	0.0	0.3	-	2.7	55.1
		70代以上	271	10.0	6.3	6.6	2.2	1.5	4.1	1.1	0.4	0.0	0.0	-	3.3	62.7

ウ 競技として行っているスポーツ

この1年間で1日あたり30分※以上行った運動・スポーツについて、次の質問にお答えください。

※ 1回あたり30分とは、1回10分程度の運動を合計して30分でも構いません。

問3 (3) 競技として行っているスポーツはありますか。3つまで選んでください。(ア～スの選択数とセ～タの種目名の合計が3つまでになるようにしてください。)

ア 陸上競技	サ テニス、卓球、バドミントン
イ マラソン	シ バスケットボール
ウ 水泳競技	ス ラグビー
エ 柔道、剣道、相撲、空手	セ その他の球技スポーツ (種目名)
オ ボクシング、レスリング	ソ 障がい者スポーツ (パラスポーツ) (種目名)
カ 弓道、アーチェリー	タ その他のスポーツ (種目名)
キ セーリング	チ 特になし
ク 野球、ソフトボール	
ケ サッカー、フットサル	
コ バレーボール	

注) 「キ セーリング」、「ス ラグビー」、「ソ 障がい者スポーツ (パラスポーツ)」は令和4年度調査から追加、「チ 特になし」平成27年度調査では「していない」

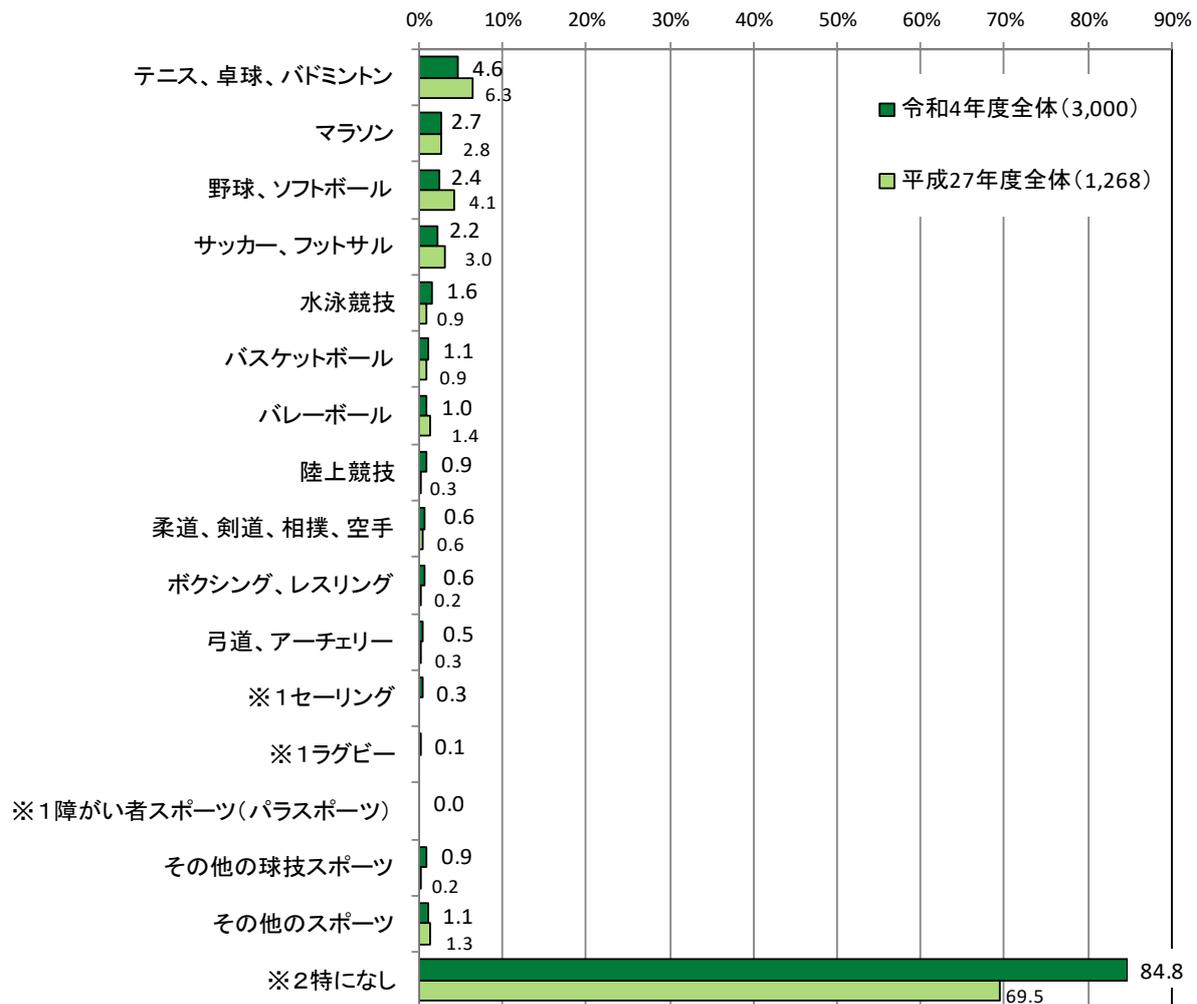
全員に、この1年間で1日あたり30分以上行った運動・スポーツのうち【競技として行っているスポーツ】の実施状況についてたずねた(3つまで回答可)ところ「特になし」(84.8%)が最も高く、平成27年度(69.5%)から大幅に上昇(15.3ポイント)した。また、他の種目は全て5.0%未満であった。

また、性別で見ると、「野球、ソフトボール」の男性(4.3%)は、平成27年度(8.5%)と比較すると低下(4.2ポイント)した。

年代別で見ると、「テニス、卓球、バドミントン」の20代(5.2%)は、平成27年度(16.4%)と比較すると低下(11.2ポイント)した。「野球、ソフトボール」の20代(4.4%)は、平成27年度(9.6%)と比較すると低下(5.2ポイント)した。

図表、20,21ページ参照

【図表 2-3①：「競技として行っているスポーツ」の実施（令和4年度・平成27年度比較）
／複数回答（3つまで）】

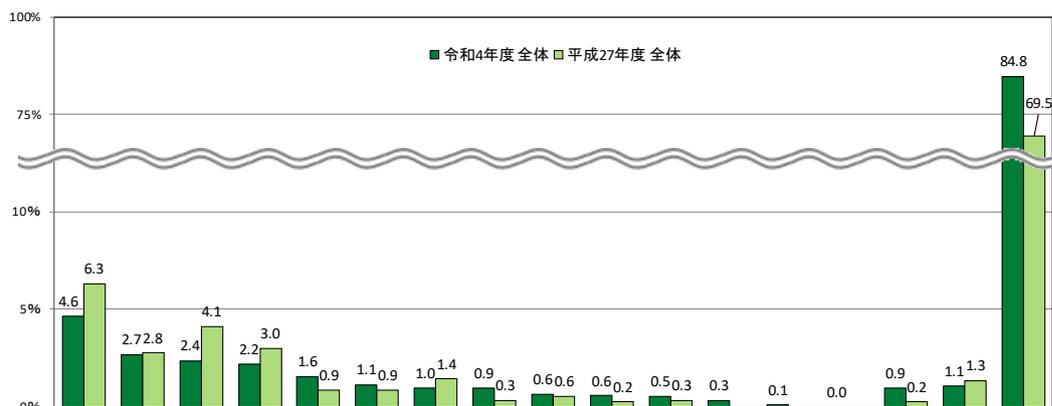


※1 セーリング、ラグビー、障がい者スポーツ（パラスポーツ）は
令和4年度調査から追加

※2 「特になし」平成27年度調査では「していない」と表記

令和4年度・平成27年度比較図表、次ページ参照

【図表2-3②：「競技として行っているスポーツ」の実施（令和4年度・平成27年度属性別比較）／複数回答（3つまで）】



		(%)	サンプル数	テニス、卓球、バドミントン	マラソン	野球、ソフトボール	サッカー、フットサル	水泳競技	バスケットボール	バレーボール	陸上競技	柔道、剣道、相撲、空手	ボクシング、レスリング	弓道、アーチェリー	セーリング	ラグビー	障がい者スポーツ（パラスポーツ）	その他の球技スポーツ	その他のスポーツ	特になし
令和4年度 全体			3,000	4.6	2.7	2.4	2.2	1.6	1.1	1.0	0.9	0.6	0.6	0.5	0.3	0.1	0.0	0.9	1.1	84.8
平成27年度 全体			1,268	6.3	2.8	4.1	3.0	0.9	0.9	1.4	0.3	0.6	0.2	0.3	-	-	-	0.2	1.3	69.5
性別	令和4年度 男性		1,500	5.2	4.1	4.3	4.1	2.0	1.7	0.9	1.4	1.1	0.9	0.5	0.5	0.2	0.0	1.5	1.3	78.5
	令和4年度 女性		1,500	4.1	1.3	0.4	0.2	1.1	0.5	1.0	0.5	0.2	0.2	0.5	0.1	0.0	0.0	0.3	0.9	91.1
性別	平成27年度 男性		611	7.9	4.4	8.5	5.7	1.0	1.3	1.6	0.2	0.8	0.5	0.3	-	-	-	0.5	2.3	60.4
	平成27年度 女性		657	4.9	1.2	0.0	0.5	0.8	0.5	1.2	0.5	0.3	0.0	0.3	-	-	-	0.0	0.5	77.9
年代別	令和4年度	20代	387	5.2	2.1	4.4	5.2	2.3	3.6	1.8	2.3	1.3	1.3	1.6	1.0	0.0	0.0	0.3	1.8	76.2
		30代	422	4.0	3.1	4.3	5.9	2.6	1.7	1.7	0.7	1.2	1.2	0.7	0.0	0.2	0.0	1.2	0.9	78.0
		40代	564	3.5	4.8	2.1	2.3	1.6	1.2	1.4	0.9	0.7	0.5	0.5	0.4	0.0	0.0	0.0	0.9	83.9
		50代	534	4.1	2.8	1.7	0.9	0.9	0.7	0.6	0.7	0.4	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.7	0.4	88.8
		60代	401	4.2	2.0	1.0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.5	0.5	0.0	0.7	0.2	0.0	0.7	90.3
		70代以上	692	6.2	1.3	1.6	0.1	1.7	0.1	0.4	0.9	0.1	0.0	0.3	0.1	0.1	0.0	2.2	1.6	88.2
		平成27年度	20代	73	16.4	4.1	9.6	9.6	0.0	6.8	4.1	2.7	2.7	1.4	1.4	-	-	-	0.0	1.4
	平成27年度	30代	157	3.8	3.2	5.1	8.3	1.3	0.6	3.2	0.0	0.6	0.0	0.0	-	-	-	0.0	0.6	65.6
	平成27年度	40代	236	6.4	5.5	3.8	3.8	1.7	1.7	1.3	0.4	0.0	0.8	0.4	-	-	-	0.4	0.0	68.2
	平成27年度	50代	237	7.2	3.0	5.5	2.5	0.8	0.4	1.7	0.4	0.4	0.0	0.0	-	-	-	0.8	3.4	70.0
	平成27年度	60代	294	4.4	1.0	2.4	1.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0	0.7	-	-	-	0.0	1.4	73.1
	平成27年度	70代以上	271	6.3	1.5	3.0	0.0	1.1	0.0	0.4	0.0	0.4	0.0	0.0	-	-	-	0.0	1.1	72.3

(2) 1年間に行った運動・スポーツの日数

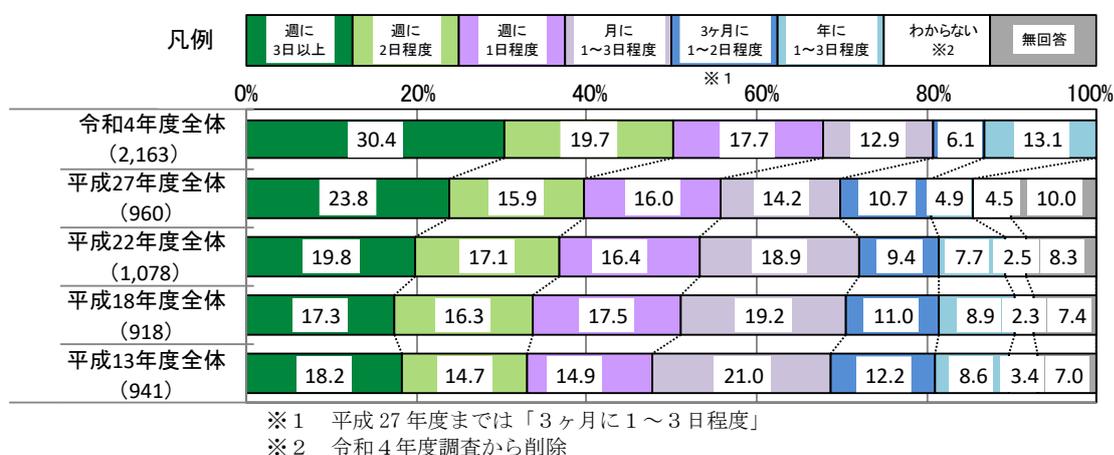
問3 (4) この1年間で1日に30分※以上運動・スポーツをどの程度行いましたか。
1つだけ選んでください。

※ 1日30分とは、1回10分程度の運動を合計して30分でも構いません。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| ア 週に3日以上 (151日以上) | エ 月に1～3日程度 (12日～50日) |
| イ 週に2日程度 (101日～150日) | オ 3ヶ月に1～2日程度 (4～11日) |
| ウ 週に1日程度 (51日～100日) | カ 年に1～3日程度 |

[問3(1)(2)(3)]で、いずれかの運動・スポーツを行ったと答えた人(2,163人)に、この1年間で30分以上運動した日数をたずねたところ、「週に3日以上(151日以上)」が30.4%で最も高く、平成27年度(23.8%)から上昇(6.6ポイント)した。《週1日以上》運動やスポーツを行った人の割合は67.8%で、平成27年度(55.7%)から上昇(12.1ポイント)した。

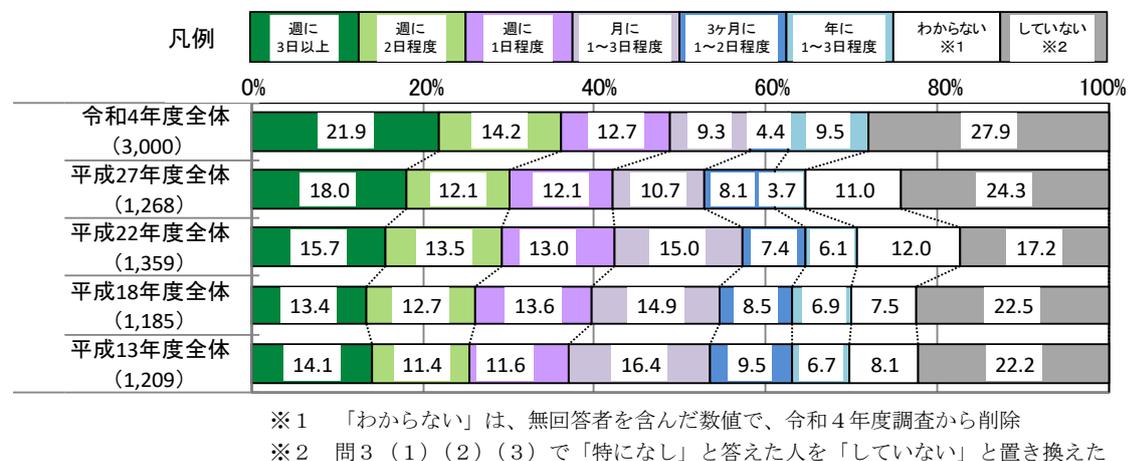
【図表2-4：1年間に行った運動・スポーツの日数(全体比較)／単一回答】



【参考図表1：1年間に行った運動・スポーツの日数(「スポーツを行わなかった層」を含む) (全体比較)／単一回答】

この1年間に行った運動・スポーツの日数をたずねたところ、「行わなかった」(27.9%)が最も高く、次いで「週に3日以上(151日以上)」(21.9%)が高かった。

また、《週1日以上》運動やスポーツを行った人の割合は48.8%で、平成27年度(42.2%)から上昇(6.6ポイント)した。一方で「行わなかった」人の割合は27.9%で、平成27年(24.3%)から上昇(3.6ポイント)した。



(3) 運動・スポーツを行った理由

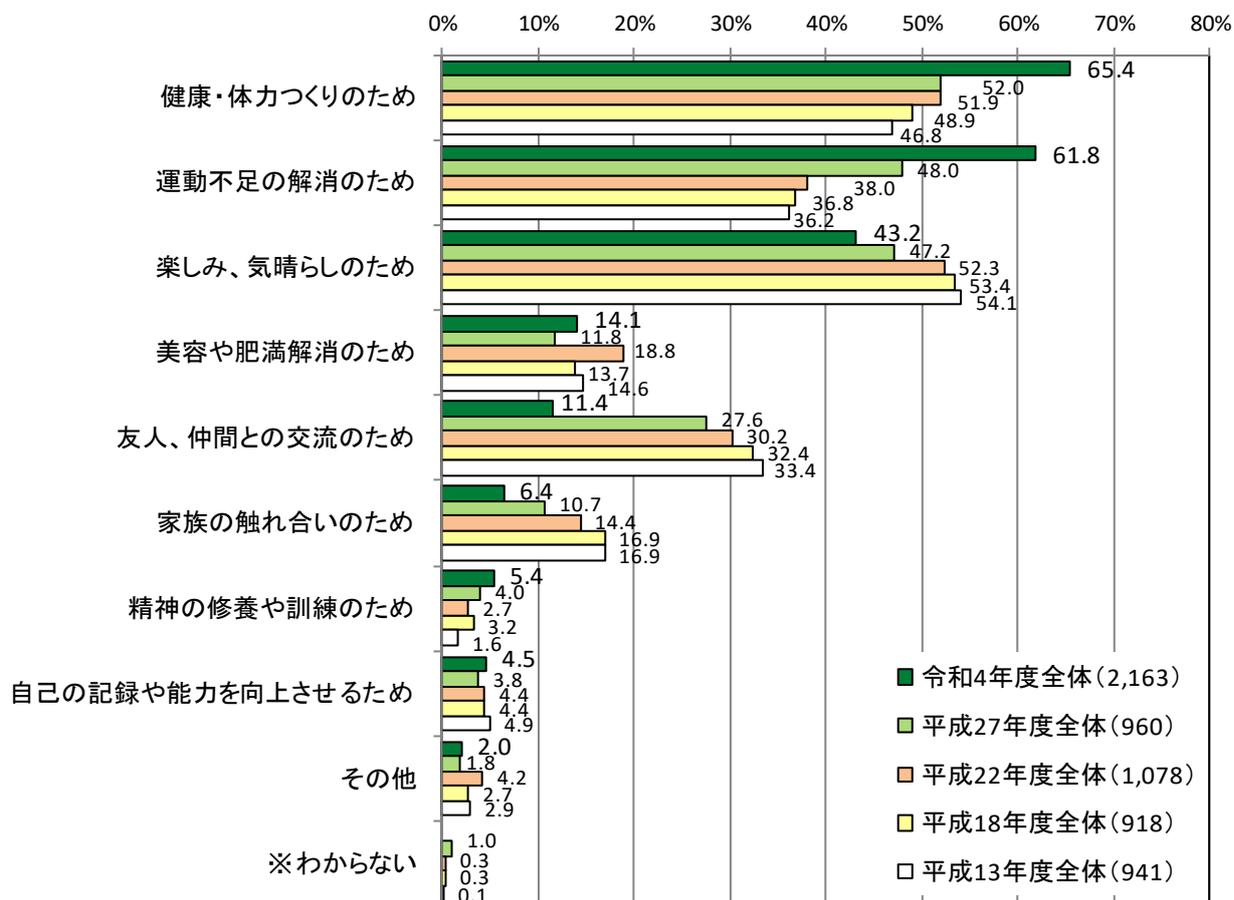
問3 (5) この1年間で運動・スポーツを行った理由を選んでください。3つまで選んでください。

- | | |
|--------------------|----------------|
| ア 健康・体力づくりのため | カ 家族の触れ合いのため |
| イ 楽しみ、気晴らしのため | キ 友人、仲間との交流のため |
| ウ 運動不足の解消のため | ク 美容や肥満解消のため |
| エ 精神の修養や訓練のため | ケ その他 () |
| オ 自己の記録や能力を向上させるため | |

[問3(1)(2)(3)]で、いずれかの運動・スポーツを行ったと答えた人(2,163人)に、この1年間で運動やスポーツを行った理由をたずねた(3つまで回答可)ところ、「健康・体力づくりのため」(65.4%)が最も高く、次いで「運動不足の解消のため」(61.8%)となった。ともに平成13年度以降、上昇を続けている。

なお、「楽しみ、気晴らしのため」(43.2%)は低下が続いており、「友人・仲間との交流のため」(11.4%)は平成27年度(27.6%)から大幅に低下(16.2ポイント)した。

【図表2-5：運動・スポーツを行った理由(全体比較)／複数回答(3つまで)】



※ 令和4年度調査から削除

(4) 運動・スポーツを行った効果

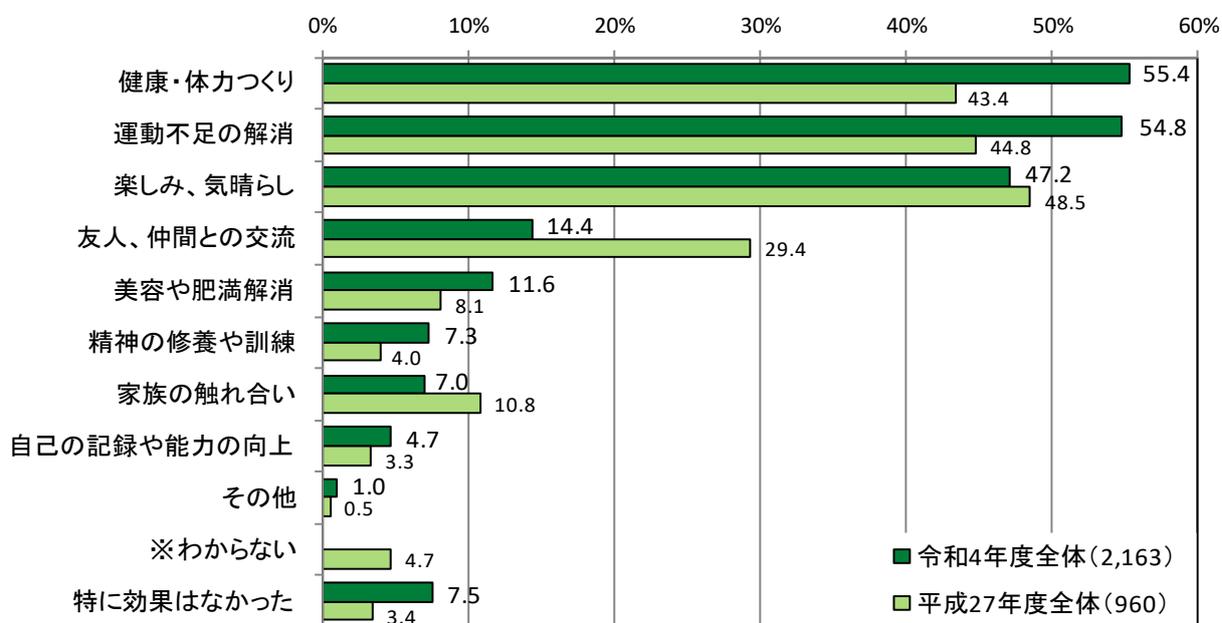
問3 (6) 運動・スポーツを行ってどんな効果がありましたか。3つまで選んでください。

- | | |
|---------------|-------------|
| ア 健康・体力づくり | カ 家族の触れ合い |
| イ 楽しみ、気晴らし | キ 友人、仲間との交流 |
| ウ 運動不足の解消 | ク 美容や肥満解消 |
| エ 精神の修養や訓練 | ケ その他 () |
| オ 自己の記録や能力の向上 | コ 特に効果はなかった |

注) 「問3 (6) 運動・スポーツをした効果」に関する設問は、平成27年度調査から新設

[問3 (1)(2)(3)]で、いずれかの運動・スポーツを行ったと答えた人(2,163人)に、この1年間で運動やスポーツをした効果をたずねた(3つまで回答可)ところ、「健康・体力づくり」(55.4%)が最も高く、平成27年度(43.4%)から上昇(12.0ポイント)した。次いで高い「運動不足の解消」(54.8%)も同様に上昇(10.0ポイント)した。一方で、「友人・仲間との交流」(14.4%)は平成27年度(29.4%)から大幅に低下(15.0ポイント)した。

【図表2-6：運動・スポーツを行った効果(全体比較)／複数回答(3つまで)】



※ 令和4年度調査から削除

(5) 運動・スポーツを行わなかった理由

問3 (7) この1年間で運動やスポーツを行わなかった理由を選んでください。3つまで選んでください。

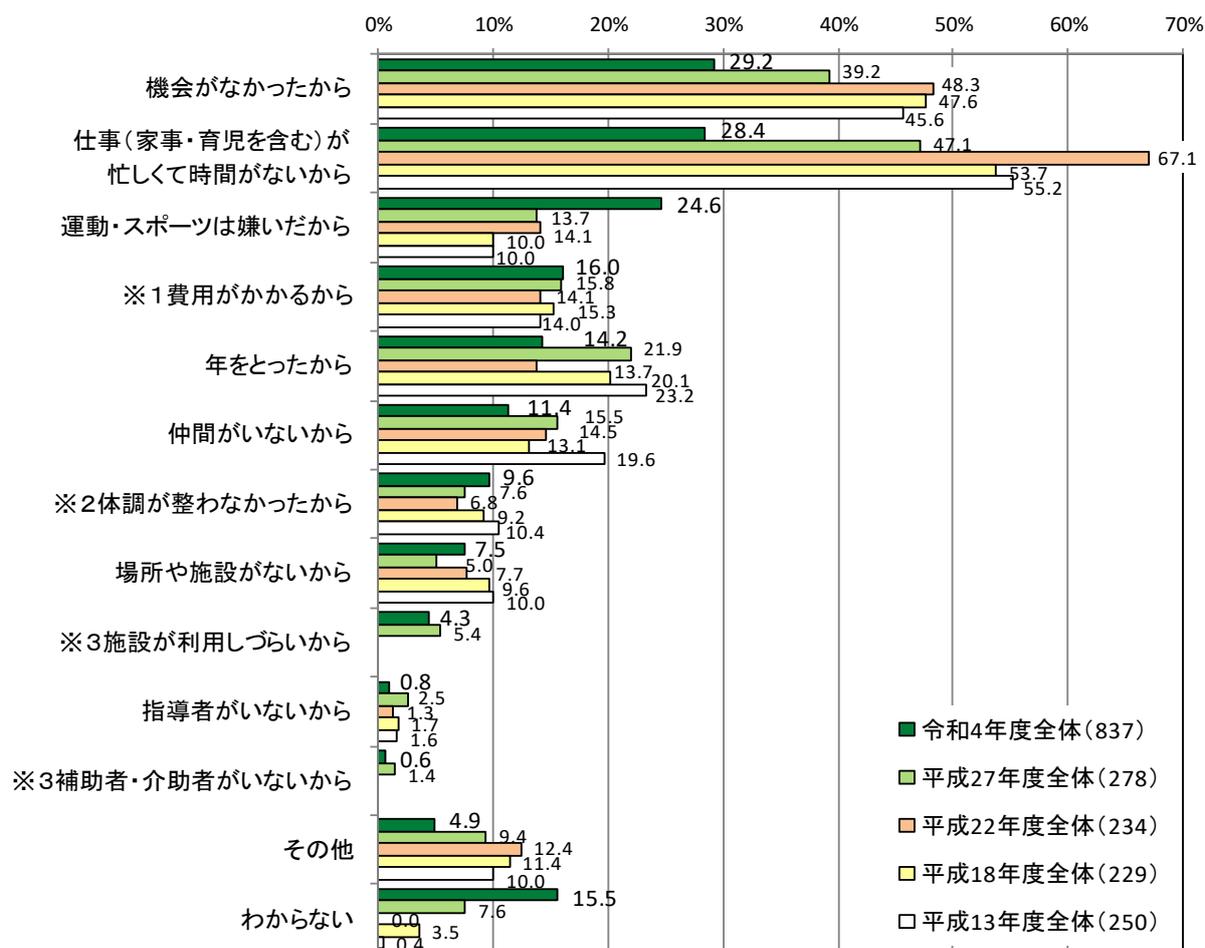
- | | |
|----------------------------|-----------------|
| ア 仕事(家事・育児を含む)が忙しくて時間がないから | キ 指導者がいないから |
| イ 体調が整わなかったから | ク 補助者・介助者がいないから |
| ウ 年をとったから | ケ 費用がかかるから |
| エ 場所や施設がないから | コ 運動・スポーツは嫌いだから |
| オ 施設が利用しづらいから | サ 機会がなかったから |
| カ 仲間がいないから | シ その他() |
| | ス わからない |

注) 「オ 施設が利用しづらいから」「ク 補助者・介助者がいないから」は平成27年度調査から追加

[問3(1)(2)(3)]で、すべてに「(運動・スポーツを)していない」と答えた人(837人)に、この1年間で運動やスポーツをしなかった理由をたずねた(3つまで回答可)ところ、「機会がなかったから」(29.2%)が最も高く、次いで「仕事(家事・育児を含む)が忙しくて時間がないから」(28.4%)となり、いずれも平成22年度以降低下している。

また、平成27年度と比較したところ「運動・スポーツは嫌いだから」(24.6%)は10.9ポイント、「わからない」(15.5%)は7.9ポイント、平成27年度から上昇した。

【図表2-7：運動・スポーツを行わなかった理由(全体比較)／複数回答(3つまで)】



※1 平成27年度までは「金がかかるから」

※2 平成27年度までは「体が弱いから」

※3 平成27年度調査から追加

(6) 運動・スポーツ活動の満足度

問4 運動・スポーツを行うことについて、どのようにお考えですか。1つだけ選んでください。

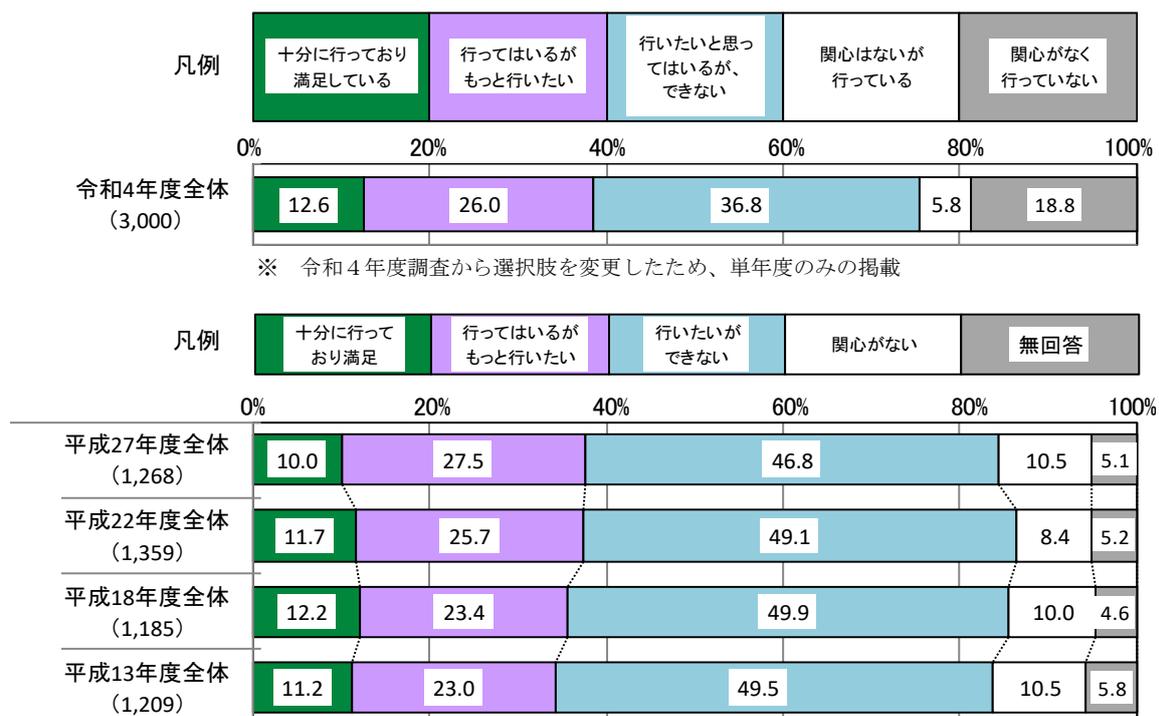
- ア 運動・スポーツを十分に行っており、満足している
- イ 運動・スポーツを行ってはいるが、もっと行いたい
- ウ 運動・スポーツを行いたいと思っはいるが、できない
- エ 運動・スポーツに関心はないが、行っている
- オ 運動・スポーツに関心がなく、行っていない

注) 「エ 運動・スポーツに関心はないが、行っている」と「オ 運動・スポーツに関心がなく、行っていない」は令和4年度調査から追加、「関心がない」は令和4年度調査から削除

全員に、運動・スポーツ活動の満足度をたずねたところ、「運動・スポーツを行いたいと思っはいるが、できない」が36.8%であり、「運動・スポーツを行ってはいるが、もっと行いたい」は26.0%であった。

また、《行いたい群（「運動・スポーツを行ってはいるが、もっと行いたい」＋「運動・スポーツを行いたいと思っはいるが、できない」）》は62.8%で、平成27年度（74.3%）から低下（11.5ポイント）した。

【図表2-8：運動・スポーツ活動の満足度（全体比較）／単一回答】



(7) 今後（も）行いたい（行ってみたい）運動・スポーツ

ア 気軽に楽しみたいスポーツや比較的軽い運動として行いたいスポーツ

今後（も）行いたい（行ってみたい）運動・スポーツについて、次の質問にお答えください。

問5 (1) 気軽に楽しみたいスポーツや比較的軽い運動として行いたいスポーツはありますか。3つまで選んでください。（ア～コの選択数とサ、シの種目名の合計が3つまでになるようにしてください。）

ア 軽い球技（キャッチボールなど）	ケ 軽い水泳 （水中ウォーキングなどを含む）
イ 体操（縄跳びを含む）	コ 室内運動器具 （ダンベル、チューブなど）
ウ 軽いエアロビックダンス、ヨガ	を使っている軽い運動
エ ウォーキング（散歩などを含む）	サ 障がい者スポーツ（パラスポーツ） （種目名 ）
オ フォークダンス （社交ダンス、民踊、車いすダンス などを含む）	シ その他の軽い運動やスポーツ （種目名 ）
カ ボウリング	ス 特になし
キ ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	
ク ジョギング	

注) 「サ 障がい者スポーツ」は令和4年度調査から追加、「ス 特になし」は「比較的軽い運動・スポーツには関心が無い」に替えて新設

全員に、今後（も）【気軽に楽しみたいスポーツや比較的軽い運動として行いたいスポーツ】についてたずねた（3つまで回答可）ところ、「ウォーキング（散歩などを含む）」（55.3%）が最も高く、平成27年度（46.9%）から上昇（8.4ポイント）した。次いで「軽いエアロビックダンス、ヨガ」（20.9%）となった。

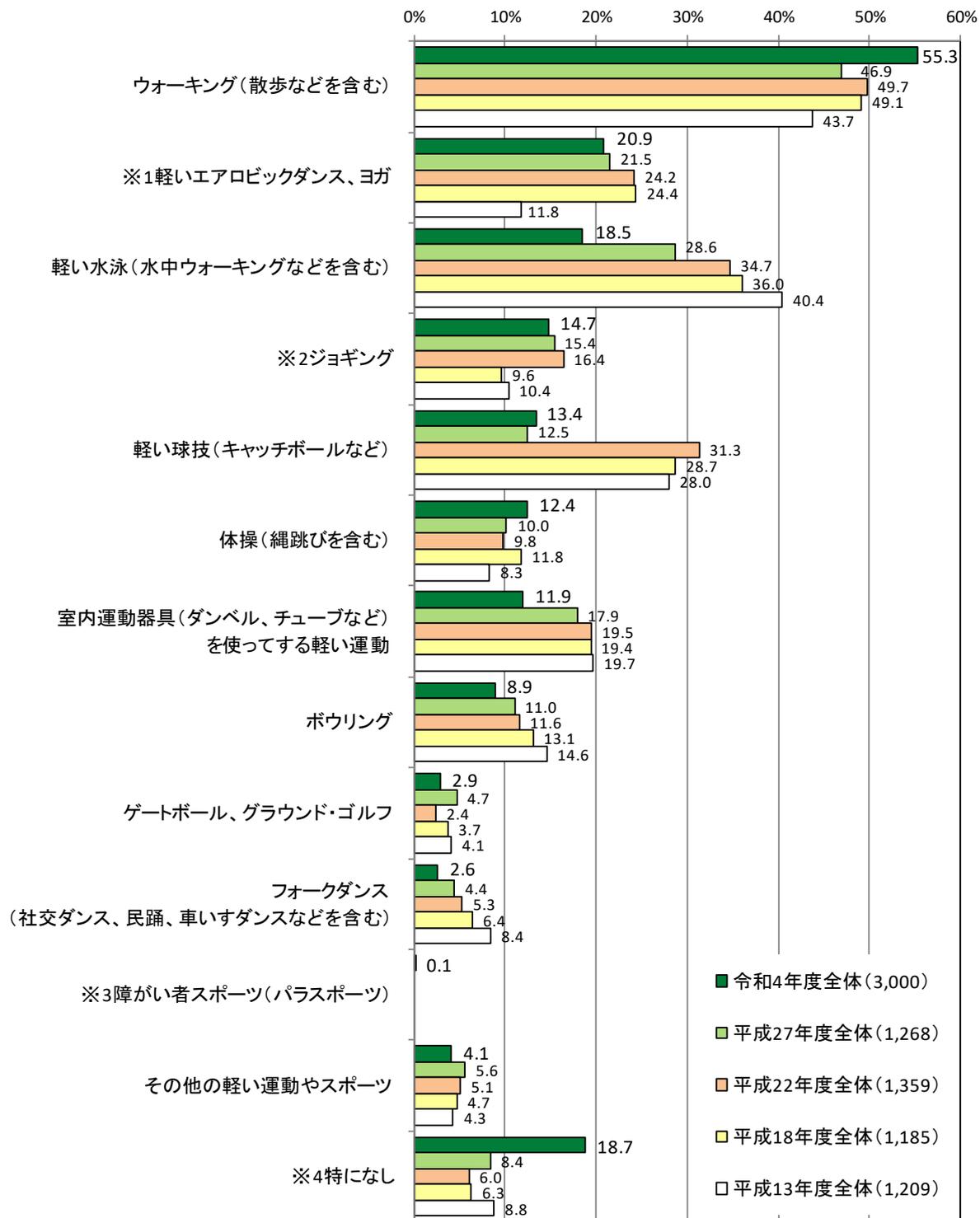
「軽い水泳（水中ウォーキングなどを含む）」（18.5%）は、平成13年以降低下が続いており、「軽い球技（キャッチボールなど）」（13.4%）は、平成27年度（12.5%）から僅かに上昇が見られるが、平成22年度調査以前から10ポイント以上低下している。

また、性別でみると、「軽い水泳（水中ウォーキングなどを含む）」の女性（19.7%）は、平成27年度（32.9%）と比較すると低下（13.2ポイント）した。

年代別でみると、「ウォーキング（散歩などを含む）」の70代以上（68.5%）は、平成27年度（53.1%）と比較すると上昇（15.4ポイント）した。

図表、28、29ページ参照

【図表 2-9①：「気軽に楽しみたいスポーツや比較的軽い運動として行いたいスポーツ」の実施意向（全体比較）／複数回答（3つまで）】



※1 平成13年度調査では「エアロビックダンス(エアロビクス体操)」

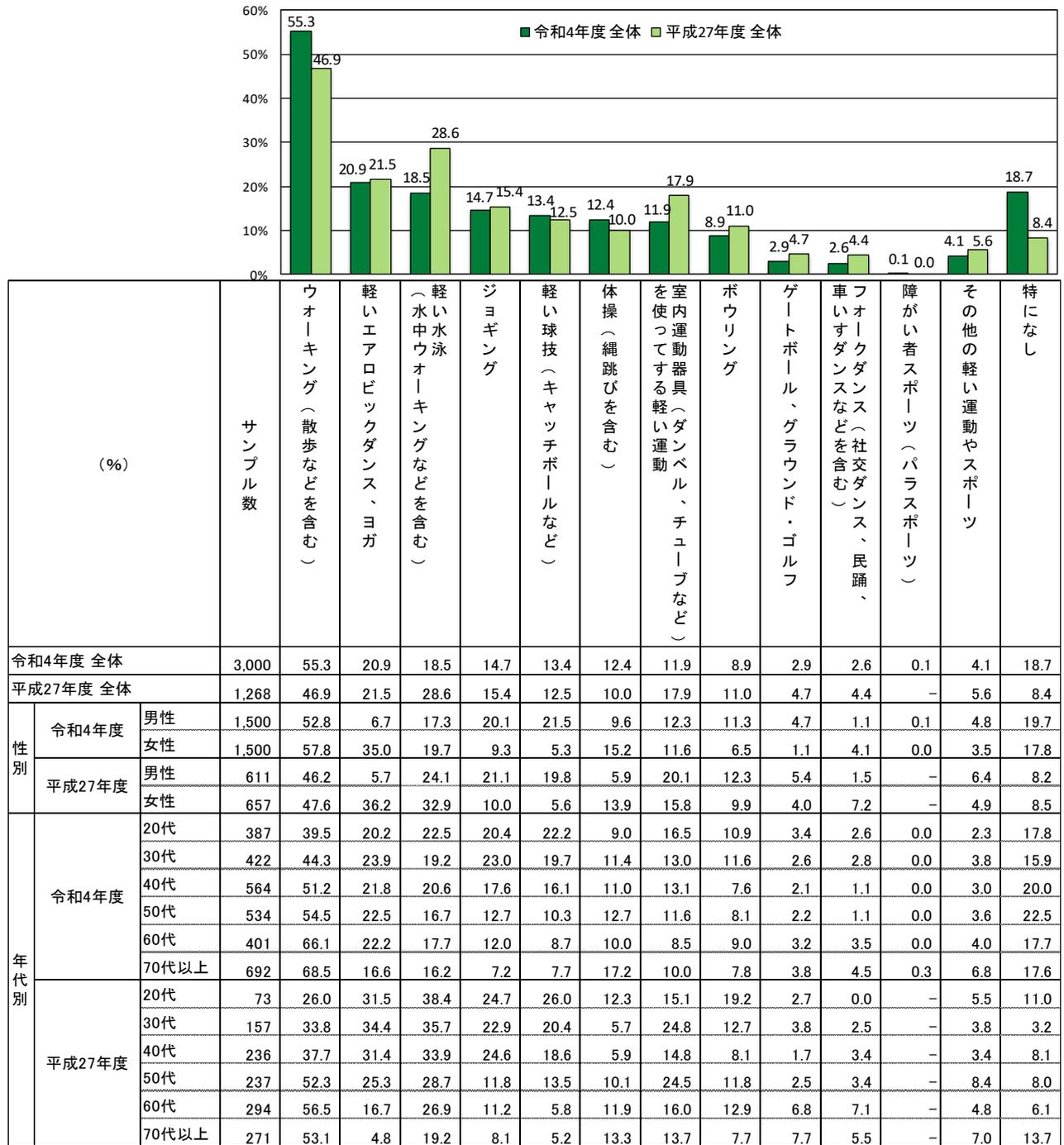
平成18～27年度調査では「エアロビッグダンス、ヨガ」

※2 平成22年度調査までは「ランニング(ジョギング)」

※3 令和4年度調査から追加

※4 平成22年度調査までの「わからない」と「ない」のデータを合算
平成27年度調査では「比較的軽い運動・スポーツには関心がない」

【図表 2-9②】：《気軽に楽しみたいスポーツや比較的軽い運動として行いたいスポーツ》の実施意向（令和4年度・平成27年度属性別比較）／複数回答（3つまで）】



イ 野外活動として行いたいスポーツ

問5(2) 今後(も)、野外活動として行いたいスポーツはありますか。3つまで選んでください。(ア～コの選択数とサ、シの種目名の合計が3つまでになるようにしてください。)

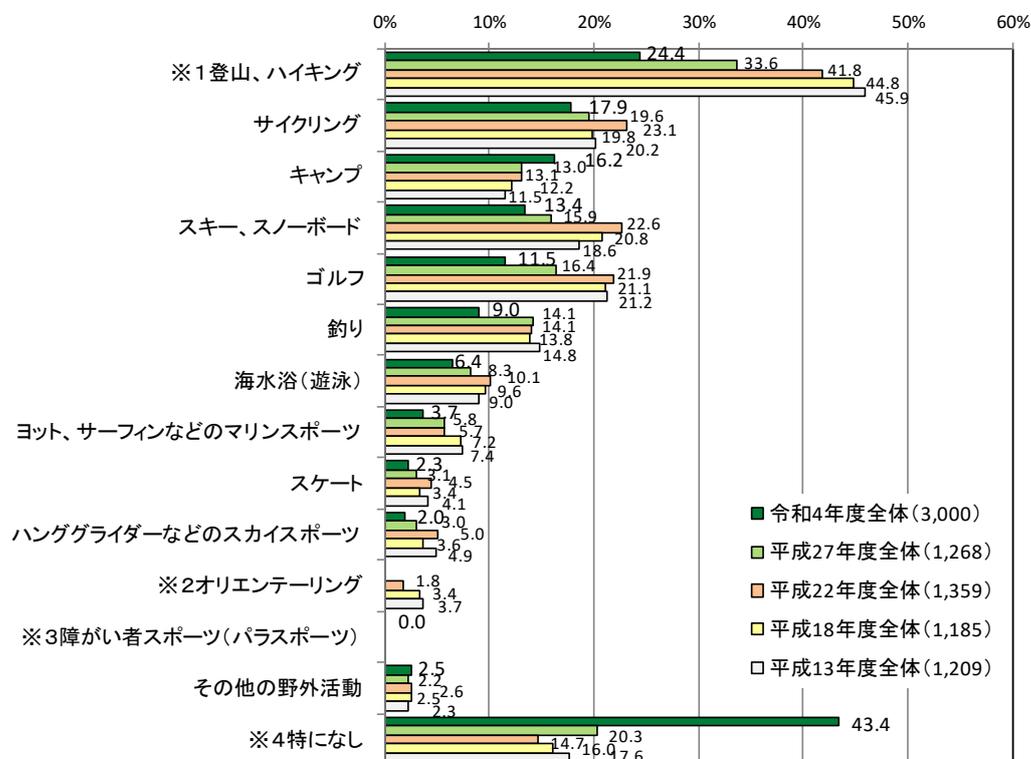
ア スキー、スノーボード	ク ハングライダーなどのスカイスポーツ
イ 海水浴(遊泳)	ケ サイクリング
ウ スケート	コ 釣り
エ 登山、ハイキング	サ 障がい者スポーツ(パラスポーツ)
オ キャンプ	(種目名)
カ ヨット、サーフィンなどのマリンスポーツ	シ その他の野外活動
キ ゴルフ	(種目名)
	ス 特になし

注) 「エ 登山、ハイキング」は平成22年度調査までは別の選択肢、「オリエンテーリング」は平成22年度調査から削除
 「サ 障がい者スポーツ」は令和4年度調査から追加、「ス 特になし」は「比較的軽い運動・スポーツには関心がない」に替えて新設

全員に、今後(も)【野外活動として行いたいスポーツ】についてたずねた(3つまで回答可)ところ、「特になし」は全体の43.4%で、平成27年度(20.3%)の約2倍であった。次いで「登山、ハイキング」(24.4%)となっているが、平成13年度以降低下が続いている。

また、性別でみると、「釣り」の男性は(13.4%)は、平成27年度(22.9%)と比較すると低下(9.5ポイント)した。年代別でみると、「スキー、スノーボード」の20代(25.1%)は、平成27年度(45.2%)と比較すると低下(20.1ポイント)した。

【図表2-10①】：《野外活動として行いたいスポーツ》の実施意向(全体比較)(男女別比較)／複数回答(3つまで)



※1 平成22年度調査までは「ハイキング」と「登山」を合算

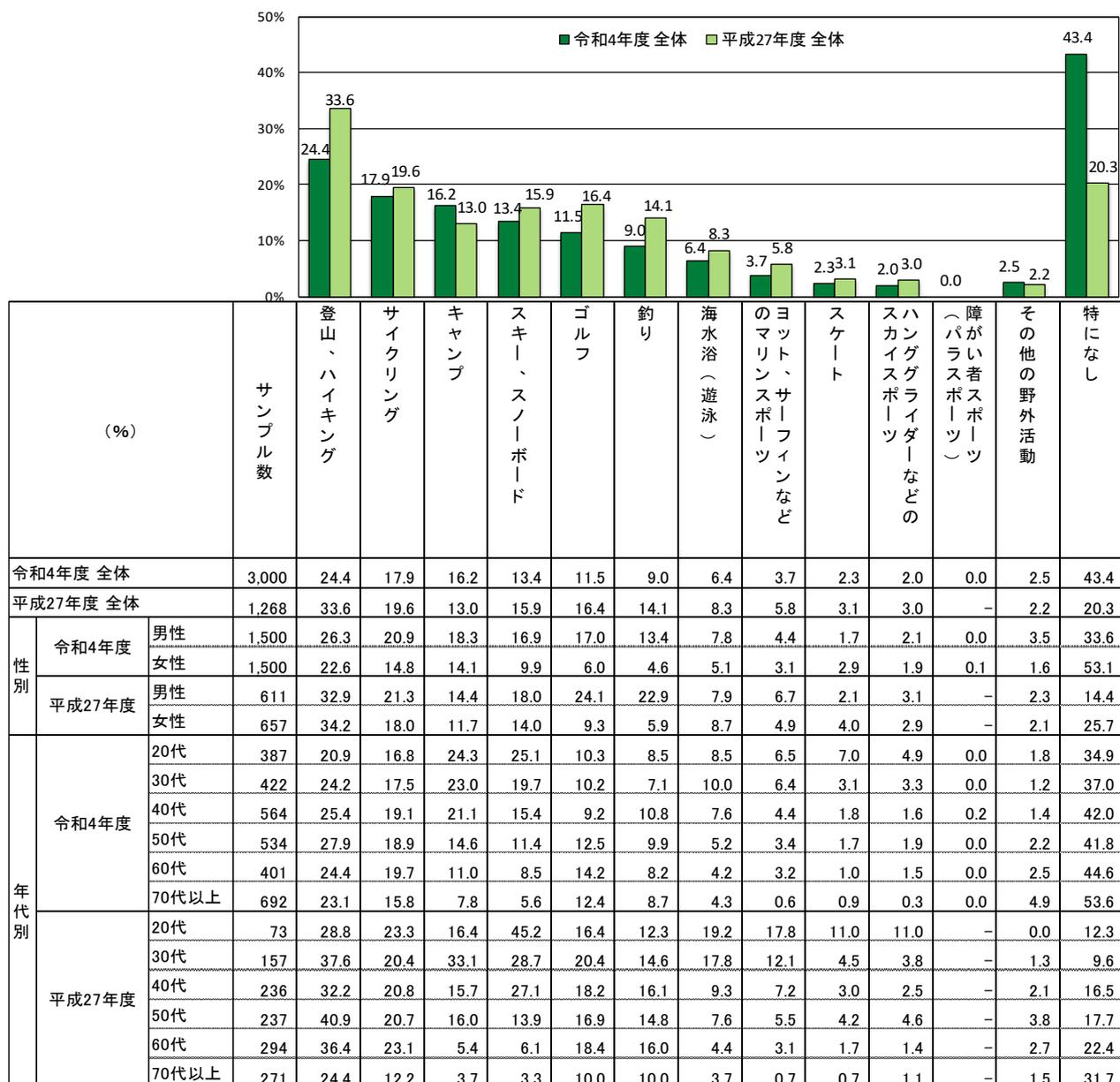
※2 平成27年度調査から削除

※3 令和4年度調査から追加

※4 平成22年度調査までの「わからない」と「ない」のデータを合算

令和4年度・平成27年度比較図表、次ページ参照

【図表2-10②】：「野外活動として行いたいスポーツ」の実施意向（令和4年度・平成27年度属性別比較）／複数回答（3つまで）】



ウ 競技として行いたいスポーツ

問5 (3) 今後(も)、競技として行いたいスポーツはありますか。3つまで選んでください。(ア～スの選択数とセ～タの種目名の合計が3つまでになるようにしてください。)

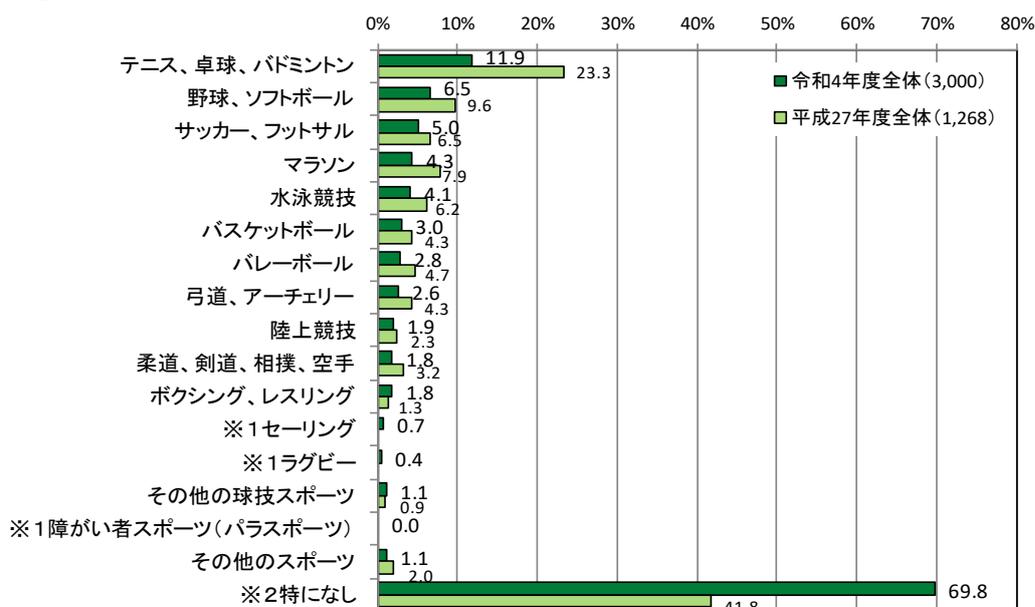
ア 陸上競技	サ テニス、卓球、バドミントン
イ マラソン	シ バasketボール
ウ 水泳競技	ス ラグビー
エ 柔道、剣道、相撲、空手	セ その他の球技スポーツ (種目名)
オ ボクシング、レスリング	ソ 障がい者スポーツ(パラスポーツ) (種目名)
カ 弓道、アーチェリー	タ その他のスポーツ (種目名)
キ セーリング	チ 特になし
ク 野球、ソフトボール	
ケ サッカー、フットサル	
コ バレーボール	

注) 「キ セーリング」、「ス ラグビー」「ソ 障がい者スポーツ(パラスポーツ)」は令和4年度調査から追加、
「チ 特になし」は「競技として行うスポーツには関心がない」に替えて新設

全員に、今後(も)【競技として行いたいスポーツ】についてたずねた(3つまで回答可)ところ、「特になし」(69.8%)が最も高く、平成27年度(41.8%)から大幅に上昇(28.0ポイント)した。一方で、「テニス、卓球、バドミントン」(11.9%)は、平成27年度(23.9%)と比較すると低下(11.4ポイント)した。「野球、ソフトボール」(6.5%)は平成27年度(9.6%)と比較すると低下(3.1ポイント)した。

また、性別でみると、「野球・ソフトボール」の男性(11.4%)は、平成27年度(17.5%)と比較すると低下(6.1ポイント)した。年代別でみると、「テニス、卓球、バドミントン」の20代(18.6%)は、平成27年度(39.7%)と比較すると低下(21.1ポイント)した。

【図表2-11①】：《競技として行いたいスポーツ》の実施意向(全体比較)／複数回答(3つまで)

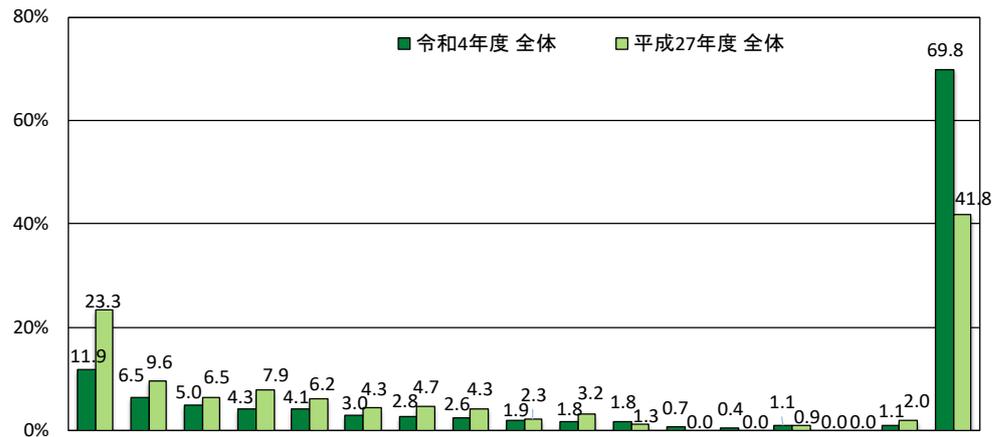


※1 令和4年度調査から追加

※2 「特になし」は平成27年度調査では「競技として行うスポーツには関心がない」

令和4年度・平成27年度比較図表、次ページ参照

【図表2-11②：「競技として行いたいスポーツ」の実施意向（令和4年度・平成27年度属性別比較）／複数回答（3つまで）】



		(%)	サンプル数	テニス、卓球、バドミントン	野球、ソフトボール	サッカー、フットサル	マラソン	水泳競技	バスケットボール	バレーボール	弓道、アーチェリー	陸上競技	柔道、剣道、相撲、空手	ボクシング、レスリング	セーリング	ラグビー	その他の球技スポーツ	障がい者スポーツ（パラスポーツ）	その他のスポーツ	特になし
令和4年度 全体			3,000	11.9	6.5	5.0	4.3	4.1	3.0	2.8	2.6	1.9	1.8	1.8	0.7	0.4	1.1	0.0	1.1	69.8
平成27年度 全体			1,268	23.3	9.6	6.5	7.9	6.2	4.3	4.7	4.3	2.3	3.2	1.3	-	-	0.9	-	2.0	41.8
性別	令和4年度	男性	1,500	11.6	11.4	9.3	5.6	4.1	3.9	2.3	2.3	2.8	2.4	2.3	0.9	0.8	1.3	0.0	1.4	62.5
		女性	1,500	12.1	1.6	0.7	3.1	4.1	2.1	3.4	2.9	1.1	1.3	1.4	0.5	0.1	0.9	0.0	0.9	77.1
	平成27年度	男性	611	21.8	17.5	11.1	8.2	6.1	4.9	3.8	4.1	2.6	4.3	1.3	-	-	1.5	-	3.1	35.2
		女性	657	24.8	2.3	2.1	7.6	6.4	3.8	5.5	4.4	2.0	2.3	1.2	-	-	0.5	-	0.9	47.9
年代別	令和4年度	20代	387	18.6	10.3	11.4	4.4	5.9	6.5	6.2	4.9	3.1	2.6	5.2	1.8	0.5	1.0	0.0	1.3	49.4
		30代	422	14.2	9.0	10.2	6.6	6.2	6.4	4.5	3.6	2.8	4.0	2.8	0.2	0.5	0.9	0.0	0.7	54.7
		40代	564	11.5	7.1	6.7	5.5	6.0	3.4	3.2	2.0	2.0	2.1	1.8	0.7	0.5	0.7	0.0	1.1	67.9
		50代	534	9.6	6.4	3.4	6.0	4.3	2.1	1.7	1.9	1.3	1.5	1.1	0.4	0.4	1.3	0.0	0.4	74.7
		60代	401	10.0	5.0	1.0	3.2	1.2	1.2	2.0	2.7	1.7	1.2	1.0	1.2	0.0	0.5	0.0	1.7	78.1
		70代以上	692	9.8	3.3	0.4	1.3	1.7	0.4	1.0	1.6	1.3	0.4	0.4	0.4	0.3	0.6	1.7	0.0	1.6
	平成27年度	20代	73	39.7	17.8	15.1	12.3	15.1	16.4	6.8	11.0	1.4	9.6	4.1	-	-	1.4	-	1.4	26.0
		30代	157	25.5	12.1	19.1	14.0	9.6	11.5	7.6	4.5	1.9	5.1	3.2	-	-	1.3	-	1.3	31.2
		40代	236	29.2	10.6	10.2	15.3	5.1	6.4	5.9	4.7	1.3	3.8	2.1	-	-	0.8	-	0.8	36.4
		50代	237	28.7	13.5	3.4	6.8	4.6	2.1	4.2	4.2	5.5	2.5	0.8	-	-	1.3	-	4.6	42.6
		60代	294	18.7	5.8	2.4	2.7	6.5	1.0	4.8	3.4	1.4	2.4	0.0	-	-	1.0	-	1.4	48.3
		70代以上	271	12.9	5.9	0.7	3.3	4.1	0.7	1.5	3.0	1.8	1.5	0.4	-	-	0.4	-	1.8	49.1

3 スポーツ施設

(1) 公立スポーツ施設設置状況

問6 (1) 公立スポーツ施設（体育館、グラウンド、プール、テニスコートなど）の設置状況を教えてください。1つだけ選んでください。

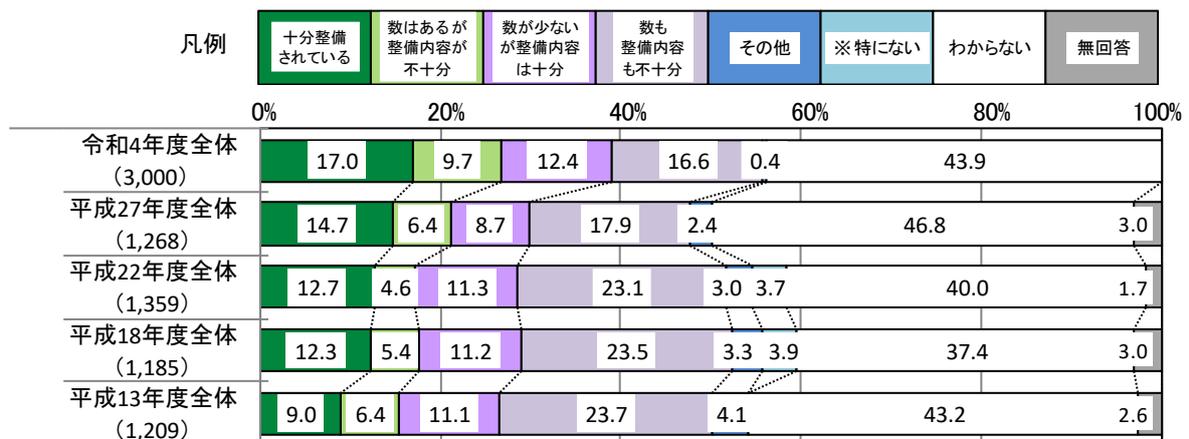
- ア 十分整備されている
- イ 施設の数はあるが、整備内容が不十分
- ウ 施設の数が少ないが、整備内容は十分
- エ 施設の数も整備内容も不十分
- オ その他（ ）
- カ わからない

注) 「特にない」は平成27年度調査から削除

全員に、公立スポーツ施設の設置状況についてたずねたところ、「十分整備されている」(17.0%)が最も高かった。

「十分整備されている」は、平成13年度から上昇が続いており、「数も整備内容も不十分」は、平成13年度から減少が続いている。

【図表3-1：公立スポーツ施設設置状況（全体比較）／単一回答】



※ 「特にない」は平成27年度調査から削除

(2) 公立スポーツ施設への要望

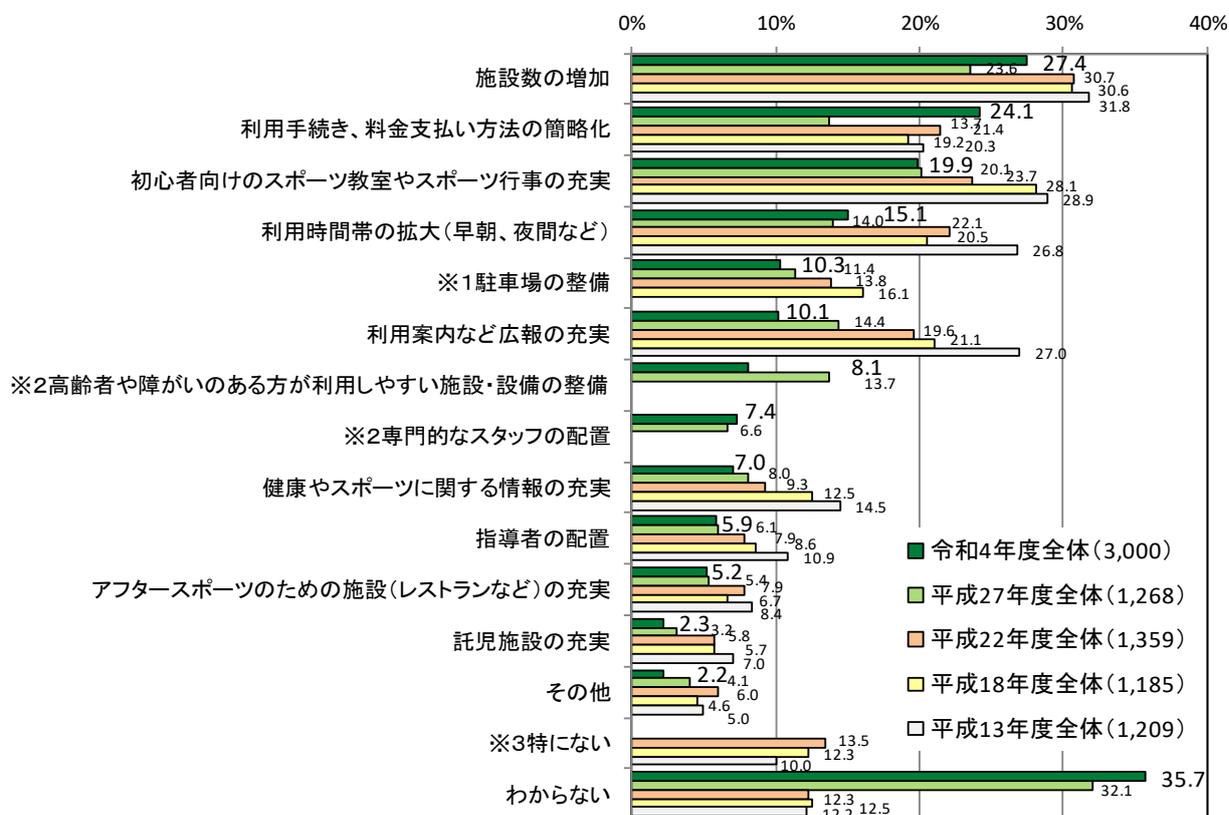
問6 (2) 公立スポーツ施設（体育館、グラウンド、プール、テニスコートなど）に対しての要望などを教えてください。3つまで選んでください。

- ア 施設数の増加
- イ 指導者の配置
- ウ 専門的なスタッフの配置
- エ 初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実
- オ 利用手続き、料金支払い方法の簡略化
- カ 利用時間帯の拡大（早朝、夜間など）
- キ 利用案内など広報の充実
- ク アフタースポーツのための施設（レストランなど）の充実
- ケ 高齢者や障がいのある方が利用しやすい施設・設備の整備
- コ 健康やスポーツに関する情報の充実
- サ 託児施設の充実
- シ 駐車場の整備
- ス その他（ ）
- セ わからない

注) 「ウ 専門的なスタッフの配置」「ケ 高齢者や障がいのある方が利用しやすい施設・設備の整備」は平成27年度調査から追加
「特にない」は平成27年度調査から削除

全員に、公立スポーツ施設への要望をたずねた（3つまで回答可）ところ、「施設数の増加」（27.4%）が最も高く、平成27年度（23.6%）よりも上昇（3.8ポイント）した。また、「利用手続き、料金支払い方法の簡略化」（24.1%）は平成27年度（13.7%）から大幅に上昇（10.4ポイント）した。

【図表3-2：公共スポーツ施設への要望（全体比較）／複数回答（3つまで）】



※1 平成18年度調査から追加

※2 平成27年度調査から追加

※3 平成27年度調査から削除

(3) 学校の体育施設利用状況

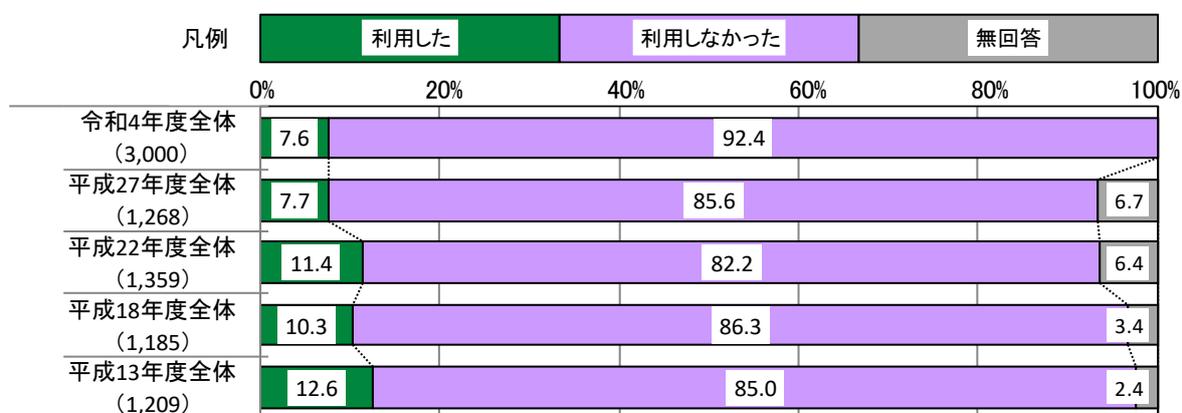
問6 (3) この1年間で学校の体育施設（運動場、体育館、プールなど）を、運動やスポーツの目的のために利用しましたか。（学校主催による運動会など学校行事への参加は除きます）

ア 利用した → 問6 (5) へ進む イ 利用しなかった

全員に、この1年間の学校の体育施設利用状況をたずねたところ、「利用した」は7.6%、「利用しなかった」は92.4%であった。

「利用した」（7.6%）は、平成27年度（7.7%）と大きな差はなかった。

【図表3-3：学校の体育施設利用状況（全体比較）／単一回答】



(4) 学校の体育施設を利用しなかった理由

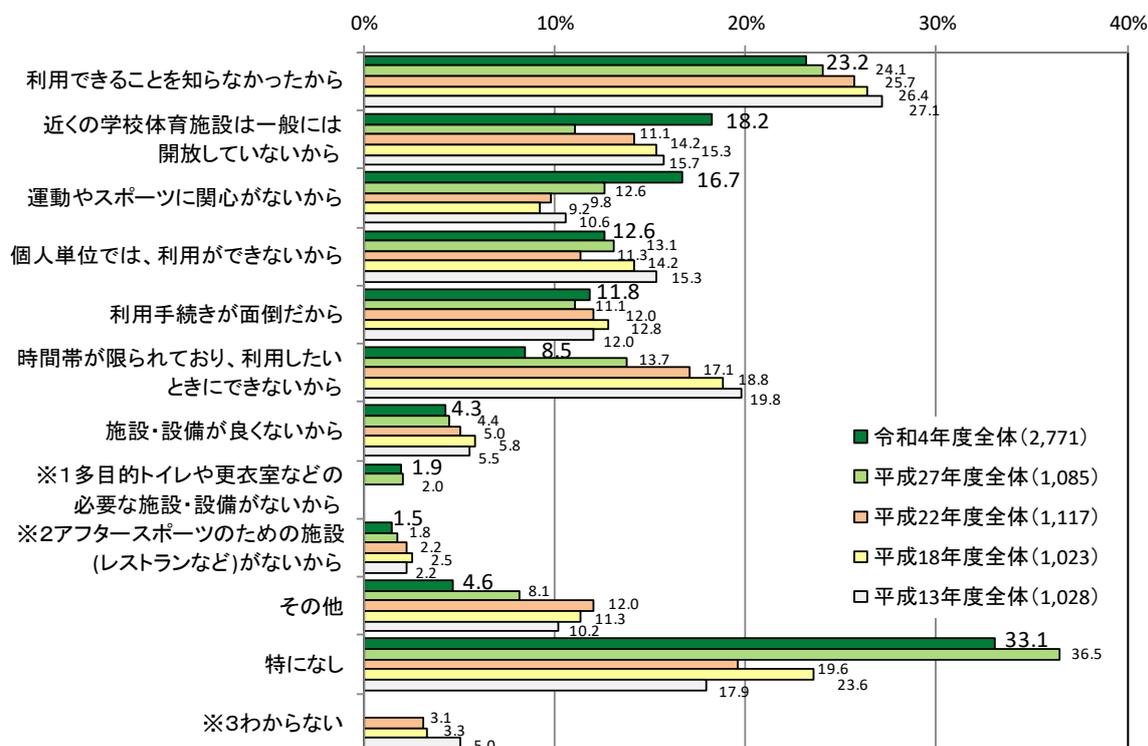
問6 (4) この1年間で学校の体育施設(運動場、体育館、プールなど)を、運動やスポーツの目的のために利用しなかった理由を教えてください。3つまで選んでください。
(学校主催による運動会など学校行事への参加は除きます)

- ア 運動やスポーツに関心がないから
- イ 近くの学校体育施設は一般には開放していないから
- ウ 利用できることを知らなかったから
- エ 施設・設備が良くないから
- オ 多目的トイレや更衣室などの必要な施設・設備がないから
- カ 個人単位では、利用ができないから
- キ 時間帯が限られており、利用したいときにできないから
- ク 利用手続きが面倒だから
- ケ アフタースポーツのための施設(レストランなど)がないから
- コ 特になし
- サ その他()

注) 「オ 多目的トイレや更衣室など必要な施設・設備がないから」は平成27年度調査から追加、「わからない」は削除
「ケ アフタースポーツのための施設(レストランなど)がないから」は平成22年度調査までは「スポーツをした後のいこいの場がないから」

この1年間で学校の体育施設(運動場、体育館、プールなど)を「利用しなかった」と答えた人(2,771人)に、この1年間に学校の体育施設を利用しなかった理由をたずねた(3つまで回答可)ところ、「利用できることを知らなかったから」(23.2%)が最も高いものの、平成13年度以降、低下が続いている。次いで高い「近くの学校体育施設は一般には開放していないから」(18.2%)は平成27年度まで低下が続いていたが、今年度上昇(7.1ポイント)した。

【図表3-4：学校の体育施設を利用しなかった理由(全体比較)／複数回答(3つまで)】



※1 平成27年度調査から追加

※2 平成22年度調査までは「スポーツをした後のいこいの場がないから」

※3 平成27年度調査から削除

(5) 今後設置を希望するスポーツ施設

問6 (5) 今後、設置を希望するスポーツ施設は何ですか。3つまで選んでください。

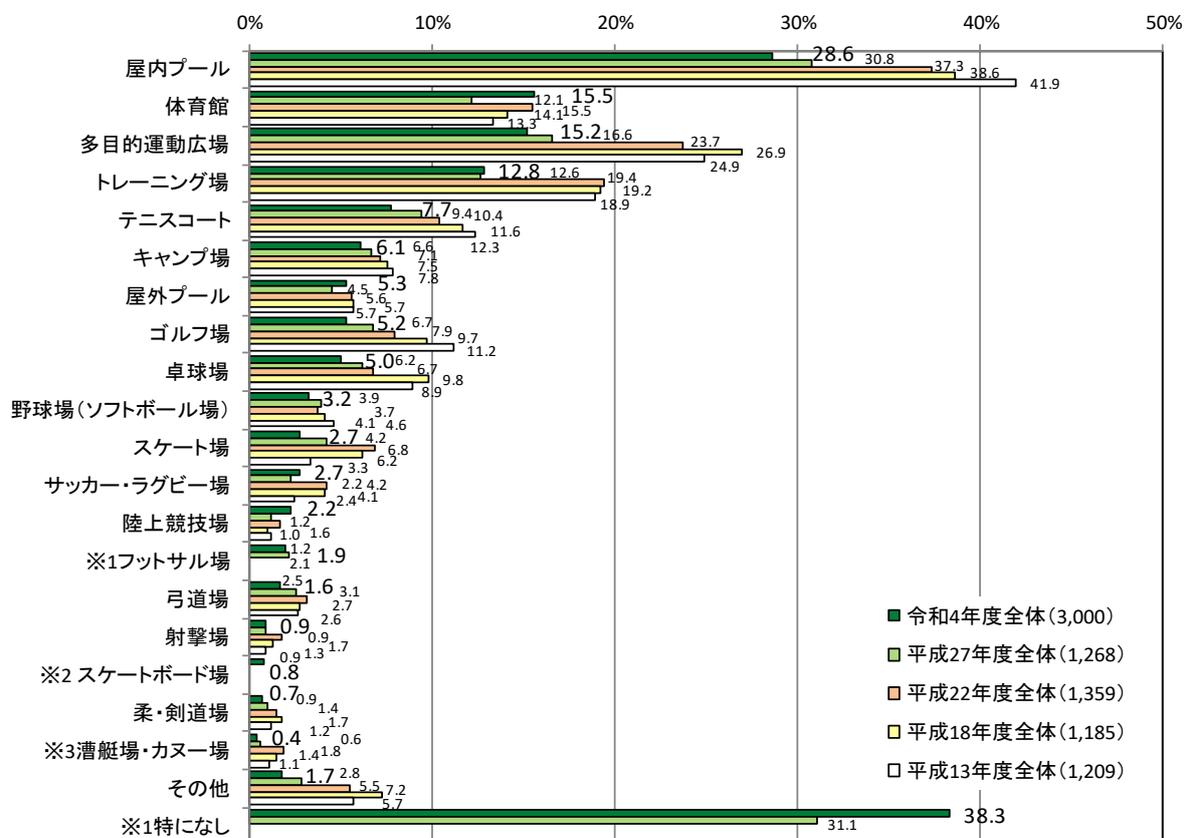
- | | |
|----------------|------------|
| ア 屋内プール | シ 弓道場 |
| イ 屋外プール | ス 漕艇場・カヌー場 |
| ウ 体育館 | セ 射撃場 |
| エ 多目的運動広場 | ソ 卓球場 |
| オ 陸上競技場 | タ スケート場 |
| カ 野球場（ソフトボール場） | チ キャンプ場 |
| キ テニスコート | ツ フットサル場 |
| ク トレーニング場 | テ スケートボード場 |
| ケ サッカー・ラグビー場 | ト その他（ ） |
| コ ゴルフ場 | ナ 特になし |
| サ 柔・剣道場 | |

注) 「ス 漕艇場・カヌー場」は平成22年度調査までは別選択肢

「ツ フットサル場」「ナ 特になし」は平成27年度調査から追加、「テ スケートボード場」は令和4年度調査から追加
 全員に、今後、設置を希望するスポーツ施設についてたずねた（3つまで回答可）ところ、
 「屋内プール」（28.6%）が最も高く、次いで「体育館」（15.5%）となった。

これまでの各年度の調査と比較すると、「屋内プール」と「多目的運動広場」は、低下が続いている。なお、「特になし」は平成27年度から上昇（7.2ポイント）した。

【図表3-5：今後設置を希望するスポーツ施設（全体比較）／複数回答（3つまで）】



※1 平成27年度調査から追加

※2 令和4年度調査から追加

※3 平成22年度調査までの「漕艇場」と「カヌー場」のデータを合算

4 県・市町村のスポーツ施策

※ 平成27年度調査から実施（ただし「総合型地域スポーツクラブ」の認知については、平成22年度から実施）

（１）「総合型地域スポーツクラブ」の認知

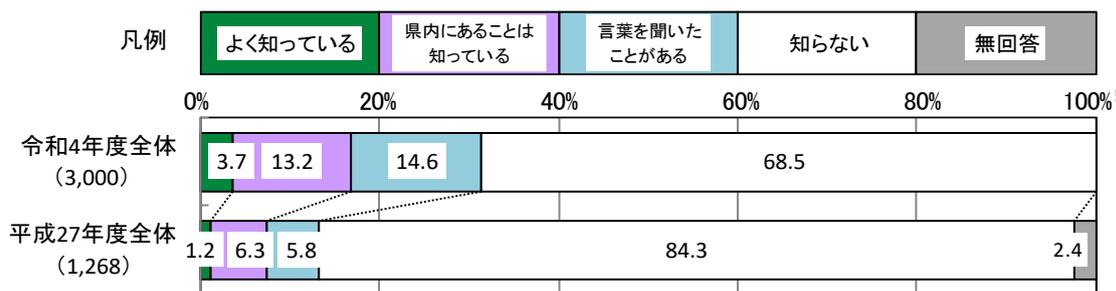
問 7（１） 「総合型地域スポーツクラブ」※について知っていますか。1つだけ選んでください。

※ 「総合型地域スポーツクラブ」とは、地域住民が主体となって運営する多種目・多世代・多志向型のスポーツクラブのことを指します。

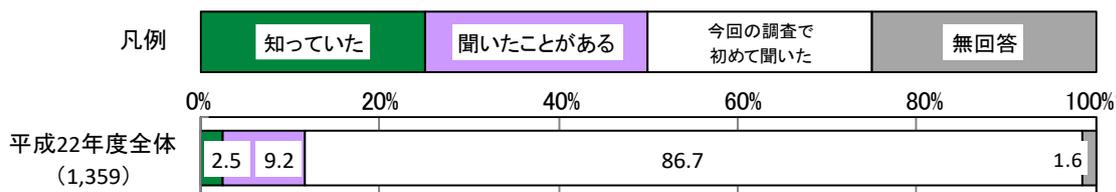
- ア 県内に総合型地域スポーツクラブがあることや仕組みや特徴も含め、よく知っている
- イ 県内に総合型地域スポーツクラブがあることは知っている
- ウ 総合型地域スポーツクラブという言葉聞いたことがある
- エ 知らない

全員に、総合型地域スポーツクラブを知っているかたずねたところ、「知らない」が68.5%で、平成27年度（84.3%）から低下（15.8ポイント）した。なお、《認知群（「県内に総合型地域スポーツクラブがあることや仕組みや特徴も含め、よく知っている」＋「県内に総合型地域スポーツクラブがあることは知っている」＋「総合型地域スポーツクラブという言葉聞いたことがある」）》は31.5%であり、平成27年度（13.3%）から上昇（18.2ポイント）した。

【図表４－１：「総合型地域スポーツクラブ」の認知（全体比較）／単一回答】



※ 平成27年度調査から選択肢を変更



(2) 「総合型地域スポーツクラブ」の参加状況

問7(2) 「総合型地域スポーツクラブ」の活動などに参加したことがありますか。

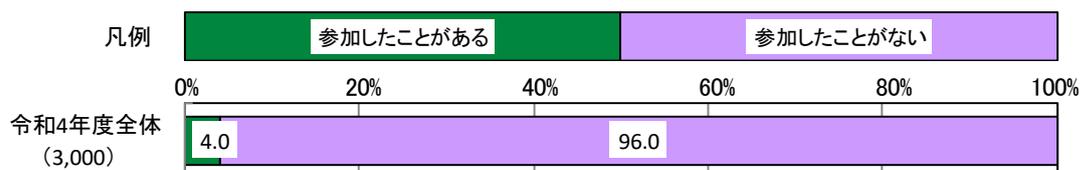
ア 参加したことがある

イ 参加したことがない

注) 「問7(2) 総合型地域スポーツクラブの参加状況」に関する設問は、令和4年度調査から追加

全員に、「総合型地域スポーツクラブ」に参加したことがあるかたずねたところ、「参加したことがない」は96.0%、「参加したことがある」は4.0%であった。

【図表4-2：「総合型地域スポーツクラブ」の参加状況／単一回答】



(3) 「3033 (サンマルサンサン) 運動」の認知

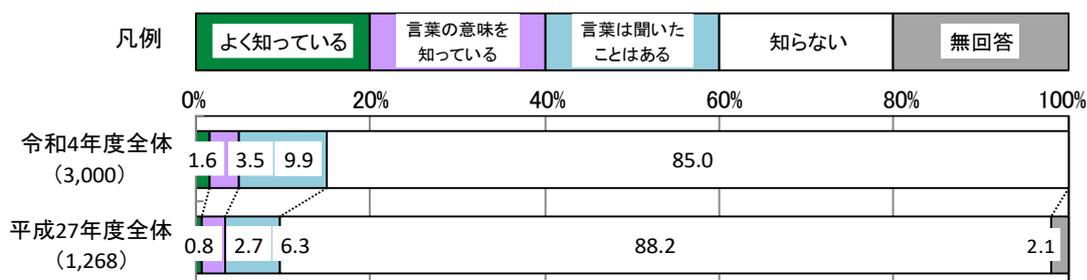
問8 (1) 「3033 (サンマルサンサン) 運動」※について知っていますか。1つだけ選んでください。

※ 1日30分、週3回、3ヶ月間継続して運動やスポーツを行い、運動やスポーツをくらしの一部として習慣化することを、「3033 (サンマルサンサン) 運動」といいます。

- ア 「3033運動」という言葉の意味、内容、効果について、よく知っている
- イ 「3033運動」という言葉の意味を知っている
- ウ 「3033運動」という言葉は聞いたことはある
- エ 知らない → 問9へ進む

全員に、「3033運動」を知っているかたずねたところ、「知らない」が85.0%で、平成27年度(88.2%)から低下(3.2ポイント)した。なお、《認知群(「3033運動」という言葉の意味、内容、効果について、よく知っている) + 「3033運動」という言葉の意味を知っている + 「3033運動」という言葉は聞いたことはある)》は15.0%であり、平成27年度(9.8%)から上昇(5.2ポイント)した。

【図表4-3: 「3033 (サンマルサンサン) 運動」の認知 (全体比較) / 単一回答】



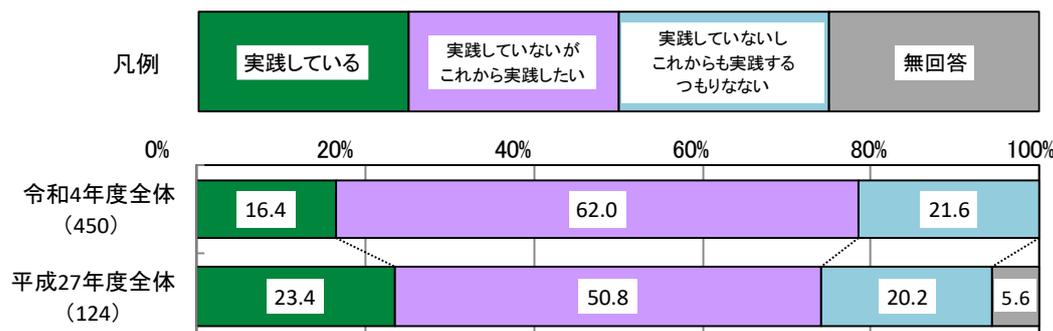
(4) 「3033 (サンマルサンサン) 運動」の実践

問8 (2) 「3033 (サンマルサンサン) 運動」を実践していますか。1つだけ選んでください。

- ア 実践している
- イ 実践していないが、これから実践したい
- ウ 実践していないし、これからも実践するつもりはない

[問8(1)]でアまたはイまたはウと答えた人(450人)に、「3033運動」を実践しているかたずねたところ、「実践している」は16.4%で平成27年度(23.4%)から低下(7.0ポイント)した。なお、「実践していないが、これから実践したい」が62.0%で最も高かった。

【図表4-4: 「3033 (サンマルサンサン) 運動」の実践 (全体比較) / 単一回答】



(5) 「県民スポーツ月間」の認知

問9 「県民スポーツ月間」※について知っていますか。1つだけ選んでください。

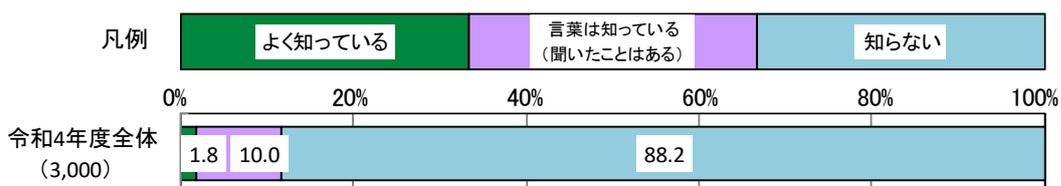
※ スポーツの日がある10月を「県民スポーツ月間」として設定し、スポーツに親しむきっかけづくりとして全県的に定着・充実・発展するよう様々な取組みをしています。

- ア 「県民スポーツ月間」という言葉、時期、内容について、よく知っている
- イ 「県民スポーツ月間」という言葉は知っている（聞いたことはある）
- ウ 知らない

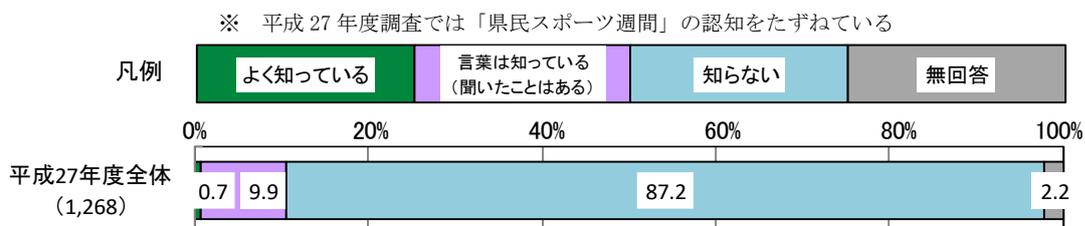
全員に「県民スポーツ月間」を知っているかたずねたところ、「知らない」が88.2%であった。なお、《認知群（「県民スポーツ月間」という言葉、時期、内容について、よく知っている）＋「県民スポーツ月間」という言葉は知っている（聞いたことはある）》は、11.8%であった。また、「県民スポーツ週間」についてたずねている平成27年度（10.6%）と比較すると、《認知群》で大きな差はなかった。

注）平成27年度は「県民スポーツ週間の認知」についてたずねる設問であったが、令和4年度調査からは「県民スポーツ月間の認知」についてたずねる設問へ変更している

【図表4-5（1）：「県民スポーツ月間」の認知（全体）／単一回答】



【図表4-5（2）：「県民スポーツ週間」の認知（全体）／単一回答】



(6) 運動・スポーツ行事・教室について

ア 県・市町村主催のスポーツ行事参加状況

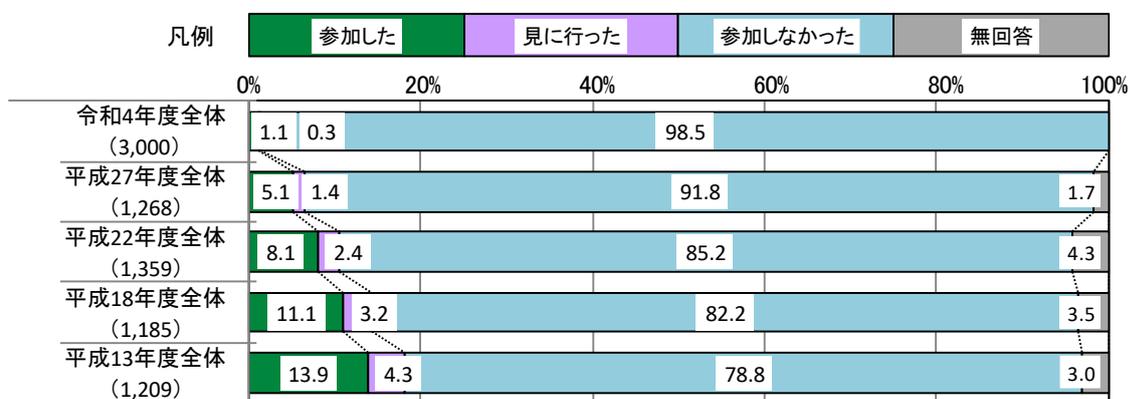
問10 (1) この1年間に県や市町村が主催するスポーツ行事に参加したことがありますか。
1つだけ選んでください。(行事名または内容を記入してください。)

- ア 参加した (参加した行事名または内容_____)
- イ 見に行った (見に行った行事名または内容_____)
- ウ 参加しなかった

全員に、この1年間の県や市町村が主催するスポーツ行事への参加状況をたずねたところ、「参加しなかった」(98.5%)が最も高く、次いで「参加した」(1.1%)、「見に行った」(0.3%)となった。

平成27年度(5.1%)と比較すると、「参加した」は低下(4.0ポイント)し、平成13年度以降、低下し続けている。

【図表5-1：県・市町村主催のスポーツ行事参加状況(全体比較)／単一回答】



イ 県・市町村主催のスポーツ教室参加状況

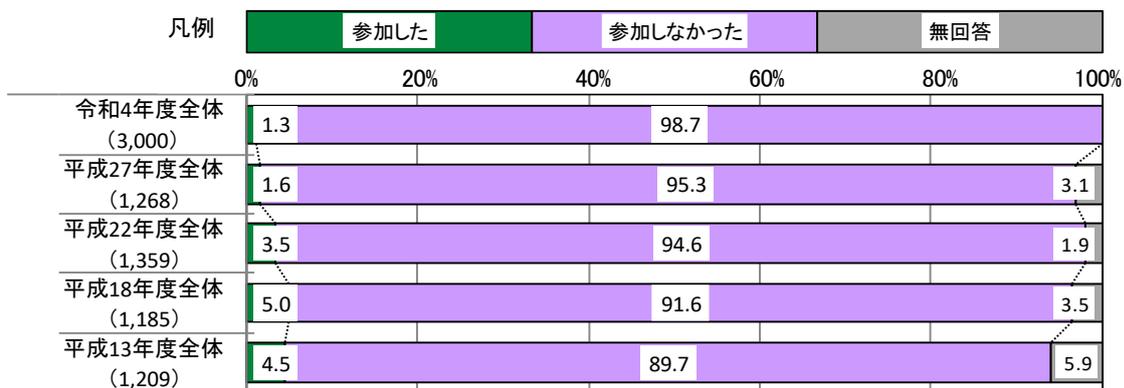
問10（2） この1年間に県や市町村が主催するスポーツ教室に参加したことがありますか。
（参加したスポーツ種目を記入してください。）

ア 参加した （参加した種目 _____）
イ 参加しなかった

全員に、この1年間の県や市町村が主催するスポーツ教室への参加状況をたずねたところ、「参加しなかった」が98.7%、「参加した」が1.3%であった。

平成27年度（1.6%）と比較すると、「参加した」で大きな差はなかった。

【図表5-2：県・市町村主催のスポーツ教室参加状況（全体比較）／単一回答】



ウ 県・市町村主催のスポーツ行事・教室参加意向

問10(3) スポーツ行事やスポーツ教室に参加したいと思いますか。1つだけ選んでください。
 (ア、イを選んだ場合はどのようなスポーツ行事や教室に参加したいか記入してください。)

ア ぜひ参加したい → 参加したいスポーツ行事や教室 ()

イ できれば参加したい

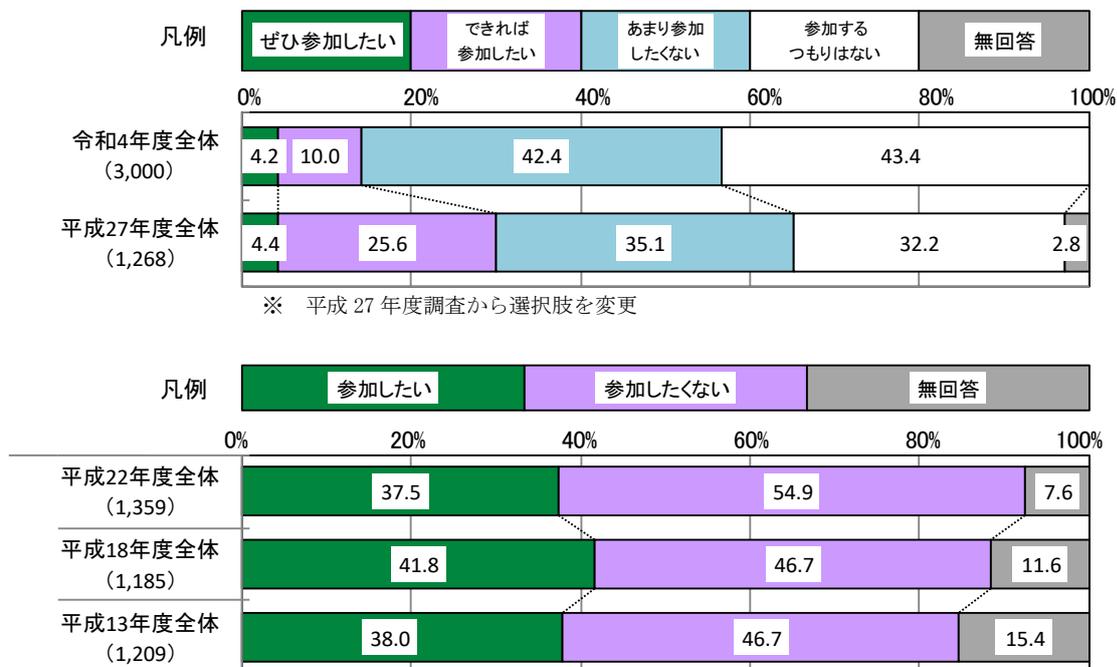
ウ あまり参加したくない

エ 参加するつもりはない

注) 平成22年度調査までは「参加したい」「参加したくない」の2つの選択肢であったが、平成27年度から4つの選択肢とした

全員に、今後の県や市町村が主催するスポーツ教室への参加意向をたずねたところ、《参加したい群(「ぜひ参加したい」+「できれば参加したい」)》が14.2%で平成27年度(30.0%)から低下(15.8ポイント)し、《参加したくない群(「あまり参加したくない」+「参加するつもりはない」)》が85.8%であった。

【図表5-3：県・市町村主催のスポーツ行事・教室参加意向(全体比較)／単一回答】



(7) 神奈川県スポーツ推進にかかる取組みについて

ア 「神奈川県スポーツ推進条例」の認知

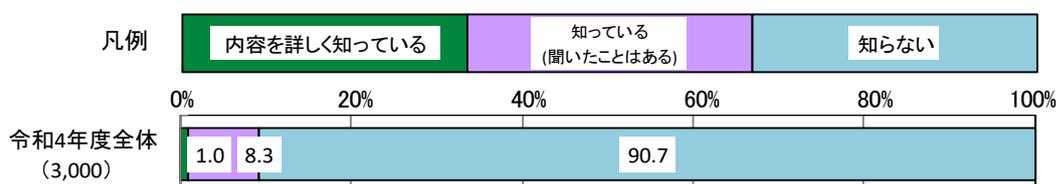
問11 (1) 「神奈川県スポーツ推進条例」について知っていますか。1つだけ選んでください。

- ア 内容を詳しく知っている
- イ 知っている（聞いたことはある）
- ウ 知らない

注) 「問11 (1) 神奈川県スポーツ推進条例の認知状況」に関する設問は、令和4年度調査から追加

全員に、「神奈川県スポーツ推進条例」について知っているかたずねたところ、《知っている群（「内容を詳しく知っている」+「知っている（聞いたことはある）」）》が9.3%、「知らない」が90.7%であった。

【図表5-4：「神奈川県スポーツ推進条例」の認知／単一回答】



イ 「神奈川県スポーツ推進計画」の認知

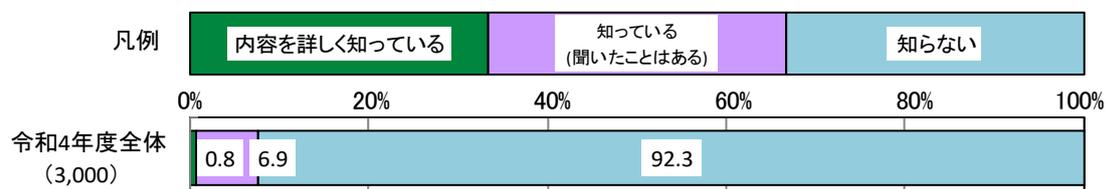
問11 (2) 「神奈川県スポーツ推進計画」について知っていますか。1つだけ選んでください。

- ア 内容を詳しく知っている
- イ 知っている（聞いたことはある）
- ウ 知らない

注) 「問11 (2) 神奈川県スポーツ推進計画の認知状況」に関する設問は、令和4年度調査から追加

全員に、「神奈川県スポーツ推進計画」について知っているかたずねたところ、《知っている群（「内容を詳しく知っている」+「知っている（聞いたことはある）」）》が7.7%、「知らない」が92.3%であった。

【図表5-5：「神奈川県スポーツ推進計画」の認知／単一回答】



ウ 「かながわパラスポーツ推進宣言」の認知

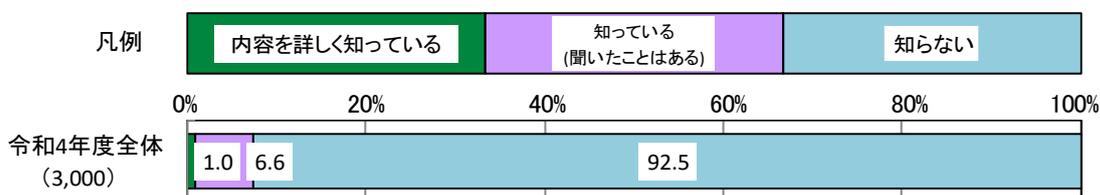
問11（3） 「かながわパラスポーツ推進宣言」について知っていますか。1つだけ選んでください。

- ア 内容を詳しく知っている
- イ 知っている（聞いたことはある）
- ウ 知らない

注）「問11（3）かながわパラスポーツ推進宣言の認知状況」に関する設問は、令和4年度調査から追加

全員に、「かながわパラスポーツ推進宣言」について知っているかたずねたところ、《知っている群（「内容を詳しく知っている」+「知っている（聞いたことはある）」）》が7.6%、「知らない」が92.5%であった。

【図表5－6：「かながわパラスポーツ推進宣言」の認知／単一回答】



5 スポーツ全般についての意見

(1) 運動・スポーツ関連情報ニーズ

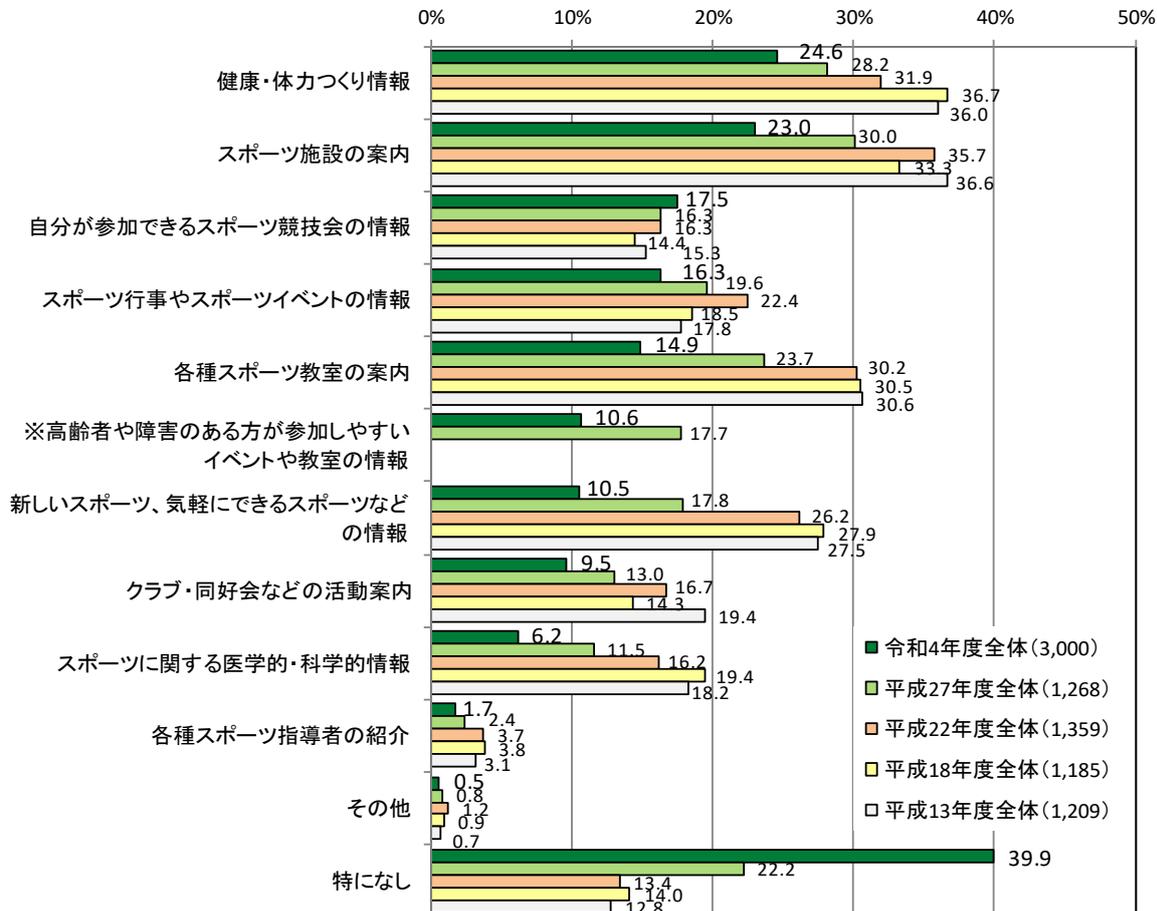
問12 運動やスポーツに関してどのような情報が欲しいですか。3つまで選んでください。

- ア スポーツ行事やスポーツイベントの情報
- イ 自分が参加できるスポーツ競技会の情報
- ウ 高齢者や障がいのある方が参加しやすいイベントや教室の情報
- エ 各種スポーツ教室の案内
- オ スポーツ施設の案内
- カ 各種スポーツ指導者の紹介
- キ 新しいスポーツ、気軽にできるスポーツなどの情報
- ク クラブ・同好会などの活動案内
- ケ 健康・体力づくり情報
- コ スポーツに関する医学的・科学的情報
- サ その他 ()
- シ 特になし

注) 「ウ 高齢者や障がいのある方が参加しやすいイベントや教室の情報」は平成27年度調査から追加

全員に、運動やスポーツに関する欲しい情報についてたずねた(3つまで回答可)ところ、「健康・体力づくり情報」(24.6%)が最も高く、次いで「スポーツ施設の案内」(23.0%)となっているが、いずれも低下が続いている。また、「特になし」は39.9%となっており、過去調査で最も高かった。

【図表5-7：運動・スポーツ関連情報ニーズ／複数回答(3つまで)】



※ 平成27年度調査から選択肢を追加

(2) 運動やスポーツのクラブ・同好会・サークルなどについて

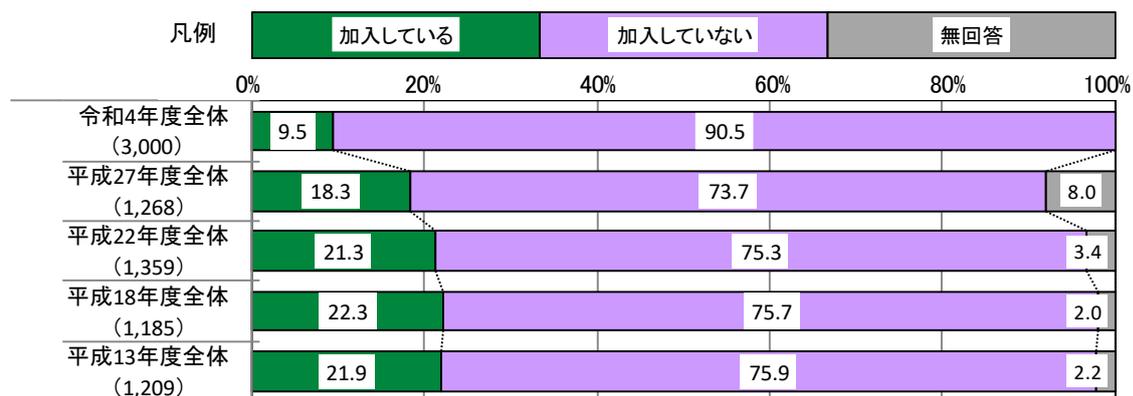
ア クラブなどへの加入状況

問13 (1) クラブなどに加入していますか。

ア 加入している イ 加入していない → 問13 (5) へ進む

全員に、クラブなどへの加入状況をたずねたところ、「加入していない」が90.5%であった。なお、平成27年度（18.3%）と比較すると「加入している」は9.5%で、大幅に低下（8.8ポイント）し、平成18年度以降、低下し続けている。

【図表5-8：クラブなどへの加入状況（全体比較）／単一回答】



イ 加入しているクラブなどの種類

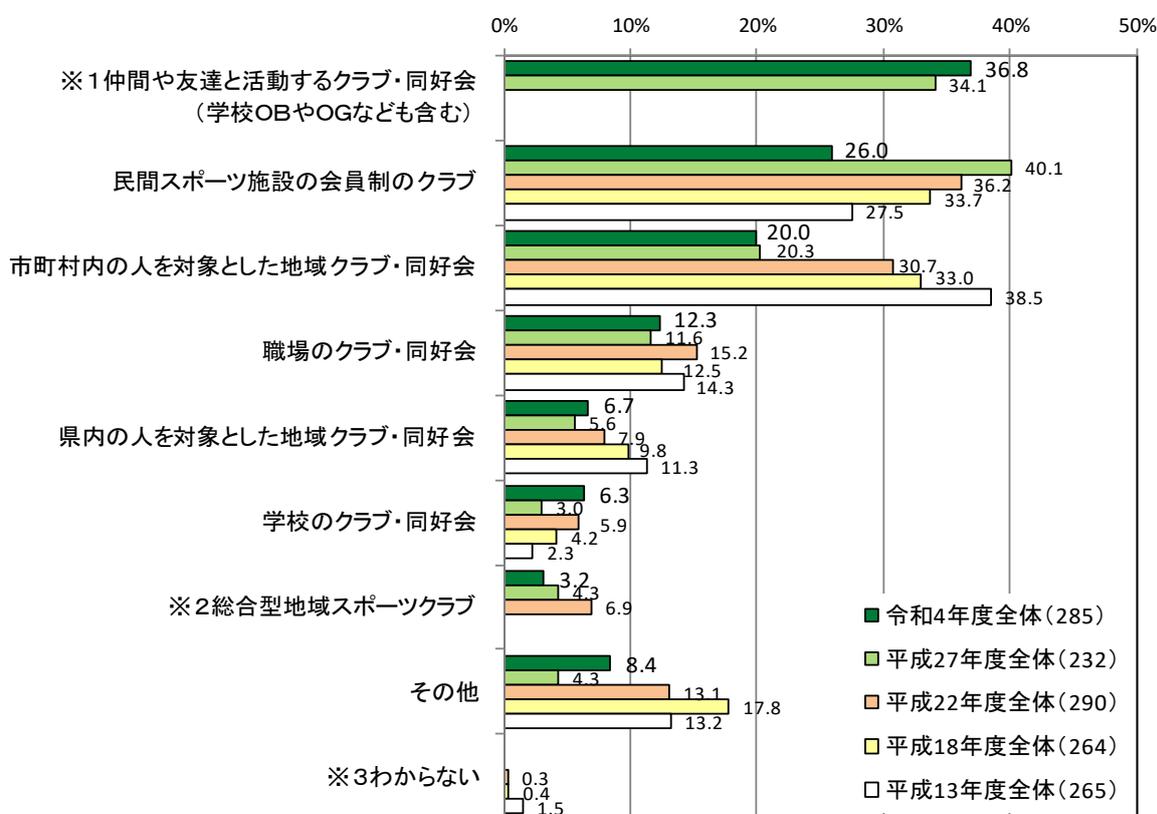
問13 (2) 加入しているクラブなどは、どのようなものですか。あてはまる記号すべて選んでください。

- ア 職場のクラブ・同好会
- イ 学校のクラブ・同好会
- ウ 仲間や友達と活動するクラブ・同好会（学校OBやOGなども含む）
- エ 県内の人を対象とした地域クラブ・同好会
- オ 市町村内の人を対象とした地域クラブ・同好会
- カ 総合型地域スポーツクラブ
- キ 民間スポーツ施設の会員制のクラブ
- ク その他

注) 「ウ 仲間や友達と活動するクラブ・同好会（学校OBやOGなども含む）」は平成27年度調査から追加、
 「カ 総合型地域スポーツクラブ」は平成22年度調査から追加、
 「わからない」は平成27年度調査から削除

クラブなどに「加入している」と答えた人（285人）に、加入しているクラブなどについてたずねた（複数回答可）ところ、「仲間や友達と活動するクラブ・同好会（学校OBやOGなども含む）」（36.8%）が最も高く、次いで「民間スポーツ施設の会員制のクラブ」（26.0%）となった。なお、「民間スポーツ施設の会員制のクラブ」（26.0%）は、平成27年度（40.1%）から低下（14.1ポイント）した。

【図表5-9：加入しているクラブなどの種類（全体比較）／複数回答】



※1 平成27年度調査から追加

※2 平成22年度調査から追加

※3 平成27年度調査から削除

ウ クラブなどが行っているスポーツ（種目）

問13（3） 加入しているクラブなどには、どのようなスポーツ（種目）がありますか。（3つまで記入してください。）

注）「問13（3）クラブなどが行っているスポーツ（種目）」に関する設問は、令和4年度調査から追加回答件数が4件以上あった種目を示した。なお、自由記述による回答件数は399件であった。

クラブなどに「加入している」と答えた人（285人）にクラブなどが行っているスポーツ（種目）についてたずねた（3つまで回答可）ところ、テニス（38件）が最も多く、次いでヨガ（29件）、水泳（24件）、卓球（21件）となった。

全体(285)

No.	回答内容	件数
1	テニス	38
2	ヨガ	29
3	水泳	24
4	卓球	21
5	野球	20
6	ゴルフ	19
7	エアロビクス	19
8	体操	18
9	太極拳	14
10	サッカー	13
11	バドミントン	12
12	ダンス	9
13	バレーボール	9
14	ウォーキング	7
15	ソフトボール	7
16	フットサル	6
17	ランニング	6
18	バスケットボール	5
19	ピラティス	4

なお、その他の主な回答は、次のとおりであった。

- ・ ストレッチ
- ・ 筋力トレーニング

エ クラブなどへの加入動機及び目的

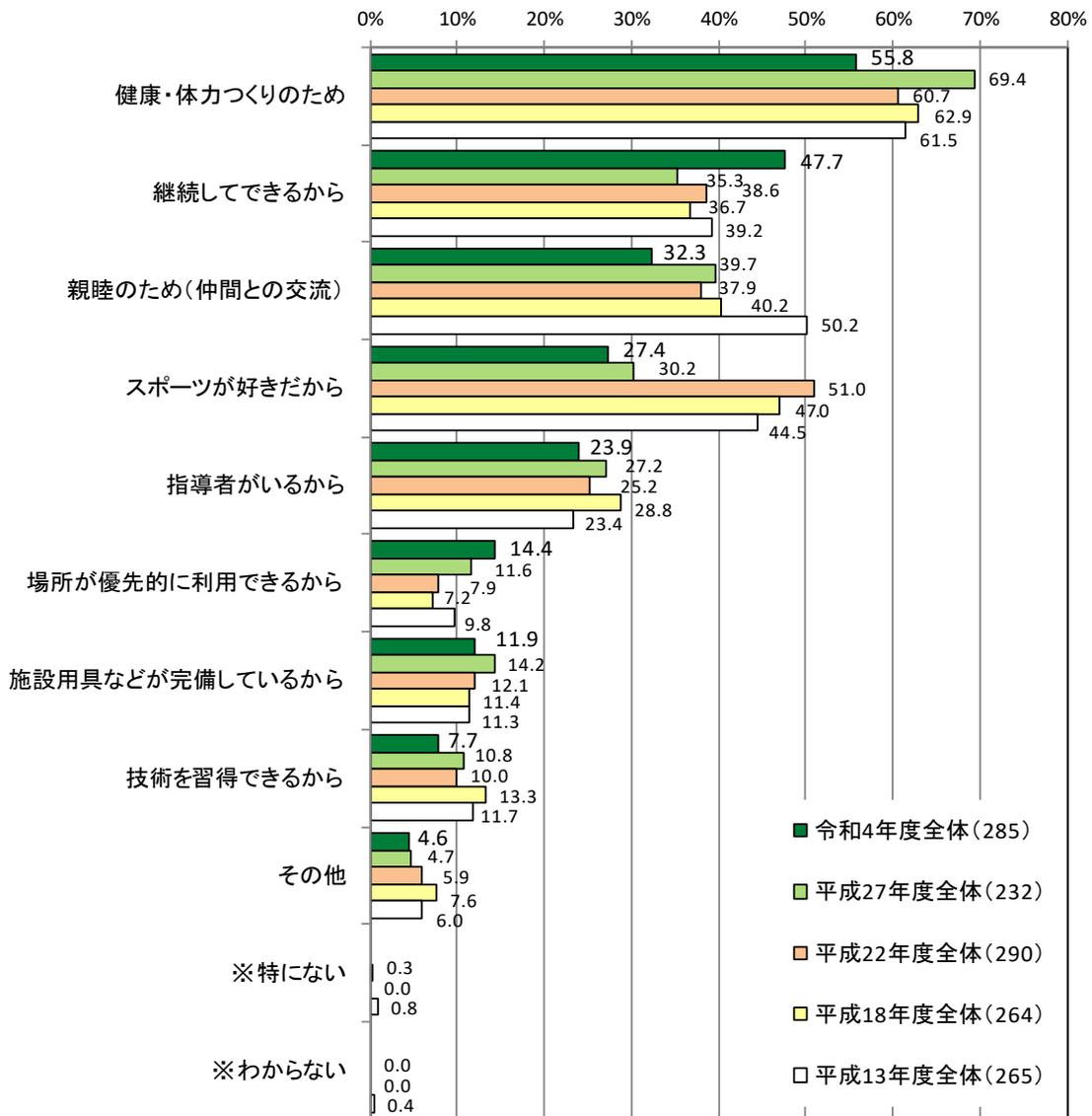
問13（4） クラブなどに加入した動機や目的は何ですか。3つまで選んでください。

- | | |
|-------------------|---------------|
| ア 継続してできるから | カ 健康・体力づくりのため |
| イ 場所が優先的に利用できるから | キ スポーツが好きだから |
| ウ 施設用具などが完備しているから | ク 技術を習得できるから |
| エ 指導者がいるから | ケ その他（ ） |
| オ 親睦のため（仲間との交流） | |

注）「特にない」「わからない」は平成27年度調査から削除

クラブなどに「加入している」と答えた人（285人）に、そのクラブなどに加入した動機や目的についてたずねた（3つまで回答可）ところ、「健康・体力づくりのため」（55.8%）が最も高いが、平成27年度（69.4%）から低下（13.6ポイント）した。また、次いで高い「継続してできるから」（47.7%）は平成27年度（35.3%）から上昇（12.4ポイント）した。

【図表5-10：クラブなどへの加入動機及び目的（全体比較）／複数回答（3つまで）】



※ 平成27年度調査から削除

オ 現非加入者の今後の加入意向

問13（5）好きなクラブなどがあれば加入したいと思いますか。1つだけ選んでください。

ア ぜひ加入したい
 イ できれば加入したい
 ウ あまり加入したくない
 エ 加入するつもりはない

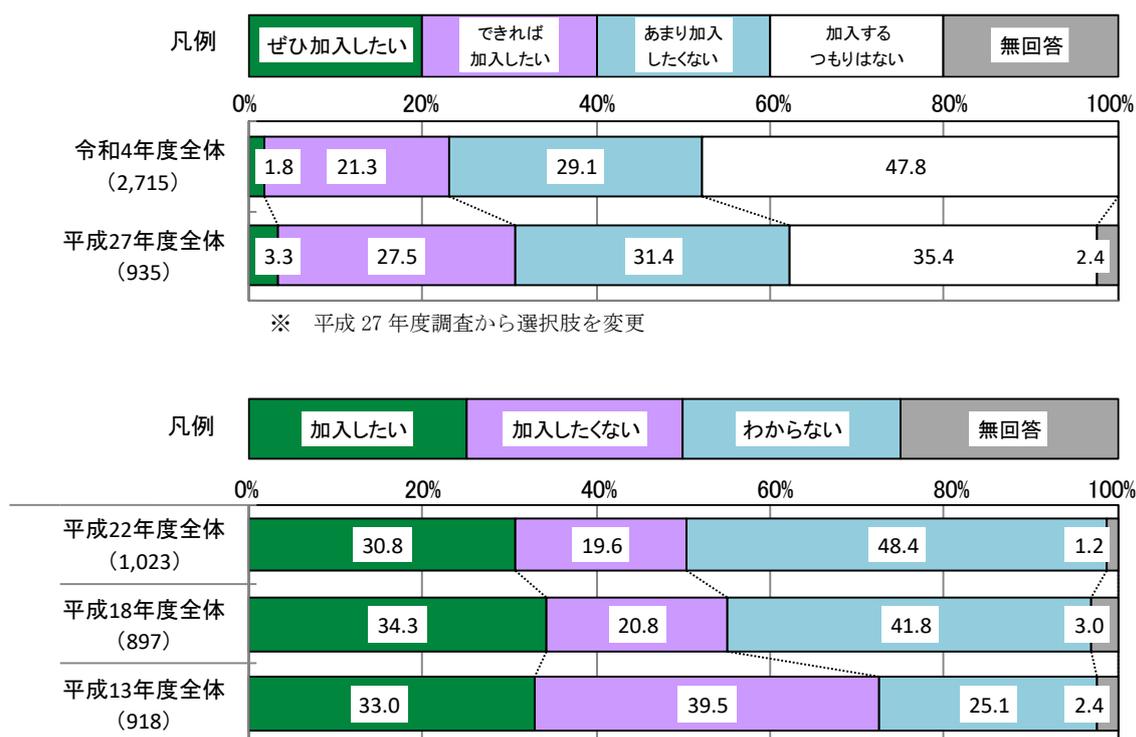
→ 問14（1）へ進む

注）平成22年度調査までは「加入したい」「加入したくない」「わからない」の3つの選択肢であったが、平成27年度は4つの選択肢とした

クラブなどに「加入していない」と答えた人（2,715人）に、好きな運動やスポーツのクラブなどへの加入意向をたずねたところ、《加入したい群（「ぜひ加入したい」+「できれば加入したい」）》が23.1%で、平成27年度（30.8%）から低下（7.7ポイント）した。

また《加入したくない群（「あまり加入したくない」+「加入するつもりはない」）》が76.9%であった。なお、「加入するつもりはない」は47.8%で、平成27年度（35.4%）から上昇（12.4ポイント）した。

【図表5-11：現非加入者の今後の加入意向（全体比較）／単一回答】



カ 加入したいクラブなど

問13 (6) 加入したいクラブなどとは、どのようなものですか。3つまで選んでください。

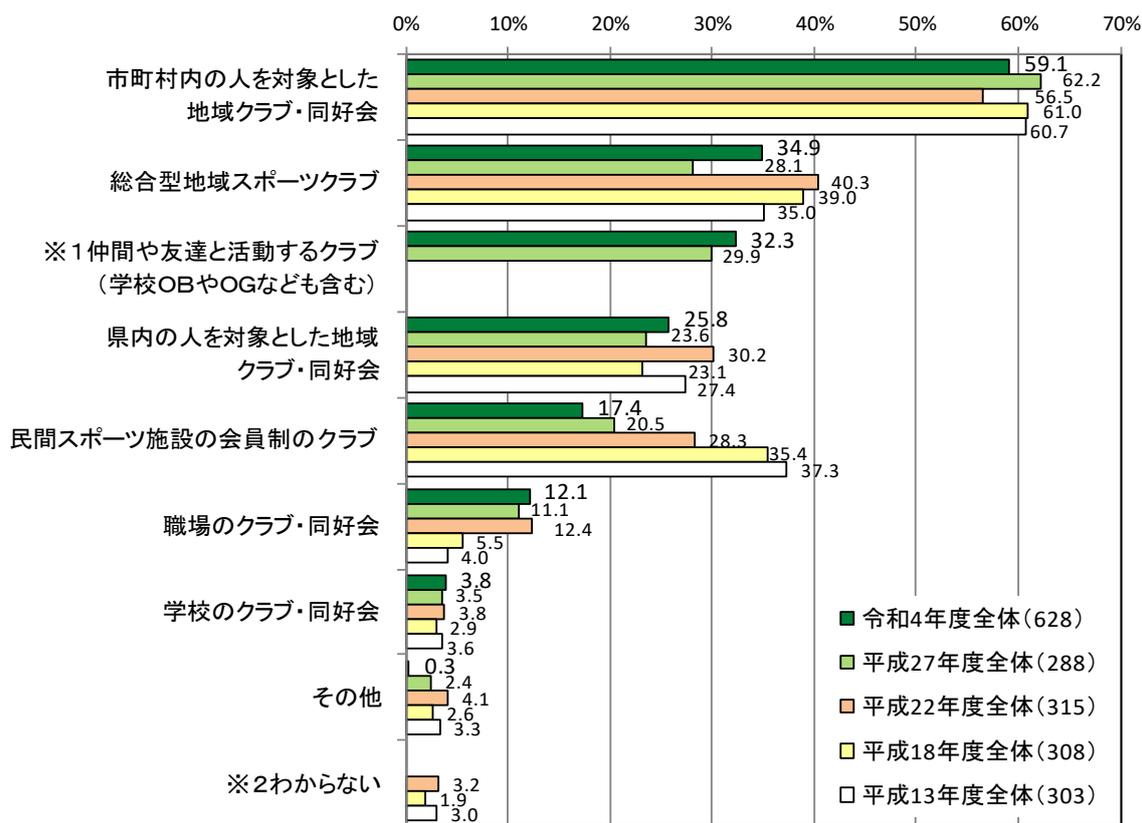
- ア 職場のクラブ・同好会
- イ 学校のクラブ・同好会
- ウ 仲間や友達と活動するクラブ（学校OBやOGなども含む）
- エ 県内の人を対象とした地域クラブ・同好会
- オ 市町村内の人を対象とした地域クラブ・同好会
- カ 総合型地域スポーツクラブ
- キ 民間スポーツ施設の会員制のクラブ
- ク その他（ ）

注) 「ウ 仲間や友達と活動するクラブ（学校OBやOGなども含む）」は平成27年度調査から追加

「わからない」は平成27年度調査から削除

好きなクラブなどがあれば「ぜひ加入したい」または「できれば加入したい」と答えた人（628人）に、加入したいクラブなどについてたずねた（3つまで回答可）ところ、「市町村内の人を対象とした地域クラブ・同好会」（59.1%）が最も高かったが、平成27年度（62.2%）よりも低下（3.1ポイント）した。次いで、「総合型地域スポーツクラブ」（34.9%）となっており、平成27年度（28.1%）と比較すると上昇（6.8ポイント）した。

【図表5-12：加入したいクラブなど（全体比較）／複数回答（3つまで）】



※1 平成27年度調査から追加

※2 平成27年度調査から削除

(3) スポーツ観戦について

ア スポーツ観戦への関心

問14 (1) スポーツ観戦について関心がありますか。

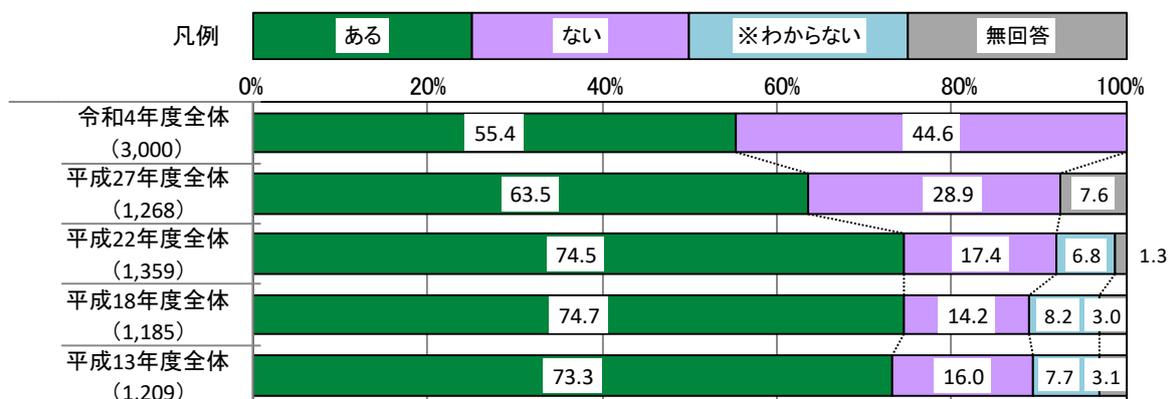
ア ある
イ ない → 問14 (4)へ進む

注) 「わからない」は平成27年度調査から削除

全員に、スポーツ観戦への関心についてたずねたところ、「ある」が55.4%、「ない」は44.6%であった。

これまでの各年度の調査と比較すると、「ある」は令和4年度(55.4%)が最も低く、最も高かった平成18年度(74.7%)より19.3ポイント低かった。

【図表5-13：スポーツ観戦への関心(全体比較)／単一回答】



※ 平成27年度調査から削除

イ スポーツ観戦経験

問14（2）この1年間で直接会場へ行ってスポーツ観戦をしましたか。

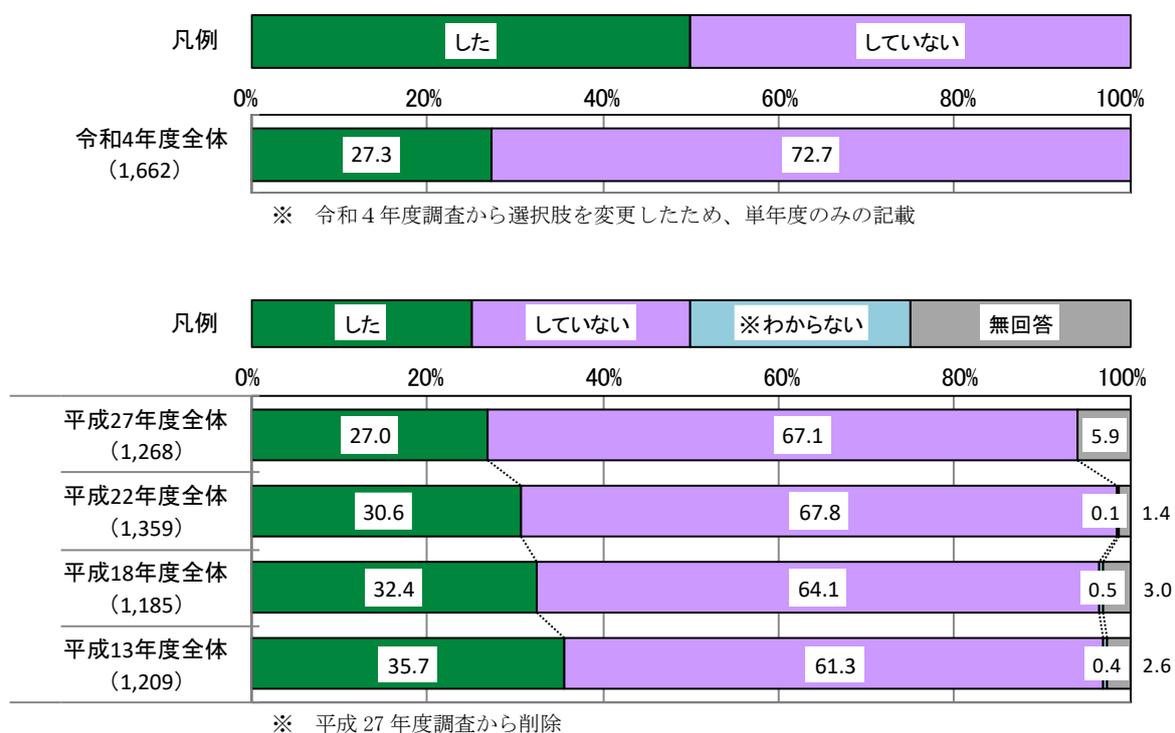
ア した	イ していない
------	---------

注) 「わからない」は令和4年度調査から削除

スポーツ観戦について関心が「ある」と答えた人(1,662人)に、この1年間で直接会場へ行ってスポーツ観戦をしたかどうかたずねたところ、「した」が27.3%、「していない」が72.7%であった。

「した」は平成13年度以降低下し続けていたが、平成27年度(27.0%)と令和4年度(27.3%)で大きな差はなかった。

【図表5-14：スポーツ観戦経験（全体比較）／単一回答】



ウ 会場で直接観戦をしたいスポーツの規模

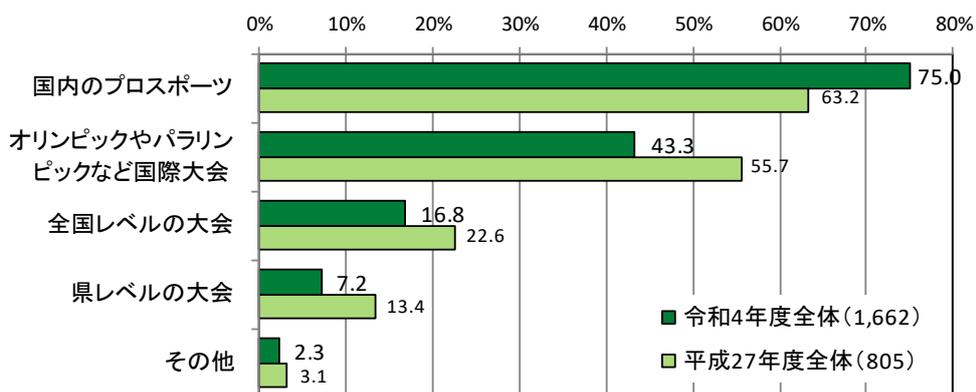
問14（3） 直接会場へ行ってスポーツ観戦をしたら、どのような規模のスポーツ観戦をしたいですか。2つまで選んでください。

- ア オリンピックやパラリンピックなど国際大会
- イ 国内のプロスポーツ
- ウ 全国レベルの大会
- エ 県レベルの大会
- オ その他（ ）

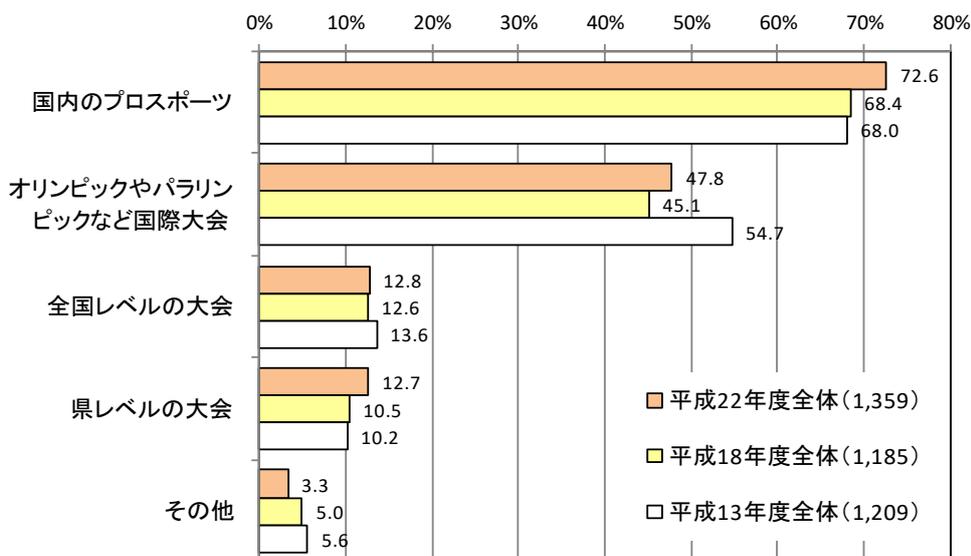
注）「問14（3）希望するスポーツ観戦規模」に関する設問は、平成27年度調査から、問14（1）で関心が「ある」と回答した方だけに設定

スポーツ観戦について関心が「ある」と答えた人（1,662人）に、会場で直接観戦をしたいスポーツの規模についてたずねた（2つまで回答可）ところ、「国内のプロスポーツ」（75.0%）が最も高く、次いで「オリンピックやパラリンピックなど国際大会」（43.3%）となった。平成27年度（63.2%）と比較すると、「国内のプロスポーツ」が上昇（11.8ポイント）した。

【図表5-15：会場で直接観戦をしたいスポーツの規模（全体比較）／複数回答（2つまで）】



※ 平成27年度調査から該当者を変更



※ 平成22年度調査までは、全員に回答を求めている

エ 会場で直接観戦をしたいスポーツの競技

問14（4） 直接会場へ行ってスポーツ観戦をするとしたら、どのような競技を観戦したいですか。3つまで選んでください。（ア～スの選択数とセ、ソ、タの種目名の合計が3つまでになるようにしてください。）

- | | |
|---------------|-------------------------------|
| ア 陸上競技 | サ テニス、卓球、バドミントン |
| イ マラソン | シ バasketボール |
| ウ 水泳競技 | ス ラグビー |
| エ 柔道、剣道、相撲、空手 | セ その他の球技スポーツ
(種目名) |
| オ ボクシング、レスリング | ソ 障がい者スポーツ (パラスポーツ)
(種目名) |
| カ 弓道、アーチェリー | タ その他のスポーツ
(種目名) |
| キ セーリング | チ 特になし |
| ク 野球、ソフトボール | |
| ケ サッカー、フットサル | |
| コ バレーボール | |

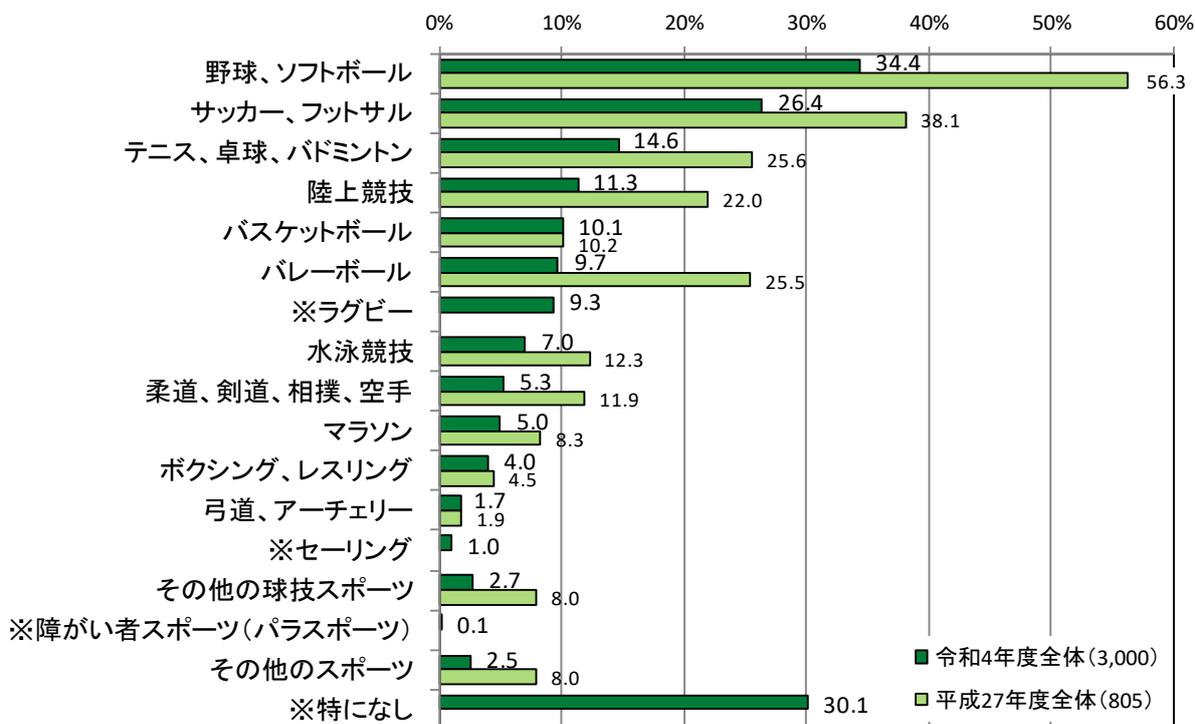
注) 平成27年度調査は対象者を問14（1）で関心が「ある」と回答した方のみ限定し、令和4年度から全員に変更

「問14（4）希望するスポーツ観戦競技」に関する設問は、平成27年度調査から追加

「キ セーリング」、「ス ラグビー」、「ソ 障がい者スポーツ (パラスポーツ)」、「チ 特になし」は令和4年度調査から追加

全員に、会場で直接観戦をしたいスポーツの競技についてたずねた（3つまで回答可）ところ、「野球、ソフトボール」（34.4%）が最も高く、次いで「サッカー、フットサル」（26.4%）、「テニス、卓球、バドミントン」（14.6%）となった。平成27年度と比較すると、「野球、ソフトボール」（56.3%）が21.9ポイント、「サッカー、フットサル」（38.1%）が11.7ポイント、「テニス、卓球、バドミントン」（25.6%）が11.0ポイント低下した。

【図表5-16：会場で直接観戦をしたいスポーツの競技（全体比較）／複数回答（3つまで）】



※ 令和4年度調査から追加

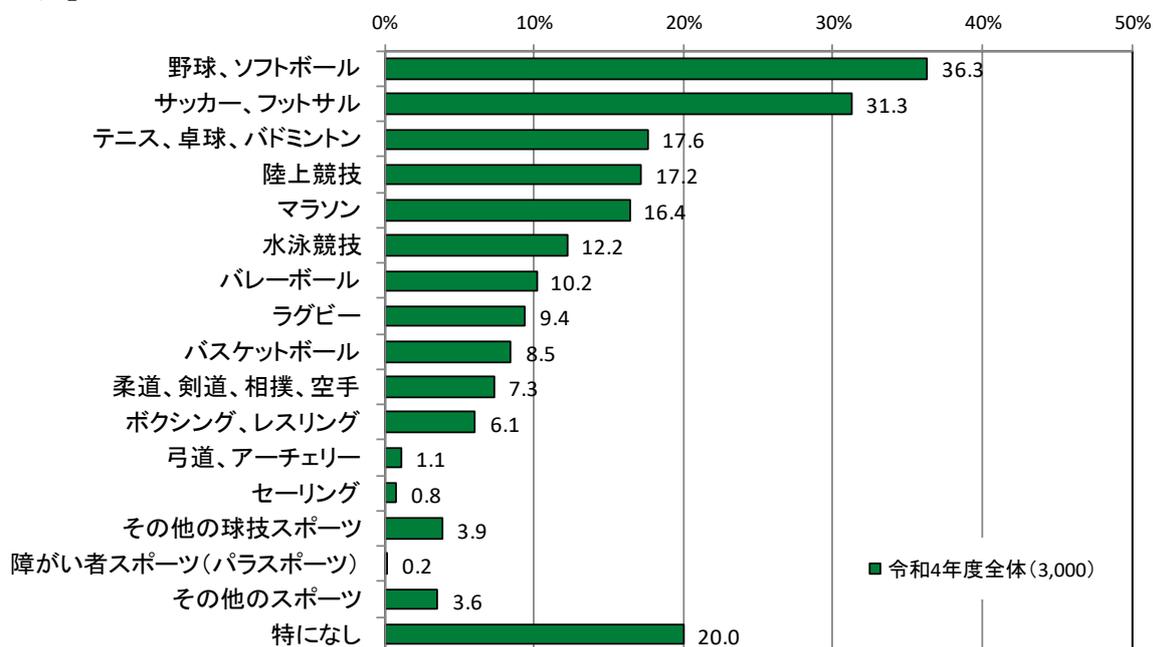
キ テレビやインターネットなどで観戦をしたいスポーツの競技

問14(7) テレビやインターネットなどでスポーツ観戦をしたら、どのような競技を観戦したいですか。3つまで選んでください。(ア～スの選択数とセ、ソ、タの種目名の合計が3つまでになるようにしてください。)

ア 陸上競技	サ テニス、卓球、バドミントン
イ マラソン	シ バasketボール
ウ 水泳競技	ス ラグビー
エ 柔道、剣道、相撲、空手	セ その他の球技スポーツ (種目名)
オ ボクシング、レスリング	ソ 障がい者スポーツ(パラスポーツ) (種目名)
カ 弓道、アーチェリー	タ その他のスポーツ (種目名)
キ セーリング	チ 特になし
ク 野球、ソフトボール	
ケ サッカー、フットサル	
コ バレーボール	

注) 「問14(7) テレビやインターネットなどでの希望するスポーツ観戦競技」に関する設問は、令和4年度調査から追加
 全員に、テレビやインターネットなどで観戦をしたいスポーツの競技についてたずねた(3つまで回答可)ところ、「野球、ソフトボール」(36.3%)が最も高く、次いで「サッカー、フットサル」(31.3%)、「テニス、卓球、バドミントン」(17.6%)となった。

【図表5-19: テレビやインターネットなどで観戦をしたいスポーツの競技/複数回答(3つまで)】



ウ スポーツに関するボランティア活動の内容

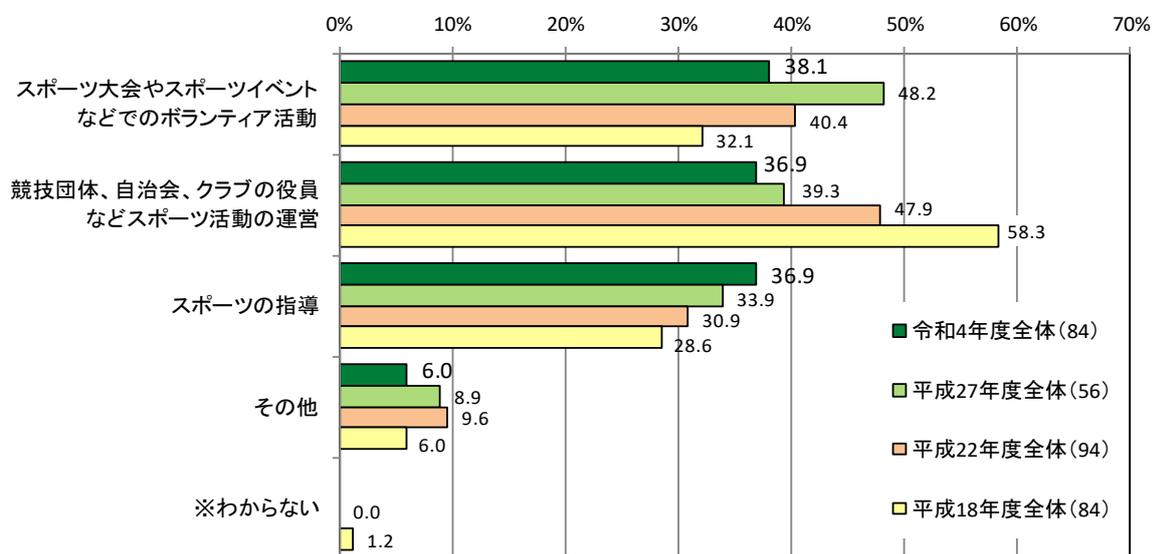
問15（3） この1年間で行ったボランティア活動はどのようなものですか。あてはまる記号すべてを選んでください。

- | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|
| ア スポーツの指導 | ウ スポーツ大会やスポーツイベント
などでのボランティア活動 |
| イ 競技団体、自治会、クラブの役員
などスポーツ活動の運営 | エ その他（ ） |

注) 「わからない」は、平成27年度調査から削除

この1年間でスポーツに関するボランティア活動を「行った」と答えた人(84人)に、ボランティア活動の内容をたずねた(複数回答可)ところ、「スポーツ大会やスポーツイベントなどでのボランティア活動」(38.1%)が最も高いが、平成27年度(48.2%)より低下(10.1ポイント)し、「競技団体、自治会、クラブの役員などスポーツ活動の運営」(36.9%)も低下が続いている。また、「スポーツの指導」(36.9%)は平成18年度以降上昇が続いている。

【図表5-22：スポーツに関するボランティア活動の内容(全体比較)／複数回答】



※ 平成27年度調査から削除

エ スポーツに関するボランティア活動への今後の参加意向

問15（4） 今後、スポーツに関するボランティア活動を行いたいと思いますか。1つだけ選んでください。

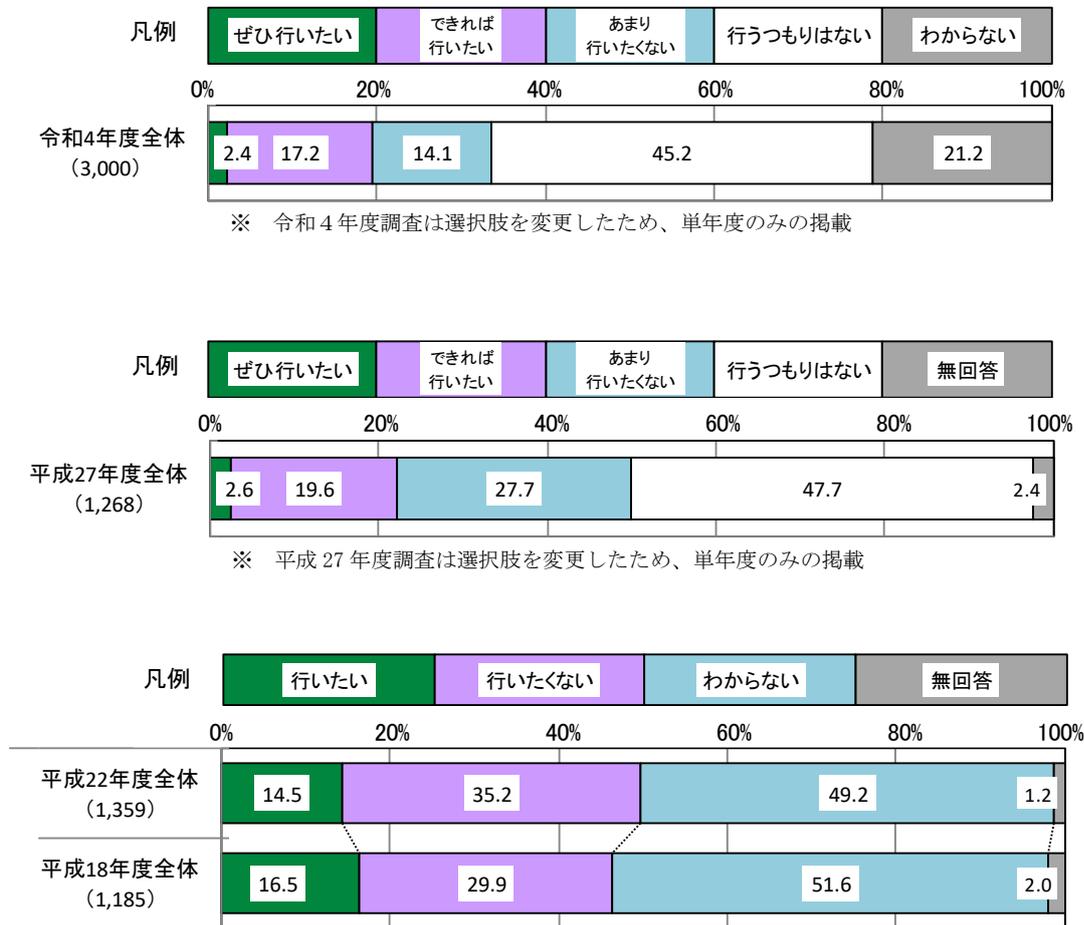
- | | |
|------------|-------------|
| ア ぜひ行いたい | ウ あまり行いたくない |
| イ できれば行いたい | エ 行うつもりはない |
| | オ わからない |

注) 平成27年度調査から「行うつもりはない」を追加

令和4年度調査から「無回答」を「わからない」に修正

全員に、今後のスポーツに関するボランティア活動への参加意向をたずねたところ、《行いたい群（「ぜひ行いたい」+「できれば行いたい」）》が19.6%で、平成27年度（22.2%）と大きな差はなかった。

【図表5-23：スポーツに関するボランティア活動への今後の参加意向（全体比較）／単一回答】



(5) 地域のスポーツ振興について

ア 地域のスポーツ振興に期待する効果

問16 (1) 自治会や町内会で行う地域のスポーツ振興にどのような効果を期待しますか。 3つ まで選んでください。

- | | |
|----------------|---------------|
| ア 親子や家族の交流 | キ 地域の健康水準の改善 |
| イ 自由時間の有効活用 | ク スポーツ施設の有効利用 |
| ウ 地域のコミュニティの形成 | ケ その他 () |
| エ 世代間交流の促進 | コ 特になし |
| オ 青少年の健全育成 | サ わからない |
| カ 生きがいがづくり | |

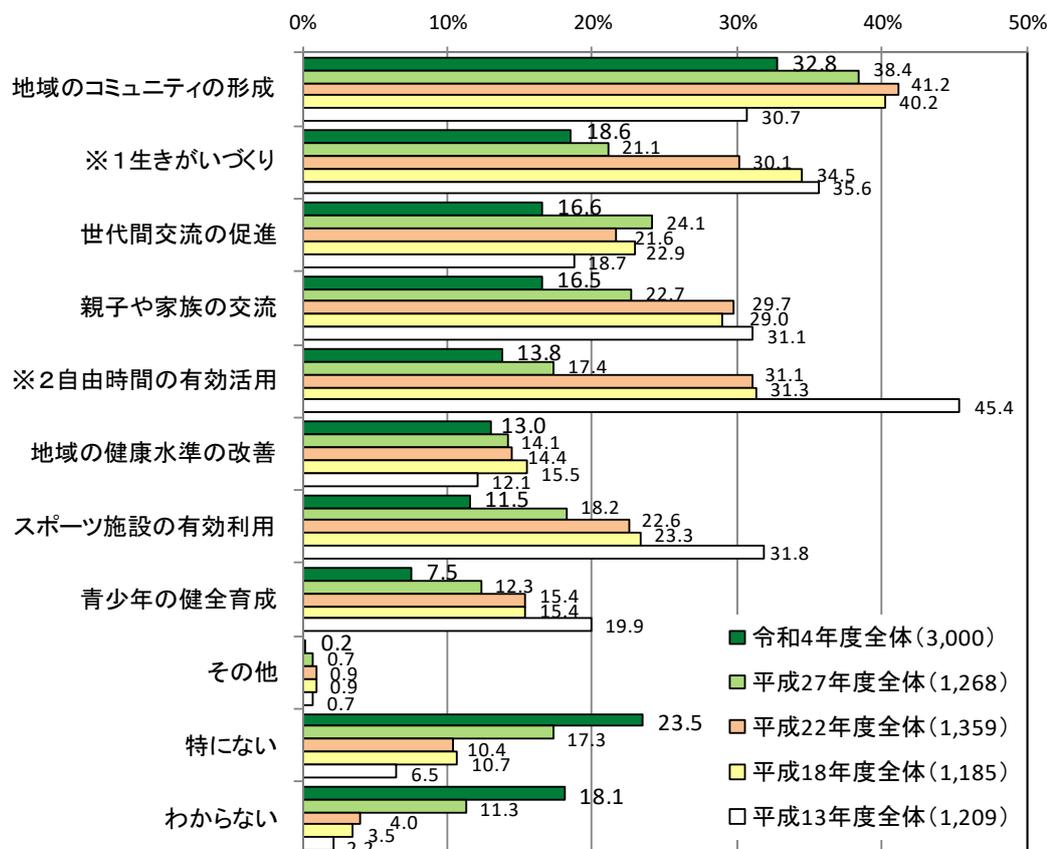
注) 「イ 自由時間の有効活用」は、平成22年度調査までは「余暇時間の有効活用」

「カ 生きがいがづくり」は、平成22年度調査までは「高齢者の生きがいがづくり」

全員に、地域のスポーツ振興に期待する効果をたずねた（3つまで回答可）ところ、「地域のコミュニティの形成」（32.8%）が最も高く、次いで「生きがいがづくり」（18.6%）、「世代間交流の促進」（16.6%）、「親子や家族の交流」（16.5%）となった。

また、「特になし」（23.5%）「わからない」（18.1%）は上昇が続いているが、「生きがいがづくり」、「自由時間の有効活用」、「スポーツ施設の有効利用」は、平成13年度以降低下が続いている。

【図表5-24：地域のスポーツ振興に期待する効果（全体比較）／複数回答（3つまで）】



※1 平成22年度調査までは「高齢者の生きがいがづくり」

※2 平成22年度調査までは「余暇時間の有効活用」

イ 県の実施への要望

問16 (2) スポーツ振興を図るために、県は今後どのような取組をすべきだと思いますか。3つまで選んでください。

- ア 各種スポーツ行事・大会・教室の開催
- イ 地域のクラブやサークルの育成
- ウ 総合型地域スポーツクラブの育成・支援
- エ スポーツ指導者の養成
- オ スポーツに関する広報活動
- カ 学校体育施設の開放・整備
- キ 各種スポーツ施設の整備
- ク スポーツボランティアの支援
- ケ 障がいの種類や程度に応じたスポーツの普及・推進
- コ 公共スポーツ施設における健康・体力相談体制の整備
- サ ジョギングなどができる道路整備
- シ 気軽にスポーツができる公園整備
- ス ジュニアアスリートの発掘・育成
- セ トップアスリートの育成
- ソ 子どもの体力向上のための取組
- タ 中高齢者の健康増進のための取組
- チ 未病※を改善するための取組
- ツ その他
- テ 特になし
- ト わからない

※ 人の健康状態は、健康、病気と明確に区分するのではなく、健康と病気の間で連続的に変化しているものであり、その状態を「未病」といいます。

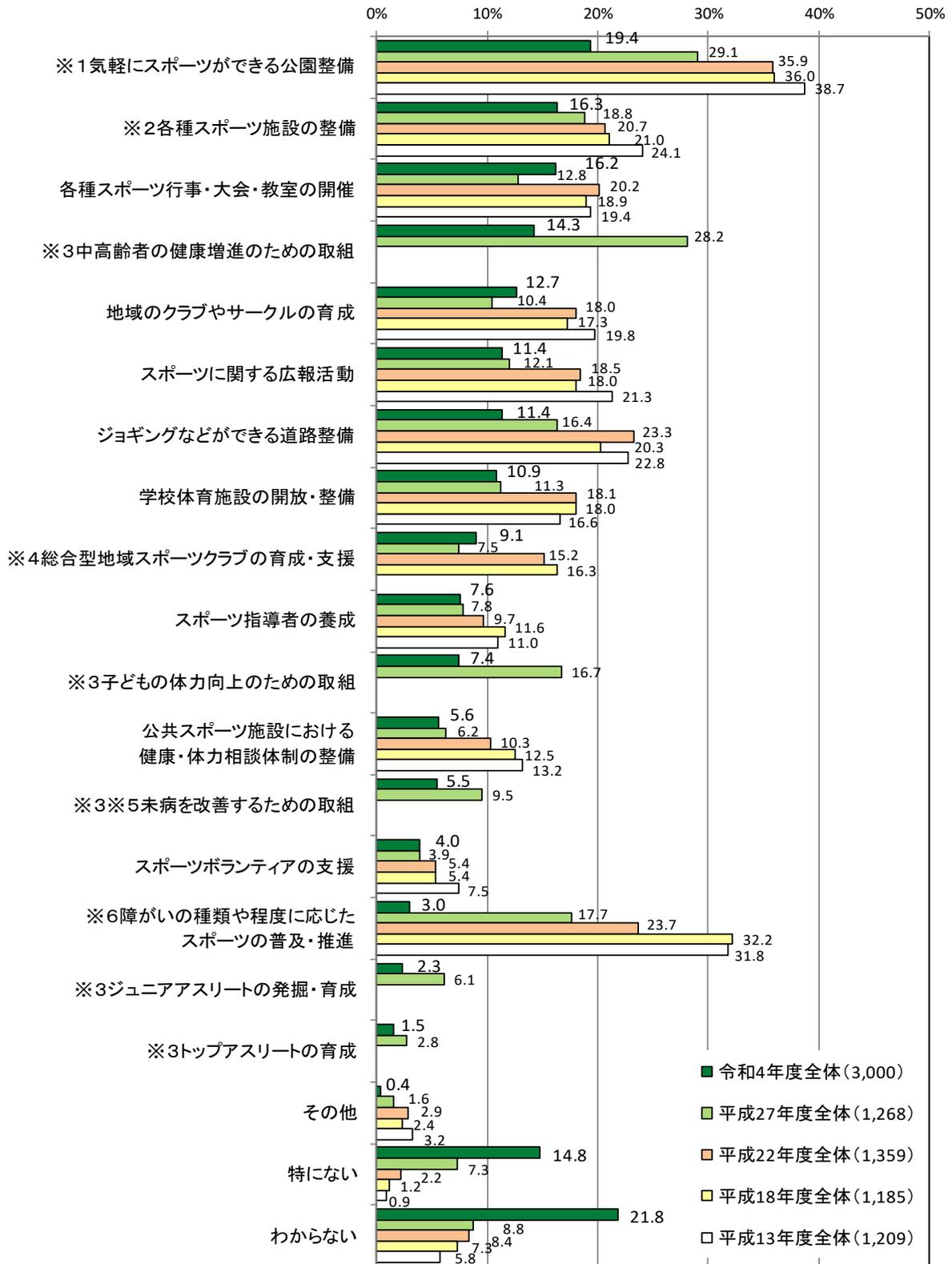
注) 「キ 各種スポーツ施設の整備」は平成22年度調査までは、「野外スポーツ活動施設の整備」「野外を除く各種スポーツ施設の設備」の2つの選択肢、選択肢番号【ス〜チ】は平成27年度調査から追加、「シ 気軽にスポーツができる公園整備」平成27年度調査では「手軽にスポーツができる公園整備」

全員に、スポーツ振興を図るために、県が今後どのような取組をすべきかをたずねた（3つまで回答可）ところ、「気軽にスポーツができる公園整備」（19.4%）が最も高く、次いで「各種スポーツ施設の整備」（16.3%）、「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」（16.2%）となった。

上位の「気軽にスポーツができる公園整備」（19.4%）と「各種スポーツ施設の整備」（16.3%）は平成13年度以降低下が続いている。また「中高齢者の健康増進のための取組」（14.3%）は、平成27年度（28.2%）と比較すると大幅に低下（13.9ポイント）した。

図表、次ページ参照

【図表5-25：県の取組みへの要望（全体比較）／複数回答】



- ※1 平成27年度調査までは「手軽にスポーツができる公園整備」
- ※2 平成22年度調査までのデータは「野外スポーツ活動施設の整備」と「野外を除く各種スポーツ施設の整備」を合算
- ※3 平成27年度調査から追加
- ※4 平成18年度調査から追加
- ※5 平成27年度までは「未病を治すための取組み」
- ※6 平成27年度までは「年齢や障害に応じたスポーツの開発・普及」

6. 大規模スポーツイベント開催による変化

(1) 大規模スポーツイベント開催前後の変化

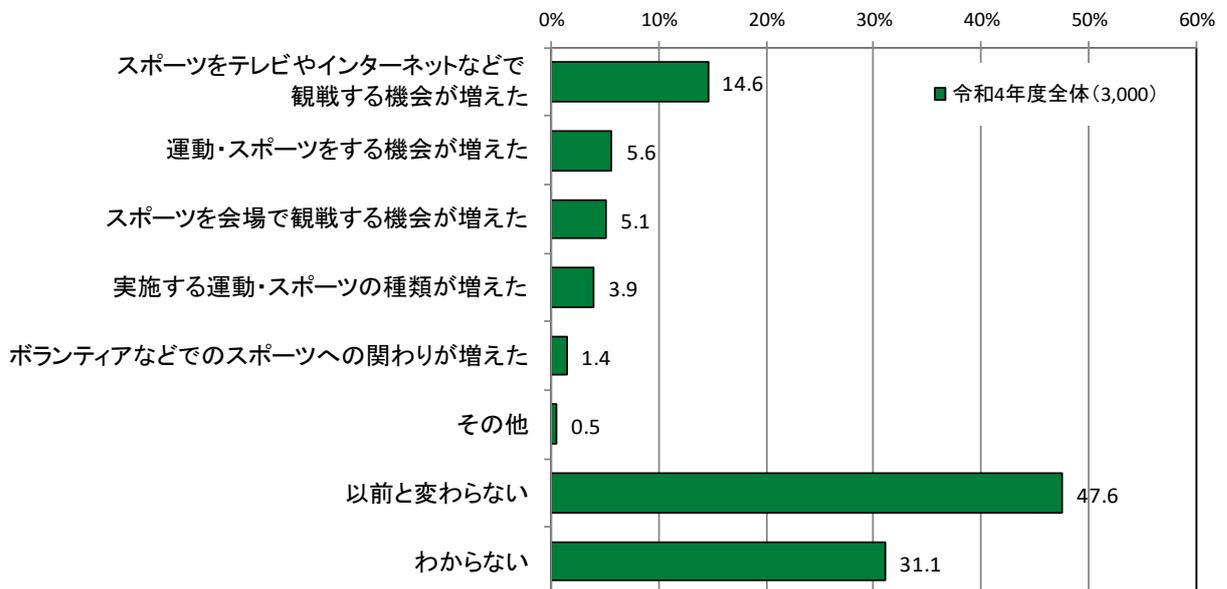
問17 大規模スポーツイベント開催前と開催後を比べて変わったことはありますか。3つまで選んでください。

- ア 運動・スポーツをする機会が増えた
- イ 実施する運動・スポーツの種類が増えた
- ウ スポーツを会場で観戦する機会が増えた
- エ スポーツをテレビやインターネットなどで観戦する機会が増えた
- オ ボランティアなどでのスポーツへの関わりが増えた
- カ 以前と変わらない
- キ その他 ()
- ク わからない

注) 「問17 大規模スポーツイベント開催前後の変化」に関する設問は、令和4年度調査から追加

全員に、大規模スポーツイベント開催前と開催後を比べて変わったことをたずねた(3つまで回答可)ところ、「スポーツをテレビやインターネットなどで観戦する機会が増えた」(14.6%)が最も高く、次いで「運動・スポーツをする機会が増えた」(5.6%)、「スポーツを会場で観戦する機会が増えた」(5.1%)となった。また、「以前と変わらない」は47.6%、「わからない」は31.1%であった。

【図表5-26：大規模スポーツイベント開催前後の変化(全体)／複数回答(3つまで)】



7. 新型コロナウイルス感染症まん延による変化

(1) 新型コロナウイルス感染症まん延による、それ以前と比べた健康や体力の維持増進についての意識の変化

問18 新型コロナウイルス感染症まん延により、それ以前と比べて健康や体力の維持増進についての意識の変化はありましたか。1つだけ選んでください。

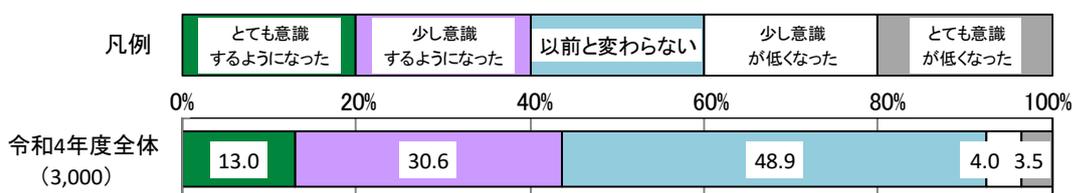
- ア とても意識するようになった
- イ 少し意識するようになった
- ウ 以前と変わらない
- エ 少し意識が低くなった
- オ とても意識が低くなった

注) 「問18 新型コロナウイルス感染症まん延による、それ以前と比べた健康や体力の維持増進についての意識の変化」に関する設問は、令和4年度調査から追加

全員に、新型コロナウイルス感染症まん延により、それ以前と比べた健康や体力の維持増進についての意識の変化をたずねたところ、「以前と変わらない」(48.9%)が最も高く、次いで「少し意識するようになった」(30.6%)、「とても意識するようになった」(13.0%)となった。

また、《意識するようになった群(「とても意識するようになった」+「少し意識するようになった」)》は43.6%、《意識が低くなった群(「少し意識が低くなった」+「とても意識が低くなった」)》は7.5%であった。

【図表5-27：新型コロナウイルス感染症まん延による、それ以前と比べた健康や体力の維持増進についての意識の変化(全体)】



(2) 新型コロナウイルス感染症まん延による、それ以前と比べた運動・スポーツの実施頻度の変化

問19 新型コロナウイルス感染症まん延により、それ以前と比べて運動・スポーツの実施頻度に変化はありましたか。1つだけ選んでください。

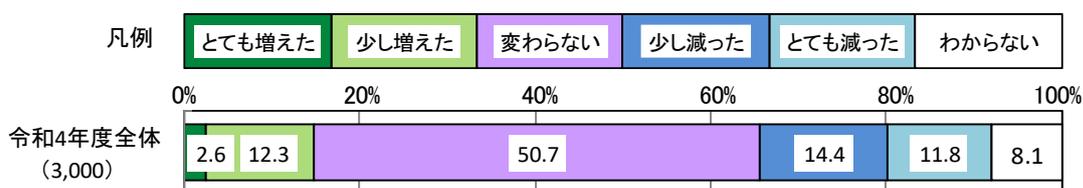
- ア とても増えた
- イ 少し増えた
- ウ 変わらない
- エ 少し減った
- オ とても減った
- カ わからない

注) 「問19 新型コロナウイルス感染症まん延による、それ以前と比べた運動・スポーツの実施頻度の変化」に関する設問は、令和4年度調査から追加

全員に、新型コロナウイルス感染症まん延により、それ以前と比べた運動・スポーツの実施頻度の変化をたずねたところ、「変わらない」(50.7%)が最も高く、次いで「少し減った」(14.4%)、「少し増えた」(12.3%)となった。

また、《増えた群(「とても増えた」+「少し増えた」)》は14.9%、《減った群(「少し減った」+「とても減った」)》は26.2%であった。

【図表5-28：新型コロナウイルス感染症まん延による、それ以前と比べた運動・スポーツの実施頻度の変化(全体)】



(2) 新型コロナウイルス感染症まん延による、それ以前と比べたスポーツを実施する環境の変化

問20 新型コロナウイルス感染症まん延により、それ以前と比べてあなたがスポーツを実施する環境に変化はありましたか。3つまで選んでください。

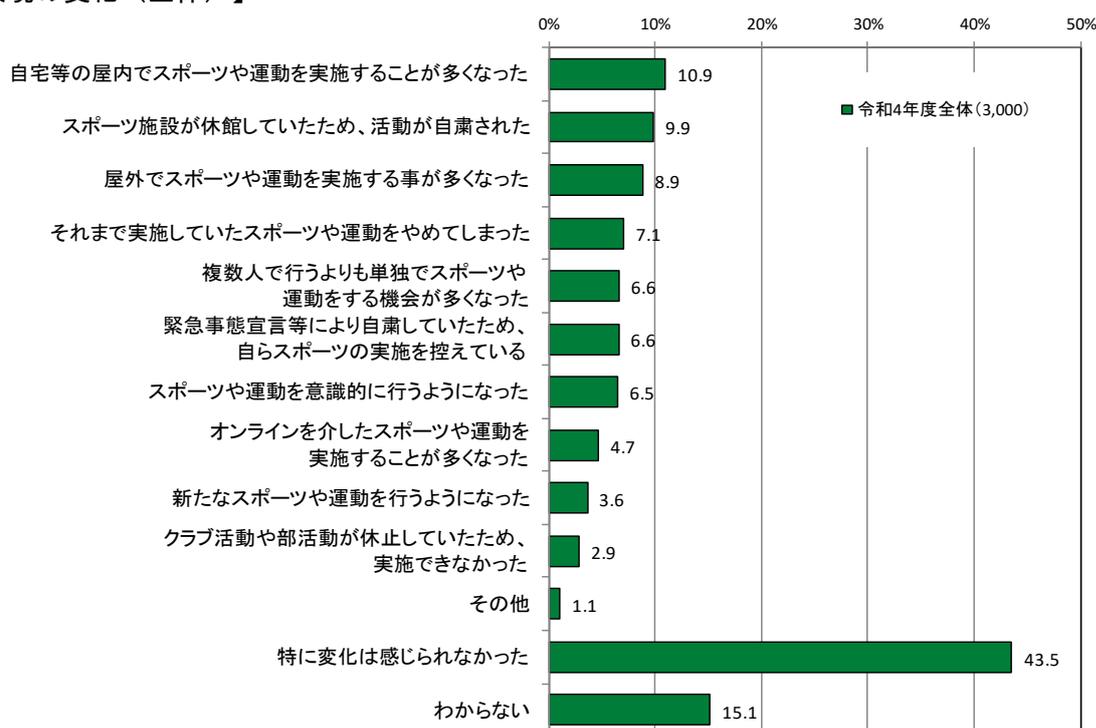
- ア 屋外でスポーツや運動を実施する事が多くなった
- イ 自宅等の屋内でスポーツや運動を実施することが多くなった
- ウ オンラインを介したスポーツや運動を実施することが多くなった
- エ 複数人で行うよりも単独でスポーツや運動をする機会が多くなった
- オ 新たなスポーツや運動を行うようになった
- カ それまで実施していたスポーツや運動をやめてしまった
- キ スポーツや運動を意識的に行うようになった
- ク スポーツ施設が休館していたため、活動が自粛された
- ケ クラブ活動や部活動が休止していたため、実施できなかった
- コ 緊急事態宣言等により自粛していたため、自らスポーツの実施を控えている
- サ その他 ()
- シ 特に変化は感じられなかった
- ス わからない

注) 「問20 新型コロナウイルス感染症まん延による、それ以前と比べたスポーツ実施環境の変化」に関する設問は、令和4年度調査から追加

全員に、新型コロナウイルス感染症まん延により、それ以前と比べたスポーツを実施する環境の変化についてたずねた(3つまで回答可)ところ、「自宅等の屋内でスポーツや運動を実施することが多くなった」(10.9%)が最も高く、次いで「スポーツ施設が休館していたため、活動が自粛された」(9.9%)、「屋外でスポーツや運動を実施する事が多くなった」(8.9%)となった。

また、「特に変化は感じられなかった」は43.5%、「わからない」は15.1%であった。

【図表5-29：新型コロナウイルス感染症まん延による、それ以前と比べたスポーツを実施する環境の変化(全体)】



**県民の体力・スポーツに関する調査
結果報告書【時系列比較】**

発行 神奈川県立スポーツセンター
〒251-0871 藤沢市善行7-1-2
電話 (0466) 81-2570

発行日 令和5(2023)年1月



神奈川県

スポーツセンター 電話(0466)81-2570 ファクシミリ(0466)83-4622
藤沢市善行7-1-2 〒251-0871